

第2回 小金井市都市計画マスタープラン策定委員会 次第

日時 令和2年7月9日（木）午前10時から

場所 本庁舎 第一会議室

1 開会

2 議題

(1) 小金井市を取り巻く現況

(2) 分野別の成果と次期都市計画マスタープランの方向性

(3) 小金井市都市計画マスタープラン見直しに向けた論点の整理

(4) 市民協議会・中学生検討会について

3 その他

今後のスケジュールについて

配布資料

資料1 第1回小金井市都市計画マスタープラン策定委員会会議録

資料2 第2回小金井市都市計画マスタープラン策定委員会

資料3 現行計画の施策の達成状況からみた方向性

資料4 「小金井市都市計画マスタープラン」見直しのためのアンケート
調査結果

資料5 市民協議会・中学生検討会について

資料6 工程表（案）

資料7 第1回小金井市都市計画マスタープラン策定委員会
傍聴者意見用紙

次回予定

第3回都市計画マスタープラン策定委員会

9月24日（木）午前10時から 商工会館2階会議室

第1回 小金井市都市計画マスタープラン策定委員会会議録

(全文記録)

日 時 令和2年2月14日(金)

場 所 小金井市市民会館「萌え木ホール」3階A会議室

出席委員 14名

委員長	野澤 康	委員	
副委員長	高見 公雄	委員	
委員	雨宮 安雄	委員	市古 太郎
	清水 正	委員	高橋 金一
	谷 滋	委員	中里 成子
	永田 尚人	委員	平尾 あき子
	三笠 俊彦	委員	水庭 千鶴子
	安田 桂子	委員	若藤 実

欠席委員 0名

市長 西岡 真一郎

事務局職員

都市計画課長	田部井 一嘉	都市計画課係長	片上 昌芳
都市計画課専任主査	佐藤 知一	都市計画課主任	関口 雅也
都市計画課主事	関口 亮太	都市計画課主事	川本 滋裕

傍聴者 11名

1. 開会

【田部井都市計画課長】 本日は、ご多忙中のところお集まりいただきまして、ありがとうございます。定刻となりましたので、ただいまから第1回小金井市都市計画マスタープラン策定委員会を開会いたします。

委員14名中14名のご出席をいただいておりますので、委員会設置要綱第5条第2項の規定により、委員会の定足数を満たしておりますことをまず報告をさせていただきます。

申し遅れましたが、私は、都市計画課長の田部井と申します。委員長が選出されるまで委員会の進行を務めさせていただきますので、よろしく願いいたします。

委員会開始に当たりまして、何点か説明させていただきます。

初めに、会議録についてでございます。

小金井市市民参加条例では、会議録作成の基本方針がございまして、全文記録、発言者の発言内容ごとの要点記録、会議内容の要点記録というこの3つの方法がございまして。

事務局といたしましては全文記録ということで、発言された方のお名前、そして発言された内容がすべて掲載された会議録を作成していきたいと考えております。

その関係で、本日の委員会より録音をさせていただきますことをご了承いただければと思います。

次に、発言に際しましては、委員のお名前を名乗っていただきましてから、発言をしていただきますよう、よろしく願いいたします。

また、傍聴者につきましては、「小金井市附属機関等の会議に関する傍聴要領」に則り、運用させていただきます。

次に、本日の座席の配置でございますが、お手元の資料2の委員名簿をご覧ください。後ほどお諮りしますが、今は仮にということで委員名簿のとおり、「あいうえお順」とさせていただきますことをご了承願います。

次に資料の確認をさせていただきます。資料4を除く、資料1から3、資料5から7-1、2、3、及び参考資料を事前に配布させていただきます。

資料4については本日配布させていただきます。また、資料5については、誤植があったため本日配布の資料との差替えをお願いいたします。

また、資料7-1、2、3及び参考資料については、カラー印刷による冊子版を本日配布させていただきますので、こちらについても事前配布資料との差し替えをお願いいたします。

本日お持ちになっておられない資料や、足りない資料がございましたら、お申し出ください。

よろしいでしょうか？

それでは、お手元の次第の順序に従いまして進行させていただきます。

まず、委員会開催に当たりまして、小金井市長の西岡からご挨拶申し上げます。

2. 市長挨拶

【西岡市長】 皆さん、改めまして、本日は寒い日が続くなか、またお忙しいなかお集まりいただきましてありがとうございます。そして、都市計画マスタープラン策定委員会の委員をお受けいただきまして、重ねて御礼申し上げます。

本日、委員会の第1回目ということで、これから2年後の令和4年3月までよろしく願いいたします。

小金井市は、中央線の高架化を終え、交通の円滑化や、高架下利用による地域の活性化が進んでいるとともに、今年竣工となる武蔵小金井駅南口第二地区の再開発や、着々と進んでいる東小金井駅北口の区画整理など、当初の都市計画マスタープランを策定した20年前とは、街が大きく変化してきていることを市民の皆さんも実感していただいているところではないかと思っております。

後ほど、事務局からも説明があるかと思いますが、このマスタープランには、多くの市民の皆さまの意見をいただきながら、策定したという経緯がございます。また、今回の改定においては、誰もが自由に参加できる「まちづくりサロン」の開催など、10年前にはない、市民参加についての新しいメニューも設けております。

この委員会も含め、市民参加の場でいろいろなご意見を頂戴して、将来の小金井市のまちづくりの計画としていいものができていけばと考えております。

また、現在、市の最上位計画である「第5次小金井市基本構想・前期基本計画」についての審議も、市民の皆様の協力を得ながら進めております。これとマスタープランの整合を図りつつ、また、平成14年の策定から、平成24年の改定を経て、当初の目標年次である概ね20年が経過しての新たな改定であることなどを踏まえ、いろいろなご議論を重ねていただき、ぜひ今後のまちづくりの方向性をお示しいただければと思います。

それでは大変長丁場でございますが、非常に重要な役割を皆さんには担っていただくわけですが、我々も一生懸命対応してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

大変簡単ではございますが、挨拶とさせていただきます。

3. 依頼状交付

【田部井都市計画課長】 ありがとうございました。

続きまして、次第3の依頼状交付でございます。本来ですと市長から皆さまのお名前を読み上げるところでございますが、議事進行の円滑化のため、誠に恐縮ですが、お手元のご配付をもちまして依頼状の交付にかえさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

なお、依頼日ですが、委員会設置要綱に基づきまして、委員の皆さまに開催通知を送付させていただきました「令和元年12月23日」となっております。

4. 委員紹介

【田部井都市計画課長】 続きまして、次第4の委員紹介を行います。委員の皆様を簡単に事務局より紹介させていただきますので、委員の方から一言ご挨拶いただければと存じます。勝手ながら名簿順に窓側の手前の席からご紹介させていただきたいと思っております。

それでは最初に、雨宮委員でございます。小金井市身体障害者福祉協会より推薦をいただいております。

【雨宮委員】 雨宮と申します。皆様のご協力を得まして頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

【田部井都市計画課長】 ありがとうございます。

続きまして、市古委員でございます。首都大学東京で都市政策学科の教授をされており、都市防災や復興まちづくりをご専門にされております。

【市古委員】 皆さん、こんにちは。首都大学の市古と申します。小金井公園を含めてすごく魅力的なまちだなと感じているところでもあります。専門の都市計画、都市防災の視点からということでたくさん貢献できればと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

【田部井都市計画課長】 ありがとうございます。

続きまして、清水委員でございます。市民公募委員でございます。

【清水委員】 清水と申します。何か役に立てればと思って応募させていただきました。よろしくお願いいたします。

【田部井都市計画課長】 ありがとうございます。

続きまして、高橋委員でございます。小金井市農業委員会より推薦をいただいております。

【高橋委員】 高橋金一でございます。江戸時代から住み続けている末裔でございます。都市農業のことを中心に動いてまいりましたが、防災の面や環境の面、そういうもので貢献できればなと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【田部井都市計画課長】 ありがとうございます。

続きまして、高見委員でございます。法政大学で都市環境デザイン工学科の教授をされており、都市デザインや都市政策などをご専門とされております。

【高見委員】 法政大学の高見と申します。デザイン工学部に所属しておりまして、都市計画を専門としておりますので、幾分お役に立てるかと思っております。よろしくお願いいたします。

【田部井都市計画課長】 ありがとうございます。

続きまして、谷委員でございます。市民公募委員でございます。

【谷委員】 谷滋と申します。マスタープランがあるから小金井市の人気が高いんだよというようなことをある方に言われまして、今日はそういう会に参加させていただくということでワクワクしながら参加させていただいております。会社では昨年12月末までBCP（事業継続計画）の策定をやっておりましたので、そのあたりでお役に立てればと思っております。よろしくお願いいたします。

【田部井都市計画課長】 ありがとうございます。

続きまして、中里委員でございます。市民公募委員でございます。

【中里委員】 中里でございます。よろしくお願いいたします。私は定年退職するまでずっと都心に通勤しておりました関係で、あまり小金井市に根差しておりませんでした。ですが、48年住んでおります。最近の自然災害を見るにつけても、何とか自分の住んでいる小金井市が安全で災害に強いまちになってほしいと強く願ってきておりまして、そんな折に市報を拝見して応募させていただきました。よろしくお願いいたします。

【田部井都市計画課長】 ありがとうございます。

続きまして、永田委員でございます。市民公募委員でございます。

【永田委員】 永田でございます。小金井に転居してまいりまして、この4月で25年になります。私も都心に通っておりますけれども、この25年、高架化であるとか、都市として成熟してきたと思っております。野川エリアは、子どもたちが小さいときは一緒に楽しんだというところでございまして、非常に暮らしやすいまちだなと思っております。何かのお役に立てればと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

【田部井都市計画課長】 ありがとうございます。

続きまして、野澤委員でございます。工学院大学でまちづくり学科の教授をされており、都市計画や都市デザイン、まちづくりをご専門に、現在は建築学部の学部長をなさっております。

【野澤委員】 野澤と申します。どうぞよろしくお願いいたします。今ご紹介いただいたように、新宿と八王子にキャンパスを持っています工学院大学で教育研究に当たっております。マスタープランを作るというのは非常に大掛かりな仕事ではございますが、皆さんとともに議論して、いろいろお役に

立てればと思っております。よろしくお願いいたします。

【田部井都市計画課長】 ありがとうございます。

続きまして、平尾委員でございます。市民公募委員でございます。本日は所用により3時を目途に途中退席させていただくと伺っておりますので、予めご了承ください。

【平尾委員】 平尾です。子育て世代として皆様に何かお役に立てればと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

【田部井都市計画課長】 ありがとうございます。

続きまして、三笠委員でございます。小金井市商工会より推薦をいただいております。

【三笠委員】 こんにちは、三笠です。小金井市商工会の商業部会長をやっております。商工会の商業者、工業者の点から都市計画というものを一緒に考えていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

【田部井都市計画課長】 ありがとうございます。

続きまして、水庭委員でございます。東京農業大学で造園科学科の教授をされており、緑による環境改善や都市緑地がご専門でございます。

【水庭委員】 水庭千鶴子と申します。どうぞよろしくお願いいたします。私のほうは都市計画というよりは緑地関係のことで何かお役に立てることがあったらと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

【田部井都市計画課長】 ありがとうございます。

続きまして、安田委員でございます。小金井市環境市民会議より推薦をいただいております。

【安田委員】 安田と申します。よろしくお願いいたします。はげや野川のそばで子育てをしてとてもこの地域が気に入っています。今回は環境市民会議というところで活動させていただいているのですが、そちらから推薦をいただきました。住んでいる一般市民の目線を大切にしたいマスタープランができればと思っています。よろしくお願いいたします。

【田部井都市計画課長】 ありがとうございます。

最後に若藤委員でございます。市の都市整備部長でございます。

【若藤委員】 若藤と申します。どうぞよろしくお願いいたします。私も小金井に育ちまして50数年になります。実は保育園をはじめにして、小学校、中学校、高校、大学、職場、全部小金井市内でおりましたので小金井のことしか知らない、小金井から出たことがないんじゃないと言われてまして、本日は皆さんのいろいろな幅広いお話を伺いながら、自身の考えを深めてまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

【田部井都市計画課長】 皆さま、ありがとうございました。これから都市計画マスタープランの策定まで、委員の皆様のご協力がなければ進まないものと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

続きまして、本日、出席をしております事務局の職員を紹介させていただきます。

都市計画課都市計画係長の片上でございます。

都市計画課専任主査の佐藤でございます。

都市計画課主任の関口雅也でございます。

都市計画課主事の関口亮太でございます。

都市計画課主事の川本でございます。

なお、関連する部局につきましては、今後、必要に応じて出席させていただきます。

また、業務の支援ということでコンサルタント業務を委託しております玉野総合コンサルタントも出席させていただいております。

5. 委員長、副委員長の選出

【田部井都市計画課長】 続きまして、次第5の委員長及び副委員長の選出を行います。

まず委員長の選出ですが、事務局としては指名推薦という形を考えてございますが、いかがでしょうか。

(異議なし)

【田部井都市計画課長】 ありがとうございます。それでは、どなたかご推薦をいただけますでしょうか。

【高橋委員】 小金井市の未来を考えていくと重要な役職であると思っています。その中で適任者としましては、工学院大学の野澤先生が最も適任者ではないかと思っておりますので、推薦させていただきます。

【田部井都市計画課長】 ありがとうございます。ただいま野澤委員というご推薦がございましたが、ほかにどなたかいらっしゃいますでしょうか。

ほかにご意見がございませんので、それでは、野澤委員に委員長にご就任いただくということよろしいでしょうか。

(異議なし)

【田部井都市計画課長】 ありがとうございます。ご異議がございませんので、野澤委員を委員長に選出することに決定いたしました。

続きまして、委員長の職務代理者である副委員長の選出を行いたいと思います。どなたか推薦される方はいらっしゃいますでしょうか。

【野澤委員長】 同じく都市計画分野でご経験も豊富な高見先生に私をサポートしていただけるとありがたいと思いますが、いかがでしょうか。

【田部井都市計画課長】 特にほかにご意見はございませんでしょうか。

ほかにご意見がございませんので、それでは、高見委員に副委員長にご就任いただくということでよろしいでしょうか。

(異議なし)

【田部井都市計画課長】 ご異議がございませんので、高見委員を副委員長に選出することに決定いたしました。

6. 協議依頼

【田部井都市計画課長】 それでは、続きまして次第6、委員会への協議依頼を市長から行わせていただきます。委員長に選出された野澤委員におかれましては委員長席へのご移動をお願いいたします。

【西岡市長】 小金井市都市計画マスタープラン策定委員会 委員長様。小金井市長 西岡真一郎。小金井市都市計画マスタープラン（原案）の作成について。小金井市都市計画マスタープラン策定委員会設置要綱第2条の規定により、下記のとおり協議を依頼します。記。協議事項、小金井市マスタープラン原案の策定。ご協議をよろしくお願いいたします。

【野澤委員長】 承ります。

【田部井都市計画課長】 それでは、ここからは委員長に進行をお願いいたします。また、大変申し訳ございませんが、市長は公務の関係によりここで退出とさせていただきます。

【西岡市長】 それでは皆さん、よろしく願い申し上げます。

【野澤委員長】 それでは、改めまして、簡単にご挨拶を申し上げます。委員会の委員長をただいま拝命しました工学院大学の野澤と申します。予定では2年間ということで、長期にわたりますが、ぜひ皆様、活発なご議論をいただき、充実した良いマスタープランを作っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

マスタープランは1992年に法律で策定すべしということで定められて、大体のところが今度3回目のマスタープランを作っている、10年ごとに大体見直しているのですが、どんどん社会情勢も変わっていますし、都市も変化していつている、特に高齢化が激しく進んでいるという背景がありま

すので、マスタープランもそれに合わせていろいろ変えていく必要があろうかと思えます。私もほかの自治体でもいくつかお手伝いをしていましたが、いろいろな問題点が出てきますし、いろいろなことが出てこようかと思えます。

先ほどいろいろな方が場違いでとおっしゃられていたのですが、場違いということは全くなくて、皆さん小金井市のプロですから、私なんかに比べると小金井市のことをよくご存じなので、その点ではその分野のプロフェッショナルとしていろいろなご意見をいただくとありがたいと思っています。

高見先生にもぜひよろしくお願ひいたします。

ということで、ここからは進めよということで、第1回はいろいろなことを、情報をインプットすることが中心になろうかと思えますが、わからないことがあれば適宜質問していただければと思います。

まず、先ほど事務局から座席について改めて委員会にお諮りするというお話があったかと思えますが、座席は今五十音順で並んでいるのですが、このままでもよろしいでしょうか。

特になければ、今後の委員会においてもこの座席で審議をしていきたいと思えます。

ここまでが一連の儀式でございまして、ここから議題に入りたいと思えます。

7. 都市計画マスタープランの見直しについて

【野澤委員長】 議事は、委員会への協議依頼まで終わって、その次、次第7、都市計画マスタープランの見直しについてということになりまして、実質的なご説明と議論に入ることにいたします。

ではまず事務局からご説明をいただきたいと思えます。よろしくお願ひいたします。

【事務局】 それでは、事務局より都市計画マスタープランの見直しについて説明させていただきます。申し訳ございませんが、着座にてご説明させていただきます。

資料5、小金井市都市計画マスタープラン見直しの視点をご覧ください。

なお、資料5と6の説明には、約20分程度、お時間を頂きます。少し長い説明になりますが、あらかじめご了承ください。

まず、資料5の1番、「都市計画マスタープランの見直しの目的」についてご説明させていただきます。

都市計画マスタープランは、道路や公園などの整備や市街地整備などの様々なまちづくりにおいて、総合的、長期的な観点から計画的にまちづくりを進めるための指針となるものでございます。

図をご覧ください。小金井市においては、概ね20年後のまちづくりの将来像を示すものとして、平成14年3月に都市計画マスタープランを策定しております。また、策定から10年が経過した平

成24年3月には、中間見直しによる改定を行いました。

そして、現在は当初の策定から概ね20年が経過しようとしていることから、社会情勢の変化や市の最上位計画である基本構想の改定等を踏まえ、今後20年後の将来像を示すものとして、令和4年3月に見直しを行うものでございます。

平成14年の当初計画や平成24年に改定した現行の都市計画マスタープランでは、まちづくりのテーマを「人・水・みどり ふれあいのまち 小金井」としてありますが、今回は、テーマについても見直しを行ってまいります。

続きまして、その下の2番、「都市計画マスタープランの位置づけ」についてご説明いたします。

都市計画マスタープランとは、ポツの1つ目でございますように、都市計画法第18条の2に基づく「市町村の都市計画に関する基本的な方針」でございます。

また、ポツの2つ目、3つ目については、図にも関係を示してございますように、都市計画マスタープランは、東京都が定める「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」、いわゆる都市計画区域マスタープランや、市の最上位計画である「小金井市基本構想」に則して定めるほか、市が定めるさまざまな計画。例えば、「緑の基本計画」や「住宅マスタープラン」などとも整合性を図ることとされています。

それではここで、現行の都市計画マスタープランについてご説明させていただきます。資料が変わりまして、お手元の都市計画マスタープランの冊子にて説明させていただきますので、お手数ですがご用意をお願いいたします。

初めに、冒頭のページ、3枚目にある、目次をご覧ください。

小金井市都市計画マスタープランは、市全域のまちづくりの指針となる「目次2」の「全体構想」と、後ほどご説明いたしますが、市内を3地域に分け、それぞれの地域特性を活かした、より詳細なまちづくりの指針となる「目次3」の「地域別構想」の2部門の構成となっています。

それでは11ページの全体構想のページをお開きください。

全体構想においては、ページ中央にございます「まちづくりのテーマ」と右下にあります3つの「基本目標」を定めています。

まちづくりのテーマは、「人・水・みどりふれあいのまち 小金井」となっています。

基本目標の1は、「環境共生のまちづくり」です。

水・緑のネットワークや循環型社会をめざしたまちづくりを目指しています。

基本目標の2は、「安全・安心なまちづくり」です。

主に歩行者の安全性や快適性を重視したまちづくりの実現を目指しています。

基本目標の3は、「自立（律）と活力にみちたまちづくり」です。

新たな出会いと交流をはぐくむ魅力的な都市空間を備えた小金井らしい活力にみちたまちづくりの実現を目指しています。

また、30ページ・31ページをご覧ください。

都市計画マスタープランの全体構想では、先ほどの基本目標の他に、市が目指す「土地利用」について方針を定めています。

「土地利用」においては、基本的な考え方や誘導方針を記しています。中心市街地での土地の高度利用などによる有効活用や、一方で、周辺部での緑とゆとりに満ちた土地利用への誘導などの方針を示しております。

さらに、33ページをご覧ください。

こちらは、全体構想における「交通と道路整備」について方針を定めています。

「交通と道路整備」においては、「交通体系の基本的な考え方」と「道路の整備方針」を36ページまで記しています。人や環境にやさしい交通環境への転換や、主要な幹線道路などの整備による円滑な自動車交通の処理をはじめ、歩行者の安全確保など総合的な交通体系の整備による安全で快適な交通環境の形成を目指しております。

続きまして、41ページをご覧ください。

都市計画マスタープランでは、今ご説明した全体構想のほかに、図にありますように、市内を3地域、武蔵小金井地域・東小金井地域・野川地域に分け、それぞれの地域特性を活かしたより詳細なまちづくりを記す地域別構想があります。こちらについては、全体構想の基本理念を継承しながら地域の問題点や活かしたい資源等をより詳細に記しており、42ページ以降に各地域の「まちづくりの基本方針」を記しております。

後ほど全体スケジュールのご説明をいたしますが、次回以降、まずは全体構想についてご検討いただき、その後、地域別構想をご検討いただくスケジュールになっております。

以上、現行の都市計画マスタープランの概要についてご説明させていただきました。

それでは、先ほどの資料5に戻っていただいでよろしいでしょうか？

資料5右上の3番、「見直しの背景」についてご説明いたします。まず、(1)第5次基本構想における小金井市の将来像等についてでございます。

現在、小金井市では市の最上位計画である「第5次小金井市基本構想」を策定中であり、右上の図にもありますように、「いかそうみどり 増やそう笑顔 つなごう人の輪 小金井市」として将来像を示すとともに、まちづくりの基本姿勢としての3つの方針や政策体系としての6つの分野分けが示さ

れております。

また、(2)「関連計画等との連携」についてでございます。緑の基本計画や環境基本計画、住宅マスタープランなどの小金井市の各種関連計画や東京都の区域マスタープランとも整合を図るものがございます。これらを踏まえて見直しを行ってまいります

なお、参考までに、裏面に、今後の都市づくりに向けた視点についてまとめてございます。左にある「小金井市長期総合計画討議要綱における共通認識」についてですが、長期総合計画討議要綱は、第5次基本構想・前期基本計画を検討する際のガイドラインを示すものでありまして、その検討の中での論点として重要な社会的な潮流を6つに整理したものでございます。したがって、都市計画マスタープラン策定においても共通認識としておくべき論点として認識しております。また、真ん中、及び右側は、その他、国や都の最近の主な取組みを整理しておりますので、ご参考にしていただければと思います。

それでは、続きまして、表面の資料5の右下の、4番、「都市計画マスタープランの構成と策定方法」についてご説明いたします。図の上段にございますように、計画を取りまとめる基礎調査として、「現況整理・分析」、「現行計画の評価・検証」、「市民アンケート」等を実施いたします。

また、図の下段にございますように、各会議体等をそれぞれ設置しておりますので、順次説明させていただきます。

まずは、左側の策定体制についてですが、本日の委員会であります、「策定委員会」についてでございます。後ほど説明いたします、「庁内検討委員会」や「市民協議会」等の各会議体で出された意見を集約して、市長へ策定案の報告を行ってまいります。委員の構成は、先ほど委員紹介がありましたように、公募市民が5名、関係機関・団体の関係者が4名、学識経験者が4名、市職員が1名の全14名となっております。

次に、「庁内検討委員会」についてでございます。

こちらは、庁内関係各課による施策連携・調整の場として位置づけ、都市整備部長を委員長に庁内の関係各課長全13名を委員とした委員会でございます。

庁内検討委員会につきましては、第1回目の委員会を2月5日に開催しておりまして、当日は、本日も同様に都市計画マスタープランの見直しについてや、後ほど説明する市民アンケート等についての説明をしております。

当日は、アンケートの質問項目等について意見がありました。なお、今回配布したアンケート資料については、その指摘項目を受け、事務局にて修正した資料となっております。

続きまして、市民参加について説明させていただきます。

まず、「市民協議会」についてでございます。市民の皆さまに、市報等を通じて参加を呼びかけまして、ワークショップ等を通じて、市民の考える「まちの課題」や「今後のまちづくり」について協議していただくものでございます。

次に、「まちづくりサロン」及び「市民説明会」についてでございます。誰もが自由に参加できる場として、まちづくりサロンを開催し、それと併せて、同じ場所で市民説明会を開催する予定でございます。

次に、「中学生検討会」についてでございます。市内の中学校から、数名ずつの生徒に集まっていたいただき、中学生という若い世代への「マスタープランの周知」や「まちづくりへの意識啓発」を図るとともに、検討会を通じて、若い世代の視点での市の課題等の意見を把握していきたいと考えております。

また、中間まとめ、素案ができた段階で、パブリックコメントを実施するとともに、都市計画審議会への報告や付議・答申を行ってまいります。

今後は、先ほど説明した各種市民参加や各会議体で出てきた意見等を基に、市の将来像、まちづくりのテーマ、基本目標を設定し、「全体構想」や「地域別構想」を取りまとめていく予定でございます。

なお、地域別構想の区分けについては、事務局としては、これまでの都市計画マスタープランの継続性の観点からも現計画と同様の3地域、武蔵小金井地域、東小金井地域、野川地域の区分けを提案させていただきたいと考えております。

以上で資料5の説明を終わらせていただきます。

続きまして、見直しのスケジュールについて説明させていただきます。資料6「業務工程表案」をご覧ください。

まず、業務項目の一番上、「現況整理・分析」でございます。

現在、「上位計画、関連計画、関連法規等の整理・分析」や、「現行計画の評価・検証」等の現状整理・分析を行っているところでございます。

さらに、市民の意向を把握し、都市計画マスタープランの見直しの基礎資料とするために、市民アンケートを実施する予定でございます。アンケートの設問内容等については、後ほどご説明させていただきます。

全体の流れとしては、その下の項目、全体構想案の作成になりますが、まずは、令和2年12月を目途に全体構想案を作成いたします。

その下に矢印が続きますが、都市計画マスタープラン案の作成の項目にあります「中間まとめ」を行い、さらにその下の矢印が続きますが、その中間まとめの内容について「パブリックコメント」を

実施するとともに、「まちづくりサロン」や「市民説明会」を実施し、全体構想をまとめて参ります。

その後、地域別構想案の作成に進み、令和3年10月を目途に全体の素案を作成して参ります。その素案については、先ほどと同様に、「パブリックコメント」を実施するとともに、「まちづくりサロン」や「市民説明会」を実施する予定でございます。

その後、パブリックコメントやまちづくりサロン等でいただいたご意見を参考にしながら、案の作成を経て、令和4年2月を目途に、本委員会における都市計画マスタープランの最終的な案を市長へ報告するものでございます。

その間、庁内検討委員会と策定委員会を全11回、開催時期は、令和元年度1回、令和2年度5回、令和3年度5回を予定しております。

また、市民協議会を各年度3回、中学生検討会を令和2年度に2回の開催を予定しております。

また、節目には都市計画審議会に適宜報告し、最終案については都市計画審議会への付議・答申を経て令和4年3月に策定してまいります。

なお、資料には記載はございませんが、市議会へも適宜報告を行ってまいります。

見直しのスケジュールとしては以上となります。

【野澤委員長】 見直しの視点、フレームとスケジュールの話をご説明いただきました。まだ中身の話はないですが、今のご説明でご質問、あるいは何か注意点があればご指摘をいただきたい。

【高橋委員】 資料5の右側の下の市民参加の部分で説明をいただきたいのですが、市民協議会と書かれているこの部分ですが、これは主体は市側が考えているのですか、それとも民間市民の方々のグループみたいなものを認定するような形で考えているのか、どちらなのか教えていただけますか。

【事務局】 ただいま市民協議会の関係でご質問をいただいております。現在、市民協議会という形で想定してございますのがワークショップ的なものを想定してございます。公募の仕方といたしましては、基本的には事前申込制というのが基本となるのかなということを考えてございまして、さまざまな媒体を活用いたしまして募集をかけていきたいと考えてございます。

ただ、市報ですとかホームページですとかTwitterですとか、そういったものだけではなかなか人が集まらないのかなというところもございまして、今回、実は後ほどアンケートのご説明もさせていただくのですが、アンケート調査案内文の裏面にも市民協議会の募集という形の広告を書かせていただいたり、また別途広報紙を作成いたしまして市内の公共施設等にも置かせていただくとか、あと例えばいろいろな団体が市内にございます、そういったところにも声掛けをさせていただいて皆様方の参加を募っていくということを考えてございます。

ただ一方で、市民協議会はワークショップ形式を予定しておりますので、限られた会場の中でやっ

ていただくという形になりますので、申込制を基本としていながら、いろいろな事例を参考にさせていただいて募集をかけていきたいということで考えている状況でございます。以上でございます。

【高橋委員】 併せて確認ですが、そこで出られた意見とかそういうのはこの会議の中に情報として流していただけると考えてよろしいですね。

【事務局】 今おっしゃったとおりでございまして、市民協議会は令和2年度にまず3回予定してございまして、そちらにつきましてはその都度こちらの委員会に報告をさせていただきます。先ほどの資料6を見ていただきたいのですが、この流れの中で、令和2年12月の中間まとめというところに、市民協議会の結果を反映させていきたいと考えております。また令和3年度においても市民協議会は3回予定してございますので、そちらにつきましてもその後の素案、令和3年の10月ごろを目途に反映させていく、当然策定委員会にもご報告させていただくという予定でございます。

【高橋委員】 もう1個あるのですが、これは逆に褒めたい部分ですが、中学生の検討会、これは素晴らしい考えですね。大いにいろいろな意見が出てくると思いますので、期待しております。忌憚のないところでやって、想像溢れる楽しい意見や厳しい意見を出していただければと思っています。

【野澤委員長】 お褒めの言葉もありました。こういう場で誉め言葉が出るのは珍しいかもしれません。ありがとうございました。

ほかの方はいかがでしょうか。どこからでも結構だと思いますが、よろしいですか。

無ければ私から当たり前の質問をさせていただきますが、全体構想をやって、中間まとめをして、地域別構想をやってまとめていくという一応の段取りですが、そうスムーズには多分行かないと思っていて、地域別構想を作った段階で全体構想にまた再度反映させるべきことが出てくると思うのですが、そのあたりは最後の素案、案を策定する中で行ったり来たりは想定していらっしゃると思いますが、確認です。

【事務局】 はい、行ったり来たりの部分もしなければいけないなと思っております。資料6のスケジュールをご覧くださいとお分かりになりますが、素案策定の時期に策定委員会を2回、案の策定で策定委員会を3回予定してございます。このあたりの中ですり合わせは行ってまいりたいと考えております。

【野澤委員長】 ありがとうございます。そこは結構大事な話だと思うので、忘れないでやりたいと思います。

それともう1つ、細かいことですが、都市計画審議会へ付議・答申というのは必要なのですか。ここで議論してせっかく作ったものが都計審でひっくり返される可能性はあるということですよ。

【事務局】 都市計画審議会に付議・答申をする理由でございますが、都市計画審議会は、都市計

画法に基づき設置されているということでございます。併せて、国のほうで策定している都市計画の運用指針というものがございまして、その中でもマスタープランの策定につきましては市町村における都市計画審議会から意見を求めていくことが望ましいと書いているということもございまして、審議会には節目で報告をさせていただき、そして付議・答申をさせていただくという形で考えてございます。

ただ一方で、今度はこの策定委員会というものがマスタープラン策定における専門委員会という位置づけでございますので、こちらの委員会が本筋になるという形でございますので、そのような形で今整理をしている状況でございます。

【野澤委員長】 わかりました。市町村によってやり方がいろいろ違うので確認をさせていただきました。ほかにいかがでしょうか。

【安田委員】 都市計画審議会のことが今出ましたが、市議会に諮ることはしないのでしょうか。

【事務局】 市議会のほうでも行政報告もしてまいりますし、建設環境委員会という都市計画部門の所管の委員会がございます。その委員会に適宜行政報告をさせていただきまして、市議会の委員の皆様にご審議をいただく予定にしております。

【事務局】 続きで、あと、議会ということになりますと全員協議会というものがございます。こちらは議会基本条例の第15条というところに位置づけられているのですが、そちらのほうでもご報告をさせていただくという運びになってございます。資料6のところには書いてはございませんが、都市計画審議会が行われるようなタイミング、そこで全員協議会に報告させていただく、そのような予定になってございます。

【野澤委員長】 よろしいでしょうか。ほかにいかがでしょうか。

【永田委員】 資料5ですが、小金井市の都市計画マスタープランは上位として都の多摩部19都市計画、都市計画区域のマスタープランにかなり左右される、そういう理解でよろしいのでしょうか。横に都の方針がいろいろ列挙されていますが、そのあたりがかなり肝になってくる、そういう理解でよろしいのでしょうか。

【事務局】 今ご案内をいただきました都市計画区域の整備、開発及び保全の方針、通称、区域マスタープランと呼ばれておりますが、いわゆる東京都の都市計画マスタープランでございますので、市のマスタープランとしてはこれに即した形になるというふうに考えております。

【野澤委員長】 よろしいですか。一応そういう形に法律上なっています。ただ、強い声を上げると、小金井市はこうしてほしいということは、この区域マスも定期的に見直しをしますので、東京都から意見照会は当然市のほうに来ますから、市でこういう議論したという形で東京都に意見をするこ

とはできますよね。よろしいでしょうか。

あと、高見先生。

【高見副委員長】 今同じ質問を申し上げようと思ったのですが、詳しくお聞きしたいのですが、都市マスは当然市決定なわけですが、東京都に対する協議というのは義務づけられているのでしょうか。

【事務局】 市の都市計画マスタープランにつきましても義務づけではないのですが、東京都に照会をかけまして、照会をかける中で区域マスとの整合を図っていきたいと思っています。手続き的にはそういうことを考えています。

【高見副委員長】 そこで何か意見が出て、通らないとか、やめておけとか、そういうのはあるのでしょうか。

【事務局】 協議の中で意見交換をするということになると思います。東京都からの回答の中で意見がつくかどうか、正式な照会をかけまして正式な回答をもらう中で東京都から正式に意見がつくかどうかということだと思いますが、小金井市のマスタープランにつきましては手続き上、東京都の許可が要るとか、そういうところはございませんので、そこは小金井市が独自に判断できるのかなと思っています。

【野澤委員長】 よろしいでしょうか。ほかにいかがでしょうか。

いつの段階に照会するのですか。この策定委員会がまだ動いている段階ですか。完成した後ですか。

【事務局】 照会の時期でございますが、お手元の資料6にスケジュールを書いておりますが、素案ができ上がりまして、全体構想、地域別構想ができ上がった段階で照会を掛けていきたいと思っています。その手前では調整というのは始めていく必要があるのかなと思っています。

【野澤委員長】 そうすると、東京都から意見があった場合に、この場でもまたフィードバックがかけられる時間はあるわけですね。

【事務局】 はい、あります。

【野澤委員長】 わかりました。ほかにいかがでしょうか。

【高見副委員長】 最初ですので市のお考えを確認しておきたいのですが、資料5の左下のチャートを見ましても、何となく日本語としての語感から都市計画マスタープランというのは都市を計画することの全体のマスタープランのように聞こえるわけですが、法律上は多分そうはなっていないくて、都市計画のマスタープランなんですね。一般の方にご説明申し上げますと、要するに都市計画の出口というのは行政行為としての規制でしかないわけですね。土地利用計画などもこういうのがあるといいですねというふうに書かれても、できることは用途地域を指定することしかないわけじゃないです

か。その辺の、こうなるといいなあとここで議論したものが都市計画で受けられるか受けられないかというのはどのぐらいの覚悟というか、幅広さがあると考えているのでしょうか。通常、狭く考えると、ふんわか書いておいて、都市計画というのは最低限のことをやる、そうなるのが一般的なわけですが、もうちょっと頑張る気があるかどうか。

【事務局】 マスタープランと、行政行為としての都市計画規制との関係というか、考え方ですが、実際の現場に入って都市計画の変更をしていくということになりますと、やはり地元の意見ですとか、そういったこともすごく大切になってまいります。実際都市計画決定する際には、具体的な案を地元の皆さんも交えて作っていかねばならないという非常に大きなハードルがございますので、実際、今回のマスタープランは地域別構想などでワークショップも開催いたしますので、地元の皆さんにもご参加いただきながら、将来のまちづくりのイメージを20年後のイメージとしてお考えいただいて、そういうものを反映させてまいりたいと思っておりますが、実際マスタープランができた後に現場として都市計画決定をできるかどうかというのはそこにお住まいの皆様とご相談しながらということになりますので、我々としては当然でき上がったマスタープランでございますので、それを実現するためにそれに基づいて現場の声も聞いたりという具体的な作業に入ってまいりたいと思っておりますが、その先は実際は地元の機運だとか、そういうことを見ながらになると思っております。

【高見副委員長】 ありがとうございます。

【野澤委員長】 ほかにいかがでしょうか。よろしいですか。それでは、資料5、資料6についてはご了解いただいたということで、これを大きなフレームとして今後の検討を進めていくということにしたいと思います。その他、何かございますか？なければ、次の議題に進みたいと思います。

それでは、次第8「都市計画マスタープランに係る市民アンケートについて」を事務局より説明願います。

8. 都市計画マスタープランに係る市民アンケートについて

【事務局】 それでは、事務局より説明させていただきます。

資料7-1、7-2、7-3をご覧ください。

資料7-1は、都市計画マスタープラン見直しのための、アンケート調査（案）についての内容を本委員会用にまとめたものでございます。

資料7-2は、小金井都市計画マスタープラン見直しのためのアンケート調査の案内文でございます。

資料7-3は、実際にお答えをいただくアンケート用紙でございます。

なお、資料7-2の案内文の裏面には、今後開催予定の市民協議会等のチラシを掲載しております。
それでは、資料7-1をご覧ください。

1番。調査の目的ですが、市のこれからのまちづくりについて、市民の意向を把握し、都市計画マスタープランの見直しの基礎資料とするためにアンケート調査を実施するものでございます。

続きまして2番。調査方法等についてですが、調査対象は、住民基本台帳から無作為抽出した、18歳以上の市民、3,000人を対象にアンケート調査を行います。なお、3,000人には、外国籍の方80人を含んでおり、英語、中国語、ハングル語のいずれかの調査用紙を同封いたします。

実施時期は2月下旬頃の発送を考えておりますが、アンケート用紙については、本日の本委員会の委員の皆様にご意見を伺ってからの発送いたします。

3番は、調査項目として、設問の目的等を記載しております。後ろに添付されております資料7-3のアンケート用紙と並行してご覧ください。

はじめに、問1「回答者属性」について、アンケート用紙の1ページをご覧ください。

年齢や居住地域等の回答者の属性をお聞きしております。

つぎに問2「定住意向」についてでございます。2ページをご覧ください。

現在の居住歴や住みやすさ、今後も住み続けたいかをお聞きします。

つぎに問3「計画認知状況」についてでございます。同じく2ページの下段をご覧ください。

都市計画マスタープランそのものについての認知度を確認するとともに、今後の参考とするため、効果的な周知方法についてお聞きします。

つぎに問4「取組の評価」についてでございます。3ページをご覧ください。

現行マスタープランに掲げる主要な施策16項目について、その取り組み内容を評価していただきます。なお、現行のマスタープランにおいては、左端にある分野分けは、ございませんが、各施策の内容を整理するため、5つの分野に分けて表示しております。

つぎに問5「重要と考える取組分野」についてでございます。4ページをご覧ください。先ほどの主要な施策において分野分けした5つの分野、「土地利用」、「道路・交通」、「緑・環境」、「安全・安心」、「住環境」について、重要と考える分野を把握するとともに、その他、重要と思う分野について意見を伺います。

つぎに問6「まちづくりの重要項目」についてでございます。5ページをご覧ください。

先ほどの5つの分野における具体的な項目を複数挙げ、特に市民が重要と考えている項目を抽出します。

つぎに問7「将来のまちづくりの方向性」についてでございます。6ページをご覧ください。

SDGs、持続可能な開発目標の観点も踏まえ、概ね20年後の将来像について、重要と思う項目を把握します。

つぎに問8「まちづくりへの取組意向」についてでございます。同じく6ページの下段をご覧ください。

まちづくりへの市民参加を今後進めていくため、市民の関わり方について意向を把握します。

つぎに問9、「将来のまちの風景」についてでございます。7ページをご覧ください。

市内全域を示したイラストを見ながら将来のイメージを書き入れていただき、将来のまちづくりに向けた課題や、新たな視点、キーワードなどを抽出します。

最後に、問10「自由記入欄」についてでございます。7ページ下段をご覧ください。

問題設定されたもの以外のまちづくりに対する意見などを抽出します。

以上が、都市計画マスタープランについてのアンケートの内容となっております。

また、本都市計画マスタープランのアンケートの他に、市内の優先整備路線である都市計画道路2路線に関するアンケートを8ページ目に掲載しております。なお、参考資料としてアンケートの目的や優先整備路線についての説明をまとめた冊子を添付させていただいております。

本来であれば、都市計画マスタープランとは別のアンケートとして回答をいただくところではありますが、経費の削減等のため、同じ冊子での調査とさせていただきます。

以上で説明を終わらせていただきます。

【野澤委員長】 ご説明ありがとうございました。何かご質問、あるいはご意見がありましたらお願いいたします。

【中里委員】 このアンケートを拝見しまして、一般の市民から見ますと受け取ったときには結構複雑と感じると思うんですね。ですが、これだけのものの皆さんの意見を吸い上げることはまた必要ということもよくわかるのですが、前回もやはり同じようなアンケートというのは実施されているのでしょうか。

【事務局】 はい、前回も同じようなアンケートを実施しております。

【中里委員】 規模等はこの3,000人でしたか。同じような規模で実施なさっていますか。

【事務局】 はい、前回改定の際には3,000人規模で無作為抽出で実施しております。

【中里委員】 回収率はどのくらいだったのでしょうか。

【事務局】 前は約30%でございました。

【中里委員】 わかりました。ありがとうございます。

【野澤委員長】 よろしいですか。ほかにいかがでしょうか。

【谷委員】 一番後ろ、8ページの都市計画道路についての設問ですが、私、実は国分寺の野川地域というところに住んでおりまして、国分寺のほうから歩いたほうが早いので、近いので、そちらから通っているのですが、国分寺と武蔵小金井は道の幅が違ったりするんですね。都市計画道路についても、これは恐らく東京都が全額負担と4番のところに書いてございますけれど、東京都が肝入りで作っているのであれば、武蔵小金井だけがこれをしなかったら全体にご迷惑がかかるのではないかと思うのですが、そういうことは設問に入れなくていいのでしょうか。東京都全体の道路なので武蔵小金井としてはやらなきゃいけないですよ、みたいな設問というのはつけられたほうがわかりやすいかなと思うのですが、いかがでしょうか。

【事務局】 都市計画道路のアンケートについてのご質問でございます。今ご質問いただきました都市計画道路優先整備路線の2路線についてというアンケートは、本来は都市計画マスタープランの市民アンケートそのものではございませんので、別のものではございますが、今現在優先整備路線2路線が非常に市議会、市民の関心が高くて、そういった状況もございますので、こういった機会を捉えまして一緒に同封させていただくものです。

今、谷委員からご質問がございました都市計画道路の背景につきましては、参考資料を別冊でつけております。「参考資料、都市計画道路のアンケートについて」という資料でございます。ここにこのアンケート、都市計画マスタープランとは別の都市計画道路のアンケートの目的ですとか、今ご指摘のありました都市計画道路とはですとか、都が整備するものではないかですとか、それらのことをまとめて書いてございます。これをお読みいただいて、我々としてはご理解いただいた上でご回答いただきたいと思っております。

【野澤委員長】 いいですか。ほかにいかがでしょうか。

【谷委員】 すみません、たびたび恐縮です。谷と申します。7ページのところに絵がございまして、緑豊かなまちと書いてあるのですが、緑でないものがいっぱい書かれています。桜なんですね。都心に通っていますと小金井市はどんなところかと言ったら、一度出たごみ問題ぐらいであまりにも出ないんですけど、桜で有名だぞと。小金井桜と言うんだぞと。明治時代に中央線ができたときから国分寺で降りて小金井に帰ってくる、桜が有名だと言って結構写真なんか見せると、ああそういうところかという。私にとっては小金井は桜で、それがプライドで説明というふうに頭の中で組み込まれているのですが、玉川上水のところでも道路を守って桜を守って、小金井街道でも桜を守って今でもつないできているというので、私は誇りにしてもいいかなと思っております。緑の保全というところでもいいとなるのですが、桜を残しているというのを何らかの形で設問の中に入れていただけると、もう少し書くほうも力が入るかなとは思っております。

【事務局】 7ページの関連についてご質問をいただいております。これはアンケートの中の問9というところの趣旨でございますが、谷委員がおっしゃったとおり、これは桜ですとか、逆にそういったことをここに書いていただきたいという、そういう項目になってございます。将来のまちづくりについてこの絵を参考にどういうまちになって欲しいのかですとか、あと、どういった生活イメージを持っているのかですとか、今委員がおっしゃったようなことを逆に自由にキーワードを書いていただく欄になってございます。そういったものを今後のマスタープランに何かしらの形で反映できるものは反映していきたい。市民の皆様がどういったご意向を持っていらっしゃるのか、そういったことを聞きたいというところで、先ほどの緑豊かなまちというのは1つの事例という形で挙げさせていただきましたので、そういったことを思っただけの方がいれば、ここに書いていただきたいと考えております。

【野澤委員長】 例示してしまうと書いてもらえなくなるということもあるかもしれないですね。ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。

【市古委員】 中里委員、それから谷委員からもございましたが、できるだけわかりやすく結果がうまく使えるアンケートをという視点から3点ほど、細かいところはまた別にしますけれども、1点目は問3の(1)マスタープランの認知度、これは受け取ると事務局はショックを受けるほど市民は知らないかもしれないなと思います。大田区で1回やったことがあるのですが、1割以下でした。回答者の1割以下でしたので。だから、これをもしやるとしたら、小金井市の基本計画の認知度と都市マスと両方聞くぐらいの感じのほうがちょっと参考になる情報にはなるのではないかと思います。それが1点目です。

それから、ちょっと印象論かもしれないですが、2点目は、問7は要らないかなという気がしました。問5、問6のところと重複している感があるんですね。もし問7を残すならば、これは問4の小金井市のまちの今の評価と関連づけて項目を厳選して聞くぐらいにしておいたほうが、結果を消化しきれないのではないかとというのが印象です。ここからできるだけ泣く泣く削るというの必要な作業かなと。答えやすくするためにですね。それが2点目です。

それから3点目は、一番最後のページの都市計画道路の項目、これもこれまでの検討、市民の皆様からの意見を踏まえての論点だと思うのですが、これはもう少し論理構成というか、同じような項目は並べるような形で、少なくとも並び順、本当に沿道の住民の方にのみ影響を及ぼすことから、もう少し広域的な影響のことですとか、それから災害時に役に立つということを固めるとかですね。例えば1、2と13に今飛んでしまっているわけですね、防災とか災害に関してですね。ということで、設問の項目順は少なくとも精査していただいたほうが、より答えやすいものになるのではないかと思います。

いました。あえてバラバラにするという意地悪なアンケートもありますけれども、ちょっとそれは答えやすくするという趣旨からは反するかなと思いました。以上です。

【野澤委員長】 事務局、いかがでしょうか。

【事務局】 まず1点目でございます。認知度についてということで、基本計画も合わせて聞いたほうがいいのではないかとご提案については変更ができるか検討してまいりたいと思っております。

次に、2点目でございます。設問を厳選してはどうかというところでのご質問かと思えます。これにつきましては、問7の趣旨としましては、先ほどもご説明させていただきましたけれども、SDGsを意識いたしまして、SDGsの項目の中で都市計画のまちづくりの視点で置き換えた言葉を今回並べております。そういったところで、これはこれで意味があるのかなと思っておりますけれども、確かにSDGsを離れて全体を項目として見てみますと重複しているところがあるのかなというふうにも思いますので、この点は再度検討してみたいと思っております。

3点目の都市計画道路のアンケートの項目の並び順です。これについては、設問の内容としてはこれまで市民の皆様とか議会の皆様の関心の高いところなども踏まえて設問の項目を作っていたり、設問の順番もメリット、デメリットを実は交互に並べていたりとか、そういう工夫もしているところですが、今ご指摘のあったとおり、例えば防災関係があまりにもバラバラだとか、そういった点は気がつかなかったところがございますので、その点については検討してまいりたいと思っております。

【野澤委員長】 はい、よろしく願いいたします。ほかにいかがでしょうか。

【中里委員】 このアンケートですが、回収率がそれほど高くないということであれば、ホームページ上で同じような書式でのアンケートを募るとするのは、集計上、業者さんが入っていらっしゃるけれども、無理になるのでしょうか。できれば若い方の目にとまるところで、そのとき興味があれば都市計画についてのアンケートをしていただければ、より多くの人の意見を集約できるのではないかと思います。

【事務局】 おっしゃられたとおり、これだけIT環境が充実している時代でございますので、若い世代の回収率を上げるというのはまさにおっしゃるとおりでございます。そのためにアンケートのWEB対応というものにつきましては私ども事務局といたしましても当初選択肢の1つということで考えていたところがございます。

一方で、セキュリティの問題であったり、あとはなりすましの問題とか、技術的なところの課題があるのも事実でございます。それぞれ条件を踏まえた中で、先ほど資料6の中でスケジュールでも

示させていただいたところでございますが、今後のスケジュールを考えますと、まずは早急にアンケートに取り掛からなければならないということ、またその間に技術的な問題というのが果たしてクリアできるのかということも踏まえた中で総合的に判断させていただいて、今回は紙ベースのアンケートという形でさせていただいたという状況でございます。

【野澤委員長】 よろしいですか。ほかはいかがでしょうか。

【高橋委員】 今の意見でひらめいたという言い方は失礼なのですが、セキュリティの問題は別ですけれども、要はこのアンケートとかそういうものをどういう方がどういうふうに伝えるかで市民の関心度が高まるかと思っています。そういう意味では、これは私の個人的な体験ですが、小金井市内の中には面白い芸人さんのような方が結構おいでなんです。腹話術をやる方がいたり、観光協会のほうで何かかぶりものをして演奏するような方がいたり。そういう方々にこういうアンケートを語ってもらい、情報を出してもらいようなことをすると、思わない人たちが関心を持って、それでこういう情報にたどりついて自分で書いていくという可能性は僕は高いと思っています。

そういう意味で、小金井市民をうまく巻き込んだ形で情報を伝えるという方法を取ることが、結果としてアンケートの回収率が上がるし、今まであまり関心のなかった方々にも伝わっていく可能性は僕は高いと思いますので、そういう意味で過去のやり方にとらわれることなく、小金井の面白い人材の方々の協力をいただいて情報を発信するお手伝いを願ってはいかがかなと思いますので、ぜひそういう点も考慮しながら、また、YouTube も含めて情報発信していただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

【野澤委員長】 何かコメントはありますか。

【事務局】 周知の方法についてご意見をいただきました。認知度が低いとか、アンケートの回収率が低いということについては事務局もそのとおりだと思っております、それについてはできるだけ周知を図ってまいりたいと思っています。

今のところホームページですとか市報を使ってということを考えているのですが、それ以上に何かできることがあれば検討して、そういったことも取り入れてまいりたいと思っています。具体的に今どんな方法でというのは申し上げられないのですが、できるだけ取り組んでまいりたいと思っています。

【野澤委員長】 高橋委員がおっしゃったことは、多分この案の段階で周知するとかでき上がったものを周知するときにも十分使えるアイデアかなと思うので、うまいこと今のご意見を使えばなという気がいたします。

ちなみに、こういった市民一般に無作為で送るアンケートで30%の回収率というのは高いほうで

すよね。ですから、そんなに悲観的に考えなくても、3,000撒いて30%ですから、900は来るわけですから、900のサンプルというのは結構な数だと思うので、それを分析することでわかることもたくさんありますので。もちろん周知してたくさん返ってくることのほうがいいわけですが、そのあたりはあまりアンケートの段階からハードルを上げてしまって、それでいっぱいいっぱいになられても困るので、実施方法については今まで事務局でご検討いただいたもので今回はいいのかなと思うのですが。

ほかに何かご意見。安田委員、どうぞ。

【安田委員】 安田です。都市計画道路のアンケートについてです。アンケートを3,000人ということですが、回収率30%で、それで出てきた結果をマスタープランに反映させるということであれば大変重いアンケートになると思います。アンケートの内容をもっと策定委員会で揉むような機会が欲しかったんですね。私もこの委員会が始まる前に都市計画課さんのほうにはそのようにお願いしたのですが、一緒にやるということで、マスタープランの見直しについてと優先整備路線両方一緒にやってしまうというのはとても乱暴だと私は思います。こちらに載せる情報によっては回答はかなり変わってくると思います。全くこの計画を知らない方が見たら、この質問ではほとんど「そう思う」になってしまうのではないかなと懸念します。

先ほど広域的なネットワークというご意見がありましたが、そういうことを考えたらそうだよな、うちだけやらないとか、他市に迷惑がかかるとか、そういうことを書いたらやっぱりそう思いますよねということで、書き方によって、情報によって全く異なるアンケートになってしまうと思います。

実際にこの中で、参考資料の3番の2路線が選定された理由として、「今後も必要な都市計画道路なのかどうかの検証が実施され、必要性が確認されました」とあるのですが、こちらは誰が確認したのかも明確には書かれていませんし、どのように決定されたのかも私たちもわかりません。また「自転車走行空間の充実、緊急医療施設への到着時間の短縮などの理由により」などと書いてあるのですが、このように書くと、多分2路線について個別具体的に検討したかのような誤解を与えると思うのですが、これはそんなことはされているという議事録は多分存在しないと思いますので、ちょっと恣意的なアンケートになってしまうのかなと思います。

それから、アンケートに関してどれぐらい意見を反映していただけるのかお聞きしたいのですが。

【事務局】 この2路線についてのアンケートのマスタープランへの反映のお尋ねでございます。現行のマスタープランでも交通と道路整備については方針を示しておりまして、これから策定されるマスタープランについても交通と道路整備については同じように方針を示してまいりたいと思っています。アンケートの結果の反映の仕方ですけれども、結果を踏まえて検討してまいりたいと思っています。

まして、現段階ではどのように反映をとというのはなかなか明確にお話しすることは難しいところがございます。

また、都市計画マスタープランの手続きといたしましては、事務局で案を作りまして、庁内検討委員会を経ましてこの策定委員会にお示ししながら皆様でご議論していきながら決定してまいりたいと思っています。

あと、本日参考資料としてお配りしております2路線についてのアンケートでございますが、この2路線についてのアンケートは、今回都市計画マスタープランのアンケートに同封するという事で参考資料としてお配りしているものでございます。これについてのご質問につきましては、事務局のほうで後ほどまたお受けしたいと思っておりますが、この場につきましては都市計画マスタープランのアンケートについてご議論を頂戴できればいいなと思っております。よろしく願いいたします。

【野澤委員長】 ということですが。

【安田委員】 わかりました。

【野澤委員長】 よろしいですか。ほかにいかがでしょうか。

【永田委員】 先ほどの説明で、市の中でアンケートについて見直しされたというお話があったと思うのですが、どのあたりを見直されたのでしょうかというのが1点。

それと、もう1点お聞きしたいのはSDGsという論点が示されたわけですが、このアンケートを取られる方にご説明されるのですか。多分このあたりの言葉はかなり認知度が低いのではないかと考えているのですが、そのあたりについてどうお考えになってこういうアンケートをされたのかということをお聞きしたいと思います。

【事務局】 先般2月5日に庁内検討委員会が開催されました。その中で出たご意見を一部反映した形で今回修正させていただいたというところでございます。修正点といたしましては、問1の属性のところの表現の仕方であったり、例えば問5の概要、問6の項目といったような表現の仕方、選択のやり方、そういったところでご意見をいただいたものを反映させていただいたというものになります。

もう1点の質問のSDGsの話でございます。市民の皆様がSDGsの観点を果たして知っていらっしゃるのかというと、確かにおっしゃるとおりということは思っております。一方で、なかなか限られた紙面の中でSDGsの説明を入れるのかということも我々も悩んだところではあるのですが、SDGsの視点というのを踏まえるというのは国連のほうで採択されている、国のほうでも動いているという、その視点というのを避けられないのかなと。そこを噛み砕いて、わかりやすい言葉で示していくとこのような形で、例えば基本構想ですとか、そういったところへの紐づけということも

考えていくと、このような視点を踏まえ、どんなまちになってほしいのかというところを聞いていきたい、そのような趣旨でこの設問を設けさせていただいたというところでございます。

【永田委員】 問7の8ですが、災害に強いインフラだけでなく、レジリエンス、しなやかにということで、災害対策は復旧するとか復興するとか、多分そのあたりがSDGsでは書かれていると思うのですが、そのあたりも含めてご検討いただければと思います。

【事務局】 ありがとうございます。いただいた意見を参考にさせていただきたいと思います。よろしくお願いたします。

【野澤委員長】 はい、よろしくお願いたします。ほかにいかがでしょうか。よろしいでしょうか。今出た意見で修正が入ったアンケートの確認はどうでしょうか。次の委員会を待ってられないんですよね。

【事務局】 今いただいたご意見につきましては、事務局のほうで検討させていただきまして、まずは委員長とご相談させていただきたいと思っています。委員長ご一任にさせていただくか、また別途送付させていただくかというようなことが考えられますが、その点はいかがでしょうか。

【野澤委員長】 私にお任せいただくか、皆さんにもお送りしてチェックをしていただくかということですが。

【谷委員】 一任ということでしょうか。

【野澤委員長】 よろしいでしょうか。では、責任重大ですが、私にご一任いただいて、事務局と調整しながら実施用のアンケートに仕上げたいと思います。どうもありがとうございました。

9. その他

【野澤委員長】 それでは、予定の議事は以上でございますが、その他何か今日の議題を含めて確認しておきたいことが皆さんからございませんでしょうか。

【高橋委員】 これは未来予想になってしまうのですが、多分今日のこの会議を見ても相当皆様熱心に議論されているのかなと。限られた回数の中でなかなか出来きれないとなると、予算の関係もあるから回数を増やすことは不可能だと思うのですが、私的に何人か集まって討論するみたいなことは想像されていますか。

【野澤委員長】 私はあまり想像していませんが、役所としてはどうでしょうか。

【事務局】 分科会的なことをイメージされたのかなと思っていますが、今のところそういう分科会的なことは考えてございません。非常に熱心にご議論していただくためにも、なるべく早めに資料を送付させていただいて、それで当日に臨んでいただくのがいいかなと思っていますので、その点に

ついては心がけてまいりたいと思っています。

【野澤委員長】 よその自治体の委員会でやっているところがあるのですが、言い切れなかったことをメモ的に書いて、後日でも当日でも事務局に渡すというやり方を取っているところもあるので、そういうのはあってもいいかもしれないですね。メールでもいいのですが、メールを使わない方もいらっしゃると思うので、ご意見シートと呼んでいる役所もありますが、そんなのは事務局で工夫していただけるとより充実してくるかなと思います。確かにこれだけの人数ですので、1人の方が一言ずつ喋っても相当時間がかかりますので、なるべく時間はきちんと守りながら委員会は運営していきたいと思っています。

事務局、工夫を考えていただければと思います。

【事務局】 委員長からご提案のありました後日のご意見の受付についても受付をしたいと思いますので、メールでもファクスでも結構ですので、何か後でご意見が思いついた場合にはお送りいただければと思います。よろしくお願いいたします。

【野澤委員長】 それでは、そういったことはよろしくお願ひしたいと思います。

ほかに事務局から何かありますか。

【事務局】 事務連絡を1点ご案内させていただきます。

次回第2回の策定委員会につきましては、令和2年5月ごろを予定しております。日程が決まり次第、開催通知をお送りいたしますので、よろしくお願いいたします。以上です。

【野澤委員長】 それでは、本日、第1回目から非常にたくさんのご意見をいただいた充実した委員会になりましたので、また次回以降、よろしくお願ひしたいと思います。今日はどうもありがとうございました。

第2回 小金井市都市計画マスタープラン策定委員会

1. 小金井市を取り巻く現況	1
2. 分野別の成果と次期都市計画マスタープランの方向性	7
3. 小金井市都市計画マスタープラン見直しに向けた論点の整理	12

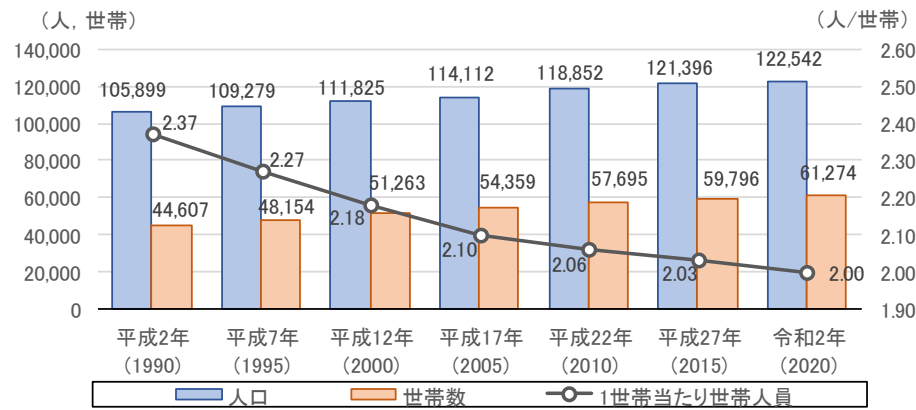
1. 小金井市を取り巻く現況

1-1. 人口

■人口・世帯・1世帯あたり人数の推移

- 人口は、令和2年は 122,542 人で、平成2年以降増加し続けている。また、世帯数も一貫して増加傾向にあり、令和2年は 61,274 世帯である。
- 1世帯あたり人員は年々減少し、令和2年は 2.00 人/世帯となっている。

＜人口・世帯・1世帯あたり人数の推移＞

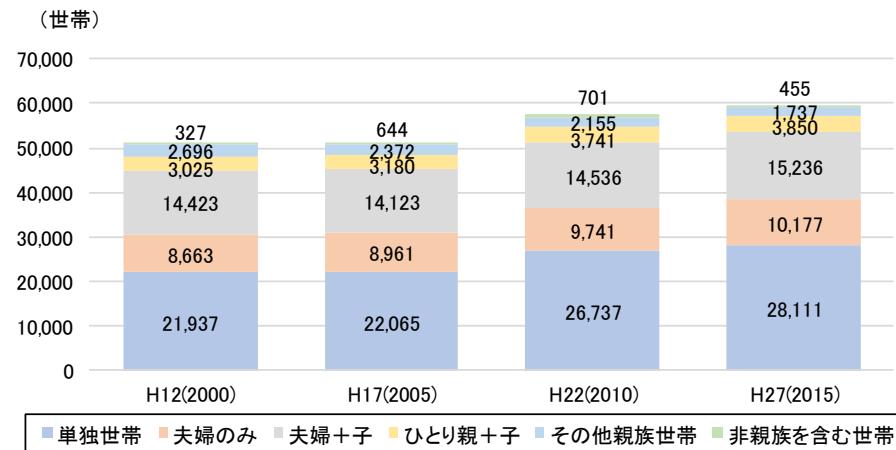


※出典：総務省統計局「各年 国勢調査結果」（平成2年～平成27年 10月1日現在）及び小金井市HP「世帯と人口（令和2年度）」（令和2年4月1日現在）

■世帯の型別世帯数の推移

- 単独世帯が大きく増加している。
- ファミリー世帯である夫婦+子世帯は、全体の世帯増加に比べて増加数が少ない。

＜世帯の型別世帯数の推移＞

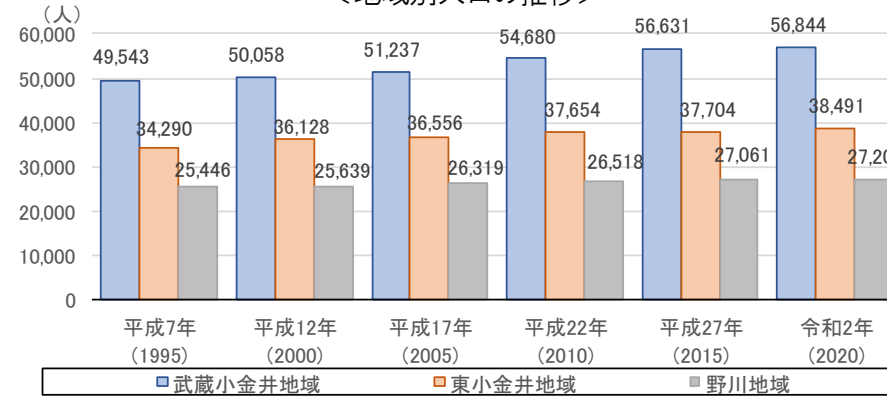


※出典：総務省統計局「各年 国勢調査結果」（平成12年～平成27年 10月1日現在）

■地域別の人口・世帯の推移

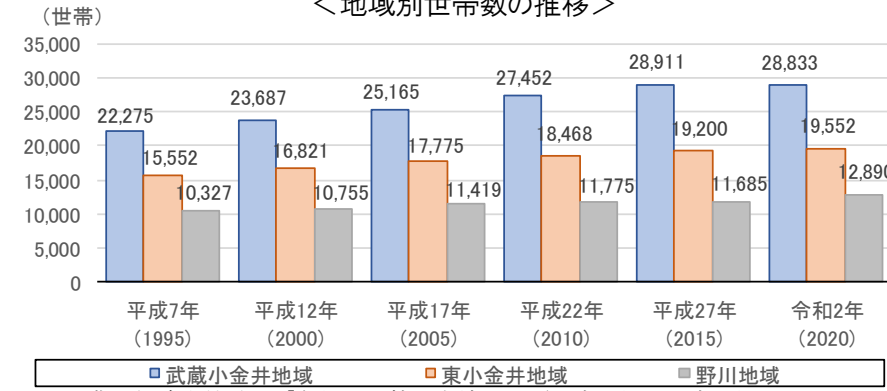
- 人口は3地域ともに増加傾向で、特に武蔵小金井地域は大きく増加している。
- 世帯数は、3地域ともに増加傾向であったが、令和2年は、武蔵小金井地域のみ微減に転じている。

＜地域別人口の推移＞



※出典：総務省統計局「各年 国勢調査結果」（平成7年～平成27年 10月1日現在）及び小金井市HP「世帯と人口（令和2年度）」（令和2年4月1日現在）

＜地域別世帯数の推移＞

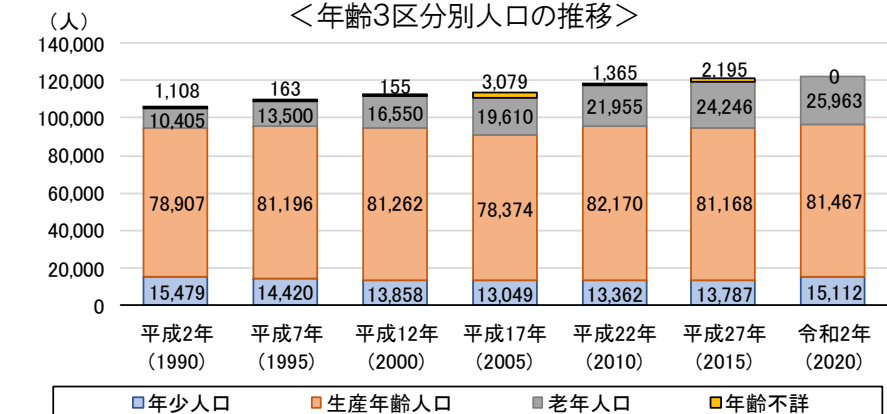


※出典：総務省統計局「各年 国勢調査結果」（平成7年～平成27年 10月1日現在）及び小金井市HP「世帯と人口（令和2年度）」（令和2年4月1日現在）

■年齢3区分別人口の推移

- 年少人口は、減少傾向にあったが、平成17年以降増加に転じている。
- 生産年齢人口は、平成2年以降、微増・微減を繰り返している。
- 老年人口は、一貫して増加傾向にある。

＜年齢3区分別人口の推移＞

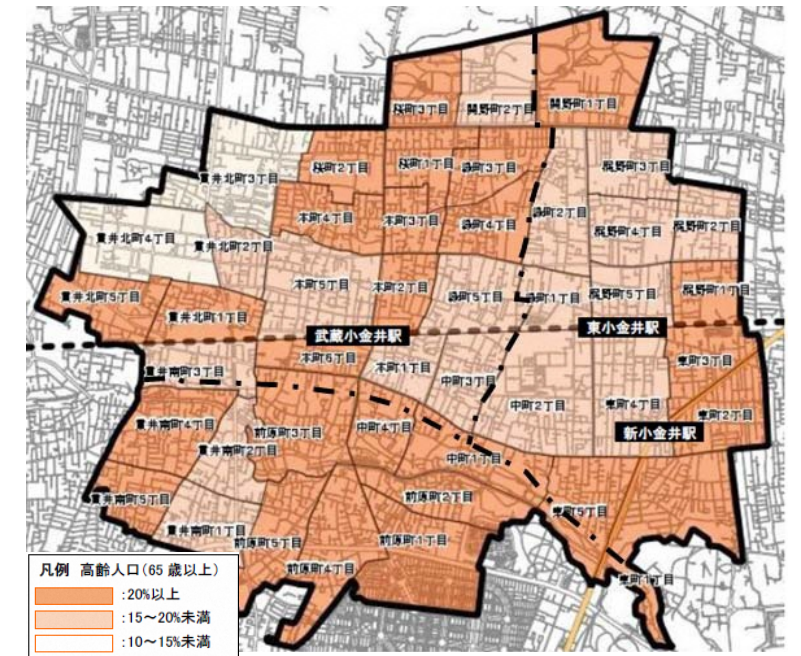


※出典：総務省統計局「各年 国勢調査結果」（平成2年～平成27年 10月1日現在）及び小金井市HP「世帯と人口（令和2年度）」（令和2年4月1日現在）

■町丁目別老年人口・年少人口比率

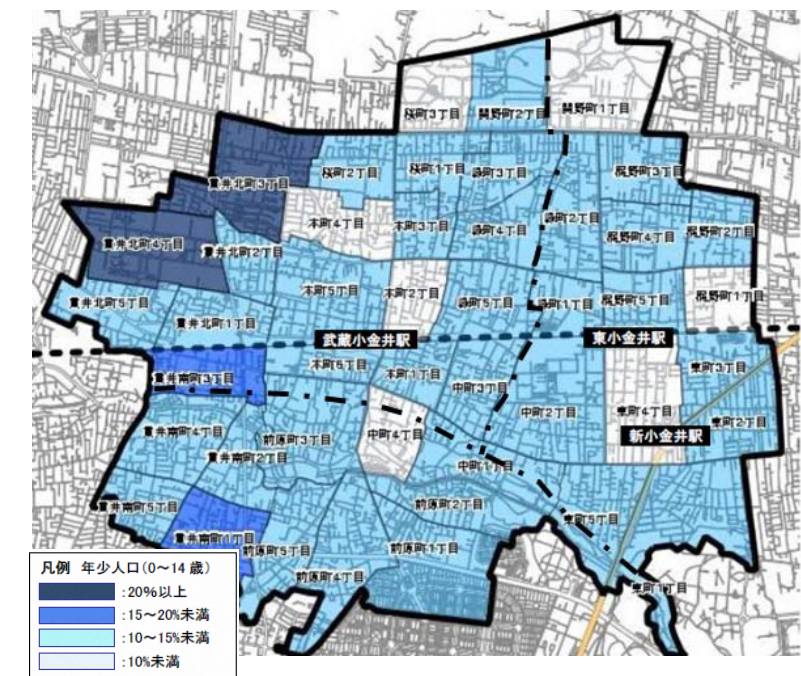
- 老年人口比率は、武蔵小金井地域の北部や野川地域で 20%以上であるが、東小金井駅周辺は、駅東側を除くほとんどが 20%未満である。
- 年少人口比率は、武蔵小金井地域の北西部で 20%以上の町丁目があるが、東小金井地域や野川地域は概ね 10~15%未満となっている。

＜町丁目別老年人口比率(平成30年1月1日現在)＞



※出典：こがねいデータブック 2018

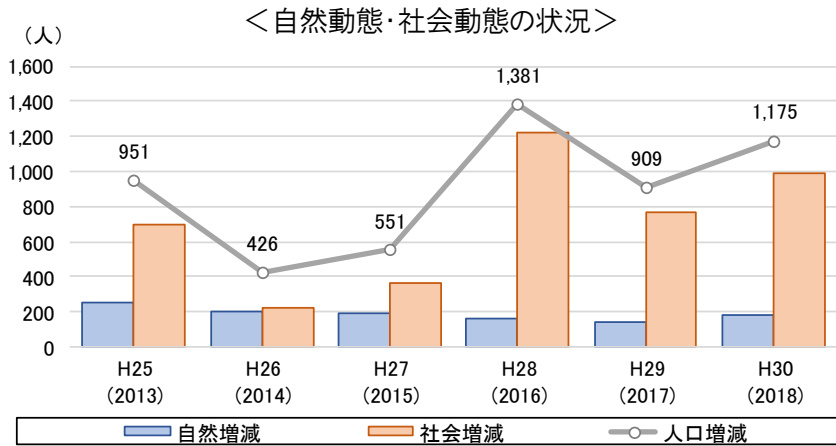
＜町丁目別年少人口比率(平成30年1月1日現在)＞



※出典：こがねいデータブック 2018

■自然動態・社会動態の状況

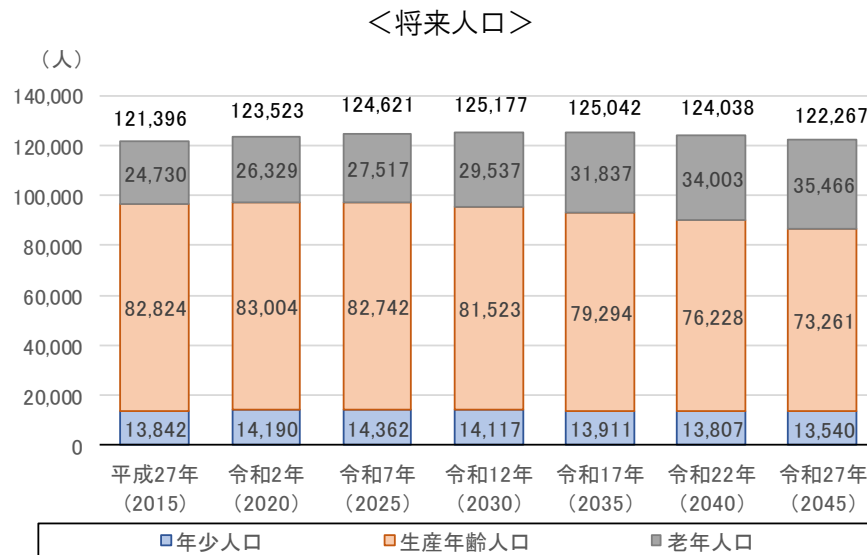
- 自然動態は、年間 140 人～250 人前後の自然増で推移している。
- 社会動態は、平成 28 年に約 1,200 人、平成30年に約 1,000 人の転入超過となっている。



※出典：総務省統計局「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

■将来人口推計

- 2030 年をピークとして減少に転じ、2045 年は 122,267 人と推計されている。
- 年少人口は、2025 年をピークとして減少に転じると予測されている。
- 生産年齢人口は、2020 年をピークとして減少に転じ、2045 年には 2020 年比で約 1 万人減少すると予測されている。
- 老年人口は、2015 年から 2045 年にかけて約 1 万人増加するものと予測されている。

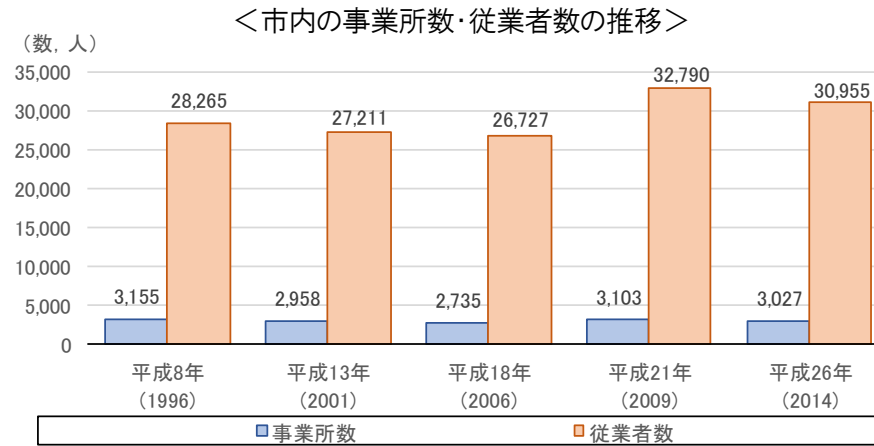


※出典：国立社会保障・人口問題研究所（平成 27 年は国勢調査による実績値）

1-2. 産業

■市内の事業所数・従業者数の推移

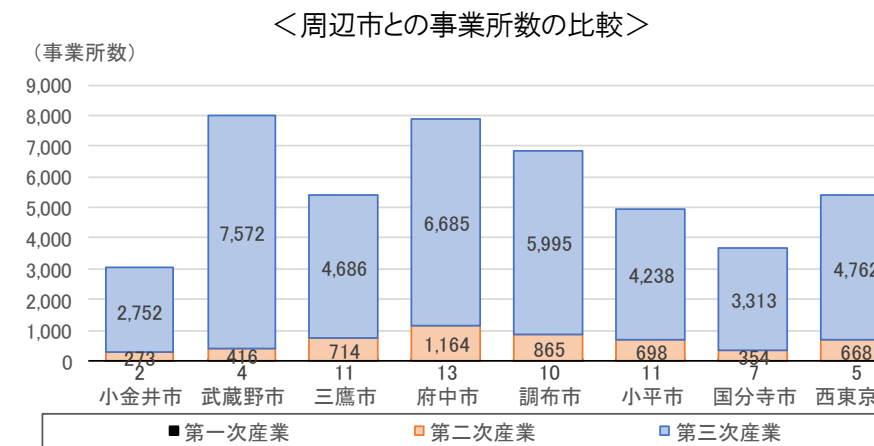
- 事業所数は、平成 18 年まで減少した後、平成 21 年で増加に転じたが、その後減少し、平成 26 年は 3,027 事業所となっている。
- 従業者数も事業所数と同様の傾向にあり、平成 26 年は 30,955 人である。



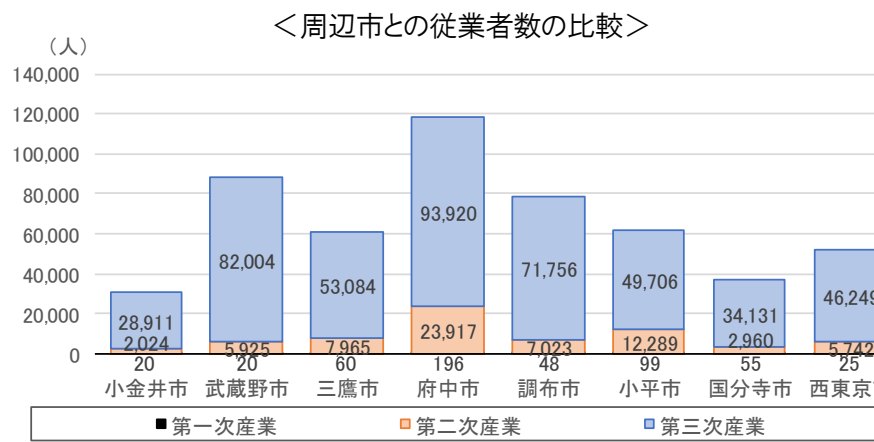
※出典：総務省統計局「事業所統計調査」（平成 8 年、13 年、18 年）
経済産業省「経済センサス（基礎調査）」（平成 21 年、26 年）

■周辺市との事業所数・従業者数の比較

- 周辺市と比較すると、事業所数・従業者数ともに少ない。



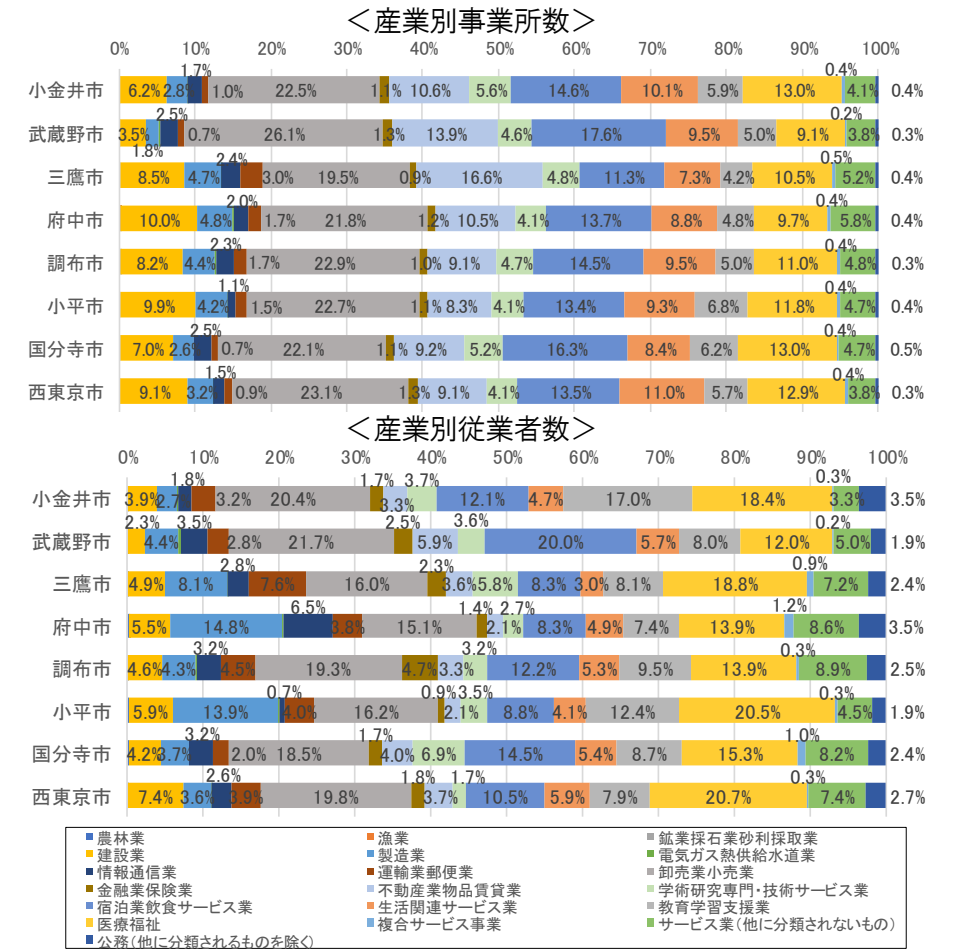
※出典：経済産業省「平成 26 年経済センサス（基礎調査）」



※出典：経済産業省「平成 26 年経済センサス（基礎調査）」

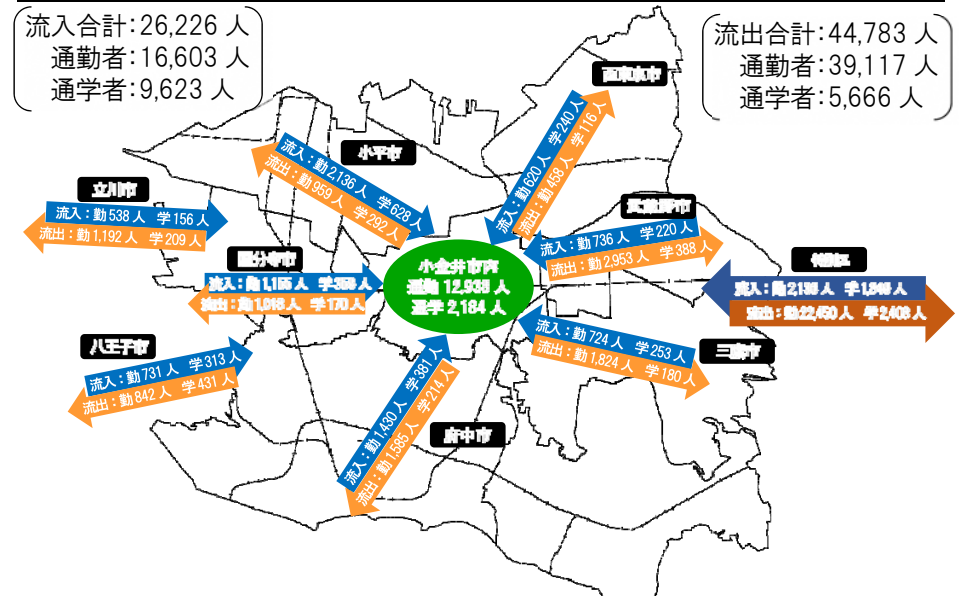
■産業別事業所数・従業者数の比較

- 小金井市は、「卸売業小売業」の事業所数・従業者数が最も多く、武蔵野市、府中市、調布市、国分寺市も同様の傾向にある。



■通勤・通学流動の状況

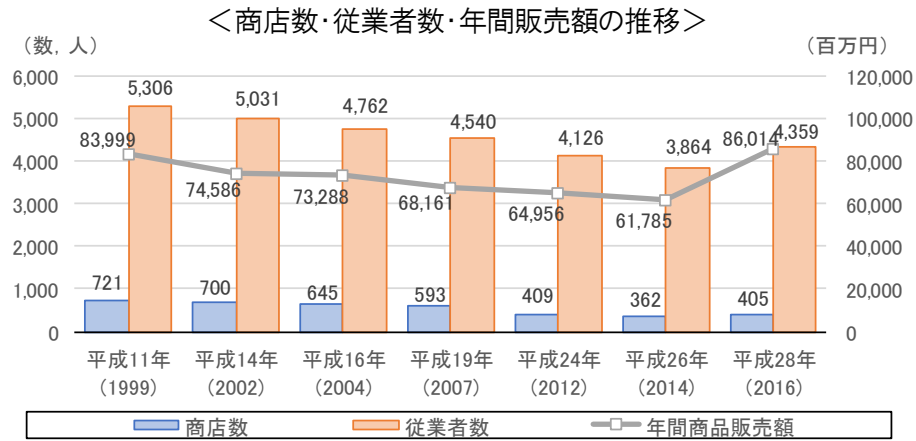
- 通勤は、流出が 39,117 人、流入が 16,603 人で 22,514 人の流出超過である一方、通学は、流出が 5,666 人、流入が 9,623 人で 3,957 人の流入超過となっている。



1-3. 商業

■商店数・従業者数・年間販売額の推移

- 商店数、従業者数、年間販売額ともに、平成 11 年以降、減少傾向にあったが、平成 26 年を境として増加に転じている。

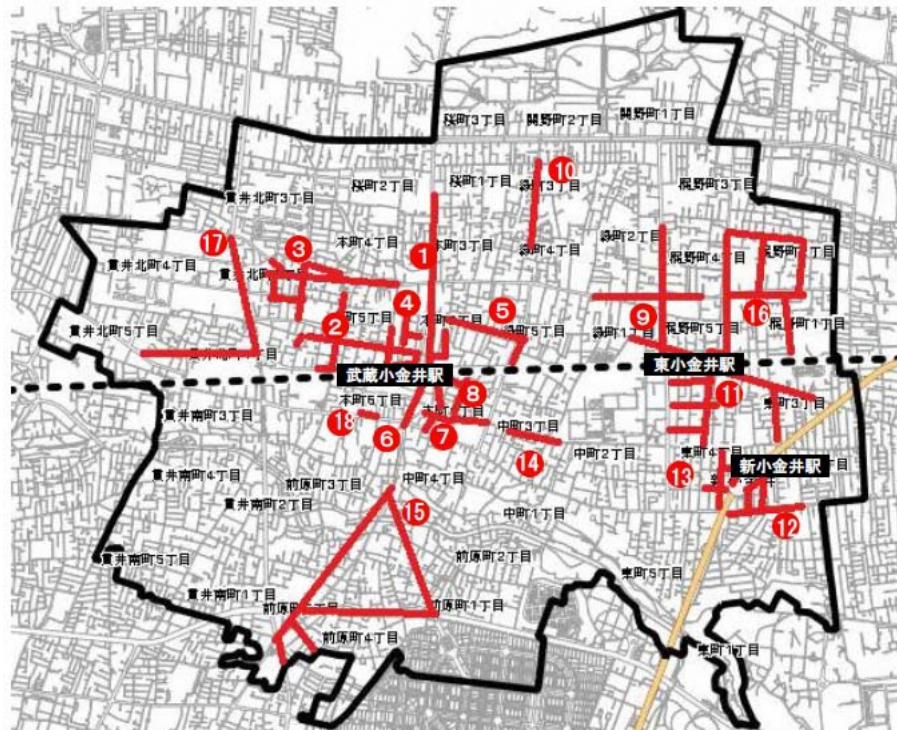


※出典：総務省統計局「事業所統計調査」(平成 8 年、13 年、18 年)
 経済産業省「経済センサス(基礎調査)」(平成 21 年、26 年)
 経済産業省「経済センサス(活動調査)」(平成 24 年、28 年)

■商店会の状況

- 市内各駅を中心として 18 の商店会があるが、商店数は減少傾向にある。

＜商店会の状況＞



※出典：こがねデータブック 2018

(件)	平成 25 年 8 月	平成 30 年 8 月	増減数
商店数合計	859	780	-79

※出典：こがねデータブック 2018

■スーパー・コンビニ等商業施設の立地状況

- 店舗面積 1,000 m²以上のスーパー等の大規模小売店舗は、令和2年7月現在で9店舗立地している。
- コンビニエンスストアは、令和2年7月現在で 47 店舗立地している。

＜商業施設の状況＞



※出典：小金井市商業・商店街振興基礎調査報告書 (1,000 m²以上の大規模小売店舗)
 : i タウンページ (1,000 m²未満の商業施設) 及びコンビニ各社HP

1-4. 都市計画

■都市計画決定の状況

- 本市は全域が市街化区域である。
- 駅周辺や幹線道路沿いに商業地域や近隣商業地域が指定されているが、市域全体の約4%であり、市域の多くは住居系の用途地域が指定されている。このうち、第一種低層住居専用地域は市域全体の約 65%で最も多く指定されている。

＜都市計画決定の状況＞

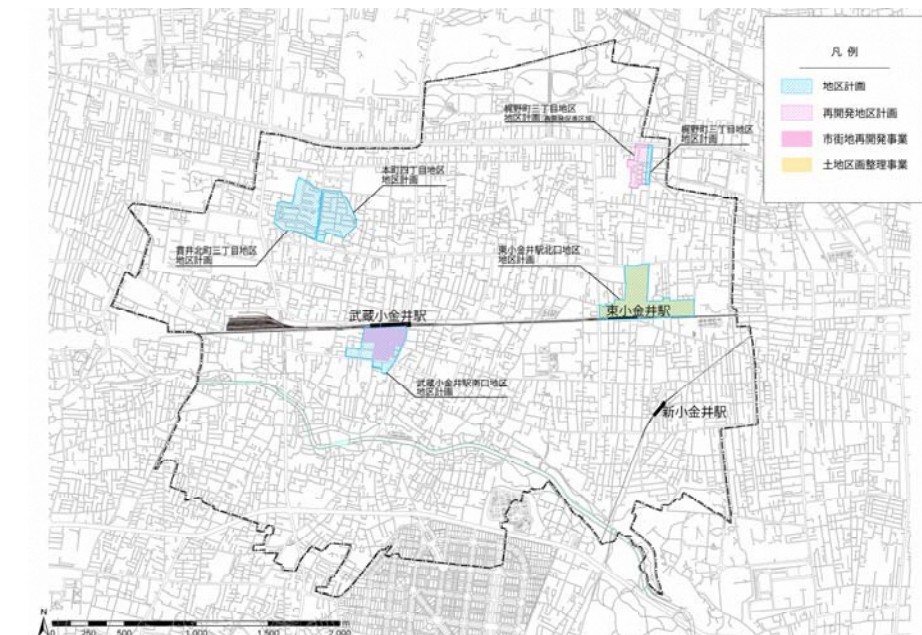


※出典：東京都都市計画地理情報システム (平成 29 年 10 月版)

■地区計画、市街地再開発事業・土地区画整理事業

- 地区計画は 6 地区指定されている。
- 武蔵小金井駅南口地区市街地再開発事業、東小金井駅北口土地区画整理事業が進められている。

＜地区計画、市街地再開発事業・土地区画整理事業＞



※出典：東京都都市計画地理情報システム (平成 29 年 10 月版) 及び小金井市ホームページ

■都市計画公園

- 小金井公園や武蔵野公園をはじめとする都市計画公園が市内に広く点在している。

＜都市計画公園＞

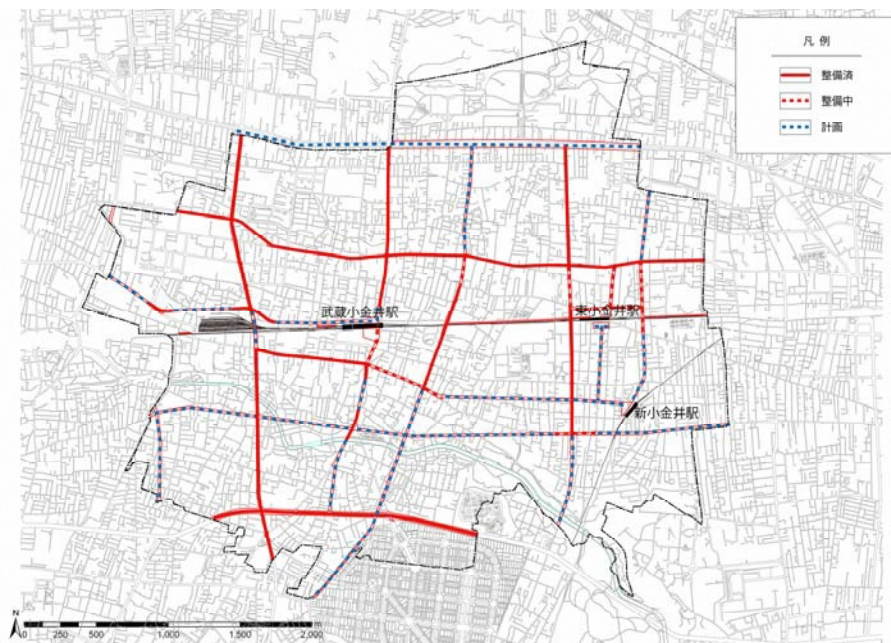


※出典：東京都都市計画地理情報システム（平成29年10月版）

■都市計画道路

- 都市計画道路の整備状況は令和元年度末時点で47.7%となっている。

＜都市計画道路＞



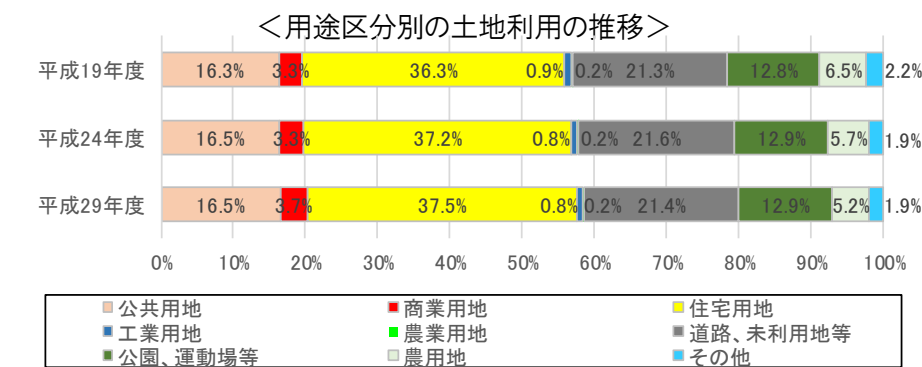
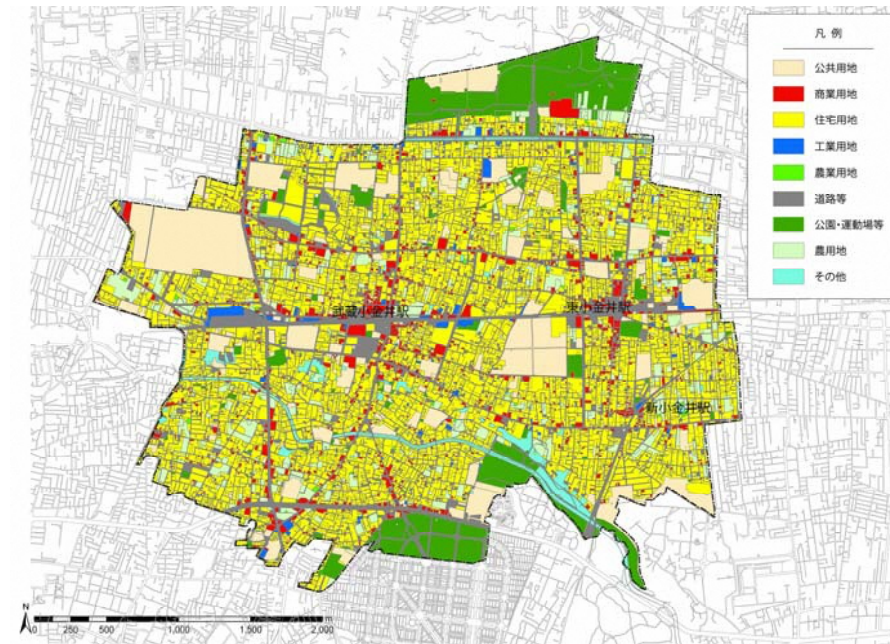
※出典：小金井市

1-5. 土地利用

■土地利用現況

- 駅周辺や幹線道路沿いに商業用地、市域全体に公共用地や公園・運動場等が広く分布し、その周辺のほとんどが住宅用地となっている。
- 用途区別の土地利用は経年比較すると大きな変化はないものの、平成29年は平成19年比で、商業用地、住宅用地、公園・運動場等の割合が微増している。

＜土地利用現況＞

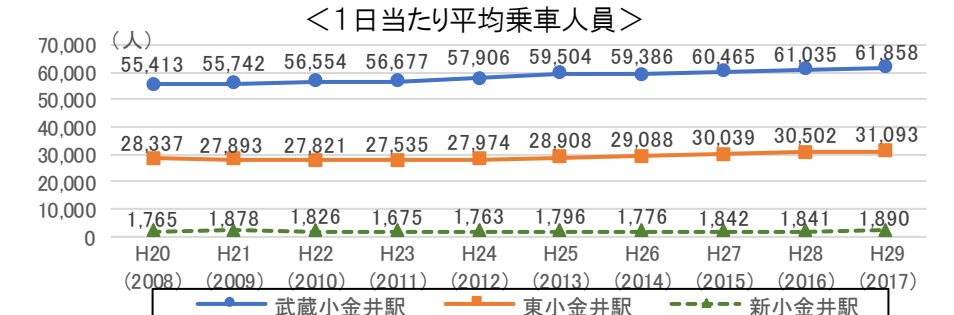


※出典：土地利用現況調査（平成19年、24年、29年）

1-6. 道路・交通

■鉄道利用状況

- 武蔵小金井駅の1日あたり平均乗車人員は、一貫して増加傾向にある。
- 東小金井駅や新小金井駅では、平成23年以降増加傾向にある。

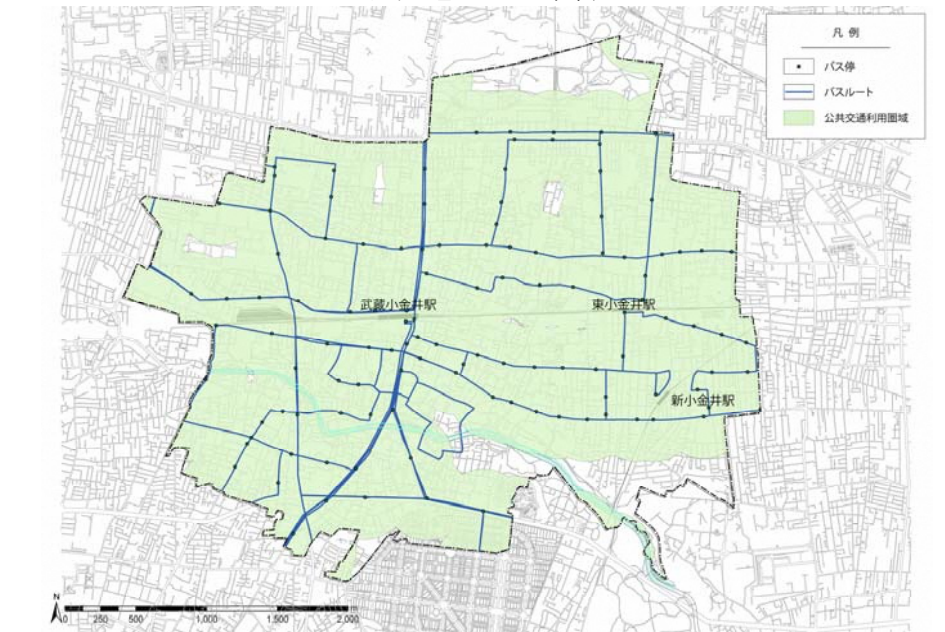


※出典：こがねいデータブック2018

■公共交通サービス圏域

- 市内のバス路線網は広く分布し、市域の多くをカバーしているが、野川地域や東小金井地域の一部（市内南東部）等でカバーできていないエリアが存在する。

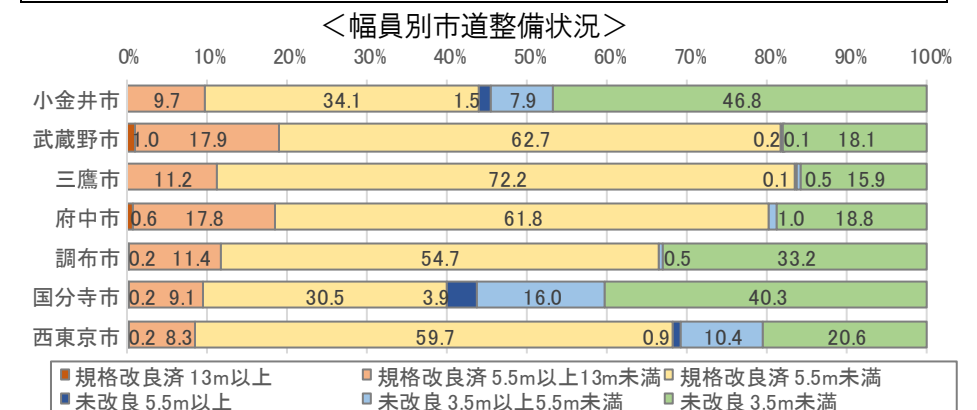
＜公共交通サービス圏域＞



※出典：国土交通省「国土数値情報」

■幅員別市道整備状況

- 平成31年4月1日現在の市道の整備状況は、小金井市は未改良でかつ3.5m未満の道路の割合が、周辺市と比べて最も高くなっている。



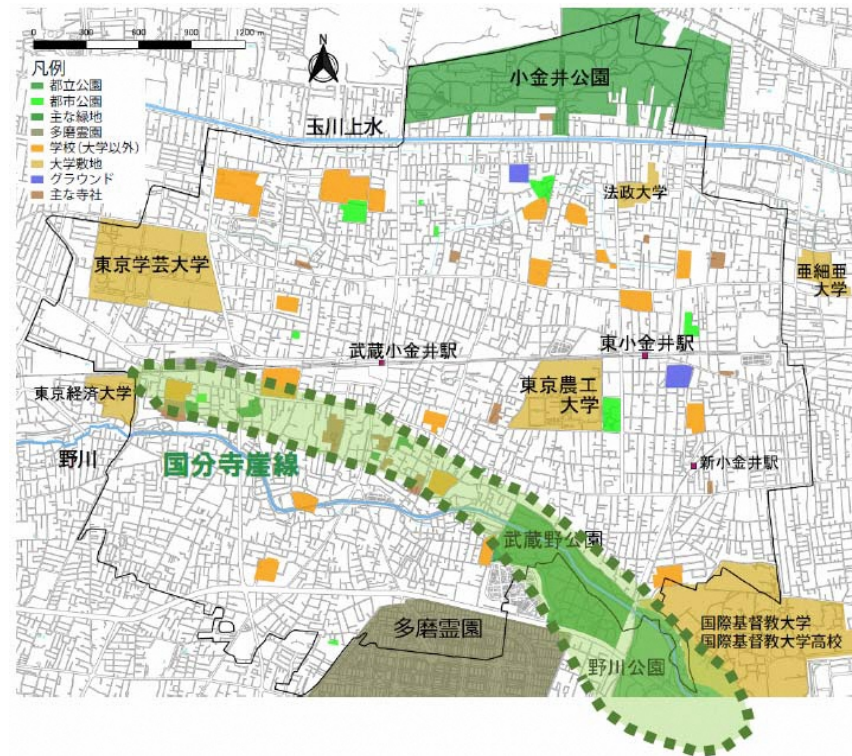
※出典：東京都道路現況調査（令和元年度）

1-7. 水・みどり・環境共生

■市内の主要なみどりの分布

- 市内北端に小金井公園、南端には国分寺崖線と武蔵野公園や野川公園、多磨霊園があり、その間に大学や小中学校等のみどり、公園等が広がっている。

＜市内の主要なみどりの分布＞

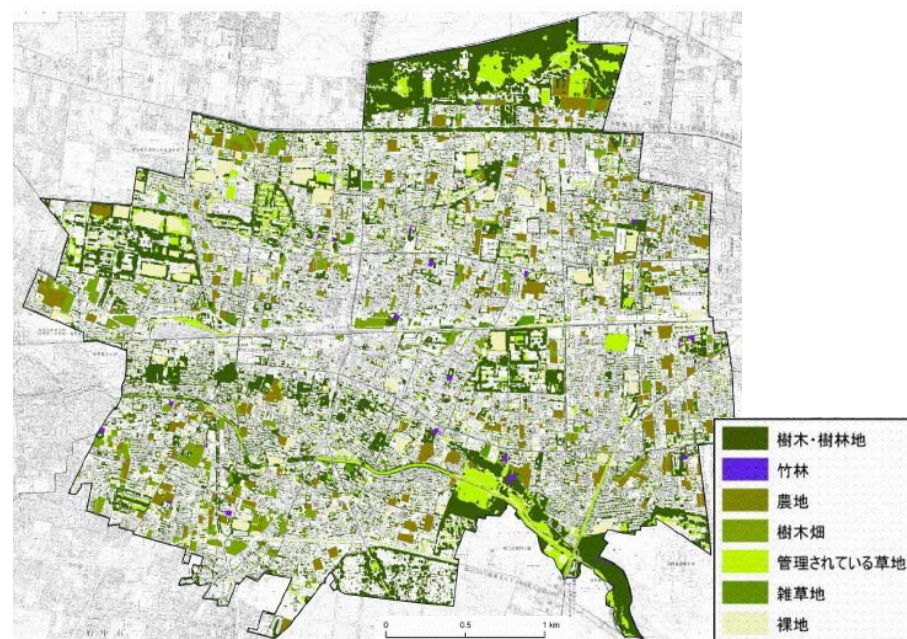


※出典：小金井市公園等整備基本方針（平成31年3月）

■緑被分布状況

- 小金井公園や国分寺崖線、武蔵野公園、野川公園等をはじめとして、市域全体にみどりが広く分布している。

＜緑被分布＞

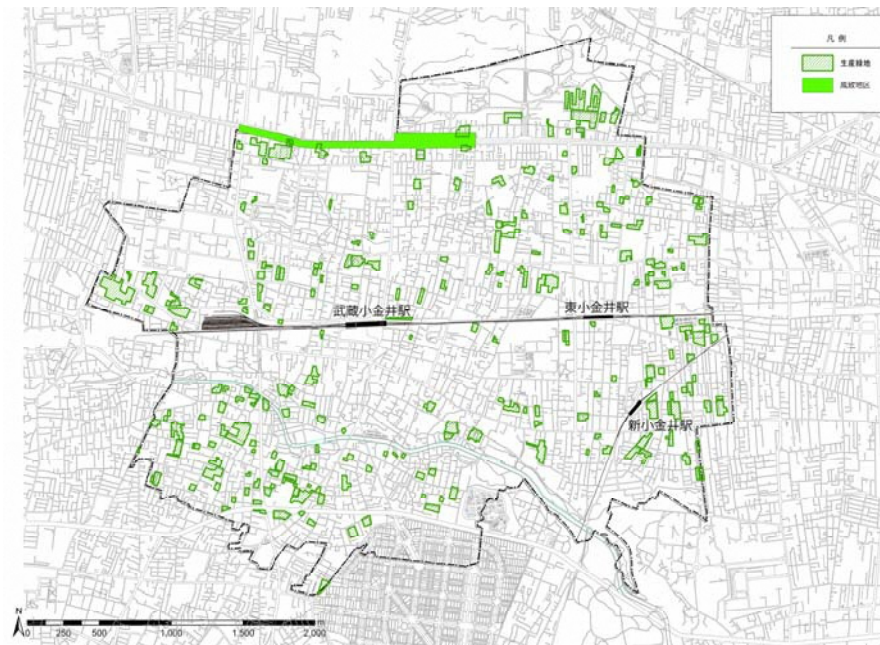


※出典：小金井市緑の基本計画（平成23年3月）

■生産緑地地区・風致地区

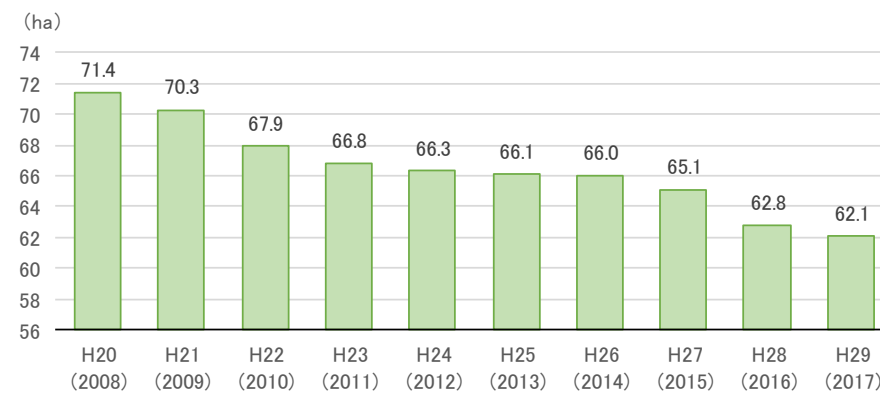
- 生産緑地は市内に広く指定されており、風致地区は玉川上水沿いの一部に指定されている。
- 生産緑地の指定面積は年々減少しており、平成20年から平成29年にかけて、約9.3ha減少している。

＜生産緑地・風致地区指定状況＞



※出典：東京都都市計画地理情報システム（平成29年10月版）

＜生産緑地面積の推移＞



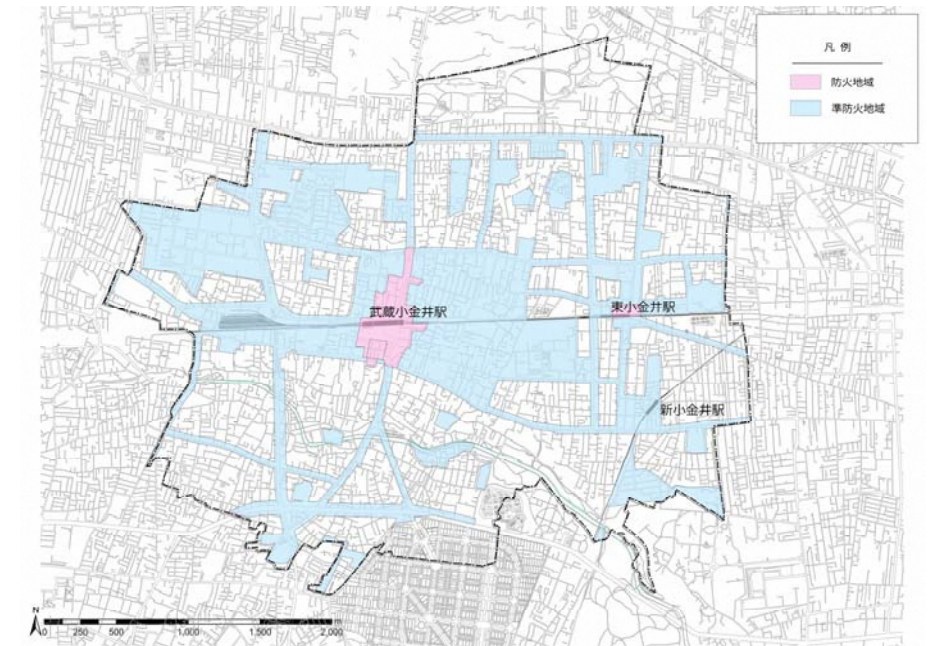
※出典：こがねいデータブック 2018

1-8. 安全・安心

■防火地域・準防火地域

- 武蔵小金井駅や東小金井駅を中心に防火地域が指定され、その周辺や幹線道路沿いを主に準防火地域が指定されている。

＜防火地域・準防火地域指定状況＞

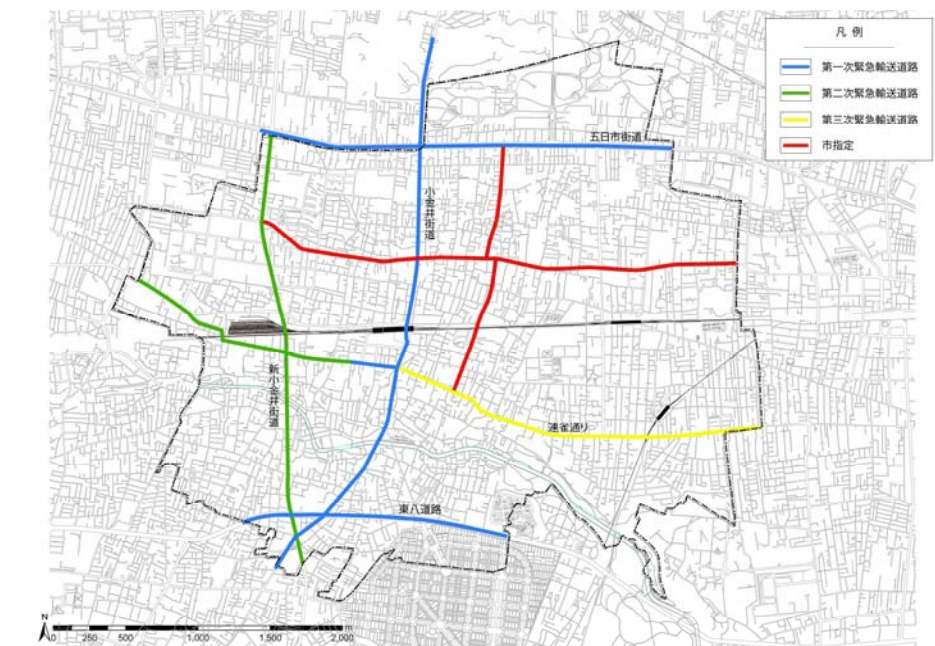


※出典：東京都都市計画地理情報システム（平成29年10月版）

■緊急輸送道路

- 地震発生時に閉塞を防ぐべき道路として、市内幹線道路の一部が緊急輸送道路に指定されている。

＜緊急輸送道路＞

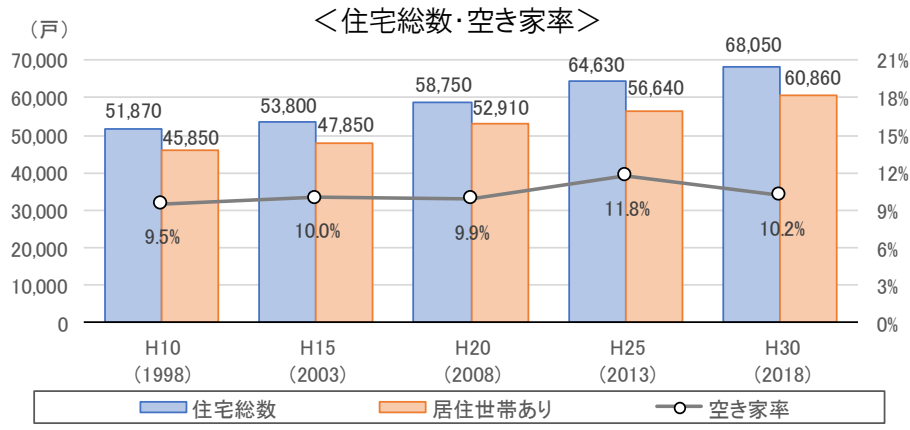


※出典：小金井市地域防災計画（平成27年2月）

1-9. 住環境

■住宅総数・空き家率の推移

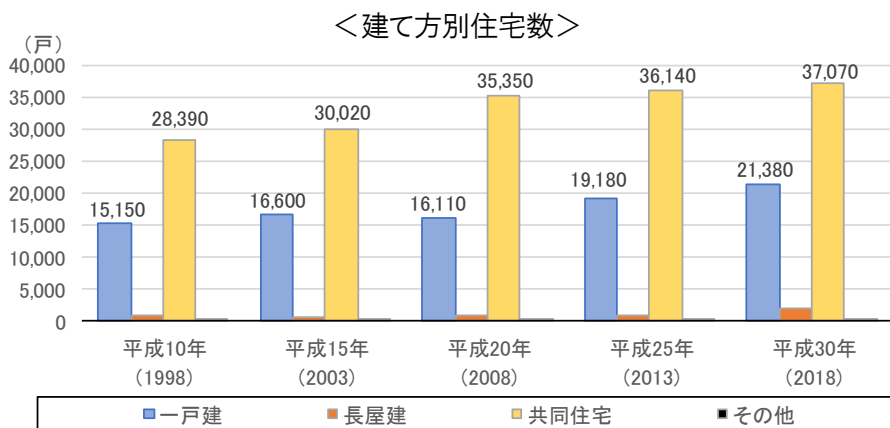
- 住宅総数は増加傾向にあり、平成20年から平成30年にかけて約1万戸増加している。
- 空き家率は平成10年以降増減を繰り返し、平成30年で10.2%となっている。



※出典：総務省統計局「住宅・土地統計調査」(平成10年、15年、20年、25年、30年)

■建て方別住宅数の推移

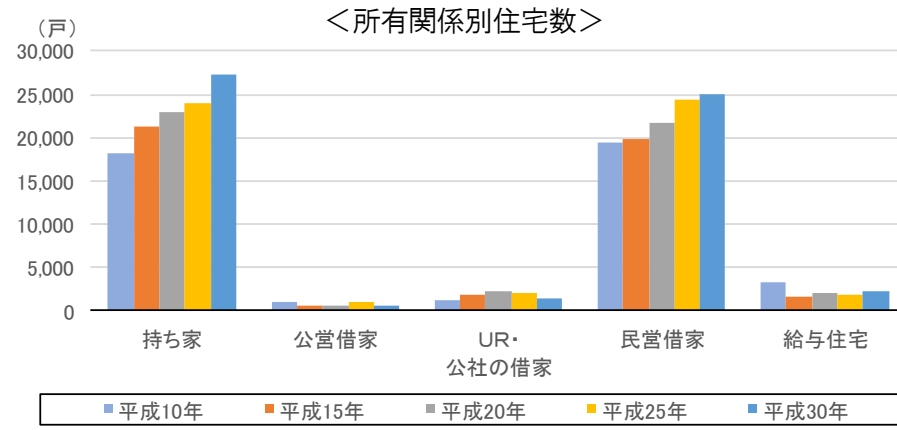
- 一戸建は平成20年以降急激に増加し、平成30年は21,380戸となっている。
- 共同住宅は増加し続けており、平成30年は37,070戸となっている。



※出典：総務省統計局「住宅・土地統計調査」(平成10年、15年、20年、25年、30年)

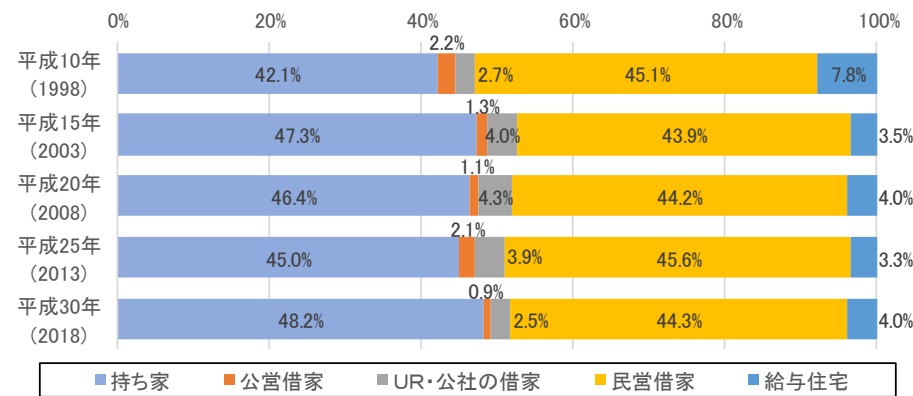
■所有関係別住宅数

- 持ち家と民間借家のいずれも、増加し続けているが、特に持ち家が近年大きく増加し、平成30年は、民間借家より持ち家の方が多くなっている。
- 周辺市と比較すると、民間借家の割合が武蔵野市に次いで高くなっている。



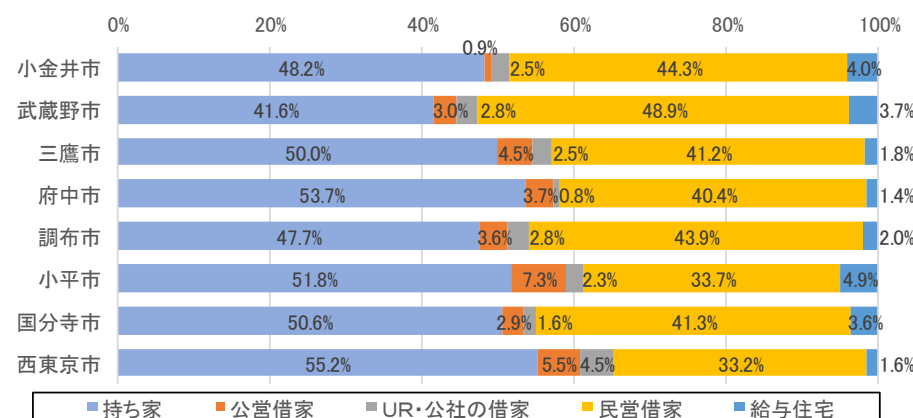
※出典：総務省統計局「住宅・土地統計調査」(平成10年、15年、20年、25年、30年)

<所有関係別住宅数の割合>



※出典：総務省統計局「住宅・土地統計調査」(平成10年、15年、20年、25年、30年)

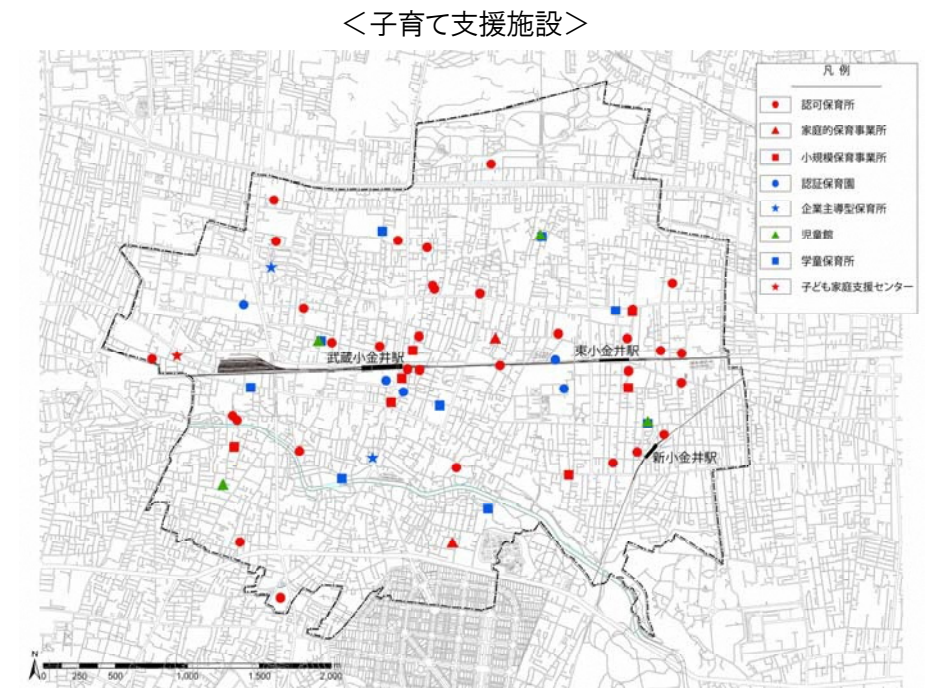
<所有関係別住宅数の周辺市比較>



※出典：総務省統計局「住宅・土地統計調査」(平成30年)

■子育て支援施設分布状況

- 認可保育所や児童館、学童保育所が広く分布している。



※出典：小金井市ホームページ「小金井市保育施設等一覧・小金井市認可外保育施設一覧」(令和2年4月1日現在)

■高齢者関連施設

- 集会所や地域包括支援センター等、高齢者の利用が多い施設が市内に広く分布している。



※出典：こがねいデータブック 2018

2. 分野別の成果と次期都市計画マスタープランの方向性

2-1. 土地利用

■現行都市計画マスタープランの概要

- コンパクトで効率的な市街地をめざして、新たな都市機能の集積や人口定着、更に交流人口の増加を図るため、武蔵小金井、東小金井駅両駅周辺の拠点地区、JR中央線沿線のにぎわいと交流を誘導するゾーン及び小金井街道、北大通り、連雀通りの都市活動軸では都市機能の更新と土地の高度利用等の有効利用を推進する。
- 小金井公園、武蔵野公園、野川公園等の大規模公園、国分寺崖線(はけ)や野川等の豊かな水とみどりの自然環境を、小金井市固有のみどり資源として保全するとともに、生物の回廊としてのネットワーク化を図り、市民や来街者にとって身近な自然に楽しむ場やレクリエーションの場として活用を図る。
- 農地の都市環境保全に果たす役割や、農業とともに培ってきた地域の持つ文化継承機能等に着目し、農地の保全や農業の都市活力への活用等、農と都市が交流する「農を活かしたまちづくり」を推進する。

■主な成果

- 武蔵小金井駅南口市街地再開発事業の推進、東小金井駅北口土地区画整理事業を推進した。
- 武蔵小金井駅周辺では、用途地域の変更、地区計画の決定、高度利用地区の決定等の都市機能の更新と土地の高度利用を、東小金井駅周辺では、用途地域の変更、地区計画の決定等の都市機能の更新を図った。
- 小金井街道、北大通り、連雀通りは、沿道を第一種・第二種中高層住居専用地域、第一種住居地域、近隣商業地域、商業地域に指定し、土地利用の誘導を図った。
- 年間を通じた都立公園や滄浪泉園、野川の自然環境を適切に維持管理した。
- 市民農園を設置した。
- 生産緑地法に基づき市街化区域内の農地を保全するとともに、生産緑地法の改定に伴い、生産緑地の指定面積の緩和等を図った。

■主な課題

- 武蔵小金井駅及び東小金井駅では拠点性を高め、JR中央線沿線や幹線道路沿道では多様な暮らし方・働き方を支える取組が必要である。
- 東小金井駅北口において、都市基盤の整備を推進するとともに、住宅地・商業地等の計画的な発展を推進する必要がある。
- 新庁舎建設予定地において、小金井市の総合的サービスの提供基盤を築く必要がある。
- 農地の保全や農業の都市活力への活用のため、更なる市民農園の設置等を推進する必要がある。

■市民アンケート結果

【満足度】

- 「駅前(武蔵小金井駅・東小金井駅)において、商業施設やマンション建設などが進み、計画的なまちづくりが進んだ」、「駐輪場、レンタサイクル、店舗、保育施設など、JR中央線高架下の利活用が進んだ」は、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」の合計が、それぞれ 78.3%、74.3%となっている。
- 「地域のコミュニティや交流の場が整備された」、「大学や研究機関の立地を活かした企業、学校、市民、市の連携による拠点が整備された」、「商店街活性化のイベント開催など、まちの情報を提供する機会が充実した」は、「どちらともいえない」の割合が、最も多くなっている。

【重要度】

- 「行政サービスや福祉サービスなどの施設が充実した地域の拠点の形成」が 55.9%で最も多く、次いで「幹線道路沿いなどにおける利便性の高い市街地やにぎわいの形成」が 26.0%、「農地を活かしたまちづくりの推進」が 22.8%となっている。
- 自由意見は、「高層マンション・商業施設の抑制」、「武蔵小金井駅北口の再開発」、「東小金井駅の土地活用を武蔵小金井駅と同程度に」の順が多かった。

【20年後の小金井市のまちづくり】

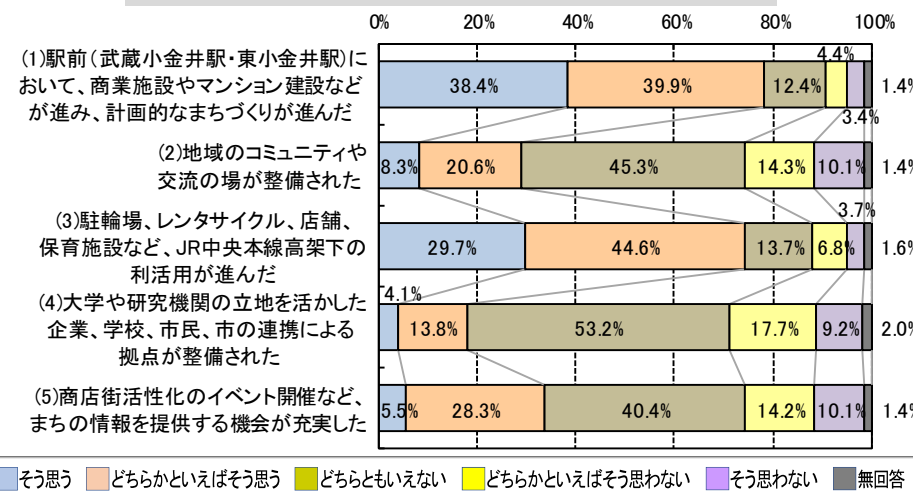
▶豊かな水や緑が保全され、安全で快適に利用できる自然豊かなまち

- 豊かな自然が小金井市の魅力(特徴)であるため
- 小金井らしいの自然環境(国分寺崖線、野川、武蔵野公園等)の保全・維持が必要
- 自然を有効活用(防災・教育等)できると良い

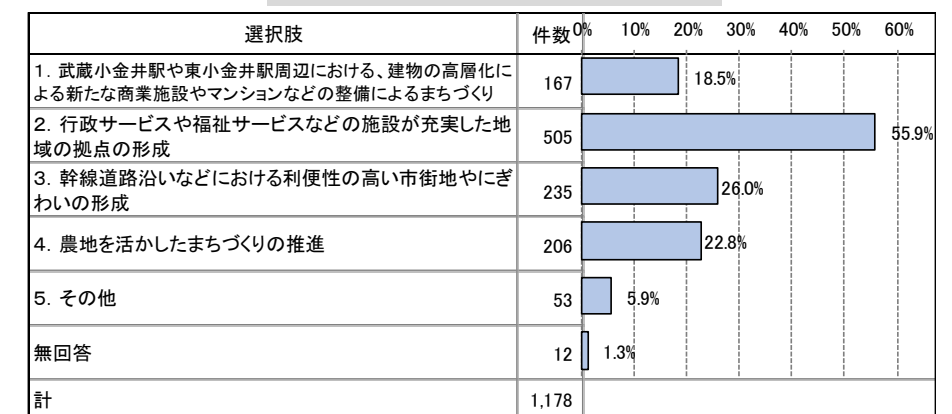
▶公園、レジャー施設、商業施設が充実したまち

- 商業施設・レジャー施設(映画館等)の充実による賑わいの創出(来訪者・移住者の増加等)が必要
- JR 駅周辺の活性化に期待

<満足度(都市計画マスタープランの取組の評価)>



<重要度(まちづくりの重要項目)>



※集計母数は回答者903名

2-2. 道路・交通

■現行都市計画マスタープランの概要

- 将来的な交通需要への対応と新たな都市のあり方に対応した都市交通の再構築をめざし、総合交通体系の構築を進めるとともに、路線バスの運行に配慮しながら、コミュニティバス(CoCo バス)の充実を図るための運行ルートを検証を進める。
- 新小金井街道や五日市街道の広域幹線道路の整備により、広域都市間や各拠点の連絡強化を進めるとともに、緑中央通りや都市計画道路3・4・8号線、東大通り等の南北幹線道路の整備により、市街地内の連絡強化を進める。
- 安全で安心できる生活空間を形成するための身近な生活道路の整備、高齢社会や福祉社会に対応できる交通施設のバリアフリー化、ハード(主要道路整備等)・ソフト(CoCo バス運行ルート検証等)の両面から中心市街地の交通環境改善、交通手段の転換に向けた歩行者空間確保や自転車の利用環境整備等を進める。
- JR 中央線武蔵小金井駅や東小金井駅の交通結節点における駅前交通広場や駐輪場等の整備、コミュニティバスのネットワーク充実等による公共交通機関の利用を促進する。

■主な成果

- 既存バス路線の現状及び課題等を踏まえた CoCo バス再編事業に着手し、基本方針を策定の上、総合的な見直しを進めている。
- 都市計画道路は、令和元年度末時点で整備率47.7%である。
- 自転車専用通行帯や自転車ナビマーク、ナビラインを、主要幹線道路において段階的に整備した。
- 自転車駐車場整備及び放置自転車対策を実施した。
- CoCo バス・ミニの朝のバス便数を増便した。
- CoCo バス全路線共通回数券を導入するとともに CoCo バス間の乗り継ぎを考慮したダイヤ改正を行った。
- 武蔵小金井駅南口市街地再開発事業による駅前交通広場の整備や、東小金井駅北口土地区画整理事業による駅前交通広場の整備を行った。

■主な課題

- 高齢社会に対応した公共交通等の検討が必要である。
- 広域幹線道路や幹線道路の整備を推進し、道路ネットワークを形成する必要がある。
- 幹線道路に囲まれる生活道路は、地区の生活交通として必要不可欠なものであり、狭隘道路の拡幅等、防災上の観点からも引き続き整備を推進していく必要がある。
- 歩行者・自転車に配慮した道路の整備が必要である。
- 交通施設のバリアフリー化を継続して推進する必要がある。
- 誰もが円滑な移動を可能とする公共交通機関の利用環境の向上を図る必要がある。

■市民アンケート結果

【満足度】

- 「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」の合計で見ると、「JR中央本線の高架化に伴い、線路沿いの道路やJRを横断する南北方向の道路が整備された」が 82.5%と最も高く、次いで「駅前(武蔵小金井駅・東小金井駅)広場の整備が進み、にぎわいや交流が生まれた」が 57.9%、「幹線道路において、歩道や自転車走行空間が整備された」が 53.7%となっている。
- 全項目において、「そう思わない」、「どちらかといえばそう思わない」の合計は2割未満となっている。

【重要度】

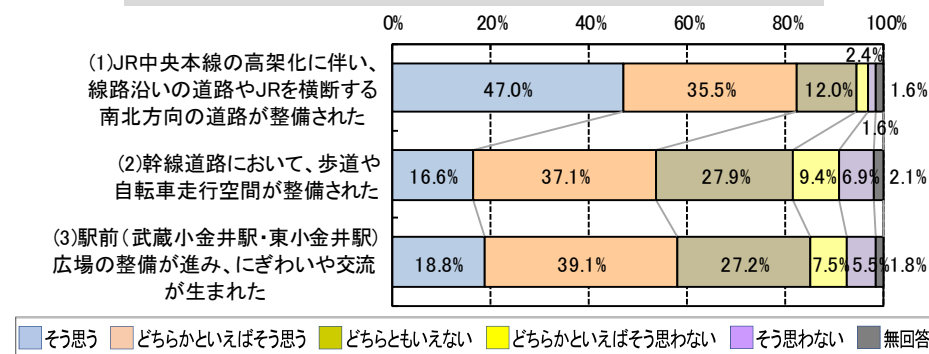
- 「誰もが安全に移動できるバスなどの交通ネットワークの再構築」が 40.8%で最も多く、次いで「自転車道(自転車通行帯)や駅前自転車駐車場の整備」が 38.6%、「高齢化社会など、福祉に対応した道路や駅などのバリアフリー化の推進」が 37.0%となっている。
- 自由意見は、「狭い、荒れた生活道路の整備・改善」、「公共交通の充実(バス路線の拡充・増便)」、「自転車関連施策(自転車ネットワークの整備、自転車利用マナーの徹底)」の順で多かった。

【20年後の小金井市のまちづくり】

➤鉄道やバス等の公共交通や幹線道路等が整備された誰もが移動しやすいまち

- 公共交通の充実が必要(バス便数の増加・拡充、JR中央線運転見合わせ時等での代替交通手段の整備等)
- 安全で使いやすい公共交通・移動手段の充実が必要
- 交通利便性は重要

<満足度(現行都市計画マスタープランの取組の評価)>



<重要度(まちづくりの重要項目)>

選択肢	件数	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%
1. 誰もが安全に移動できるバスなどの交通ネットワークの再構築	368					40.8%		
2. 道路ネットワークを構築し、災害時にも役立つ幹線道路の整備	214			23.7%				
3. 高齢化社会など、福祉に対応した道路や駅などのバリアフリー化の推進	334					37.0%		
4. 自転車道(自転車通行帯)や駅前自転車駐車場の整備	349					38.6%		
5. その他	34		3.8%					
無回答	11	1.2%						
計	1,310							

※集計母数は回答者903名

2-3. 水・みどり・環境共生

■現行都市計画マスタープランの概要

- 国分寺崖線(はけ)のみどり・玉川上水の名勝小金井(サクラ)並木等地区のシンボルとなる巨木や並木等、小金井らしい美しさと風格を備えた風景の保全と形成するとともに、建築物の形態や外壁の色彩の制限や道路整備に併せた無電柱化や街路樹の植栽等により、市街地景観の質の向上を図り、次世代にほこれる景観づくりを推進する。
- 道路整備における透水性舗装の実施や、雨水浸透ます設置の補助による水の循環性づくり確保、農地や屋敷林の保全と宅地内緑化の支援等によるみどりの回復、小金井公園、野川公園、武蔵野公園等の大規模公園・緑地や玉川上水、野川等の緑地資源のネットワーク化、国分寺崖線(はけ)の保全や野川周辺の生態系再生等による多様な生態系の確保、野川・仙川等における親水空間の整備等により、水とみどりと生き物の創造を進める。
- 自然環境への負荷を軽減する循環型都市環境への誘導、地球温暖化を抑制するための低炭素社会の構築の推進、幹線道路整備による円滑な自動車交通処理及び交通手段の転換による大気汚染の防止、公園・緑地の保全や街路樹の積極的な整備等による輻射熱の軽減・抑制、環境負荷軽減に効果のある環境共生建築物の誘導等により、環境負荷の少ないまちづくりを目指す。

■主な成果

- 国分寺崖線の保全を図るため、民有地の公有化を行うとともに、年間を通して適切な維持管理を実施した。
- ヤマザクラの保全やPR活動を実施した。
- 市民農園を設置するとともに、都市農地保全支援プロジェクトを活用し、農地整備への支援や防災兼用農業用井戸を設置した。
- 市街地の景観を向上させるため、地区計画に基づく建築物等の形態又は色彩その他意匠の制限や都市計画道路の無電柱化を実施した。
- 都市計画道路の整備に伴う、街路樹の植樹等を実施した。
- 雨水浸透ますや住宅用新エネルギー機器等設置に対する助成を行った。
- 開発区域面積に応じた宅地内緑化(20%以上の緑化)の指導により、市街地内での緑化の創出を図った。
- 家庭系ごみの排出量減量に向けた様々な施策を展開するとともに、小金井市一般廃棄物処理基本計画を策定した。
- 大気汚染防止を目的とした円滑な自動車交通処理を推進するため、都市計画道路の整備を行った。
- CoCoバス車両をノンステップバスへ入れ替える等、交通機関の充実を図り、交通手段の転換を誘導した。
- ヒートアイランド現象への対応のため、公園・緑地の保全を行うとともに、生垣化の促進のための助成を行った。
- 新エネルギー機器の設置に対する助成を行った。

■主な課題

- 国分寺崖線(はけ)の緑を守るとともに、多様な生態系の確保が必要である。
- 都市緑地や農地の保全や活用、適切な維持管理の取組が必要である。
- 水とみどりのネットワーク化が必要である。
- 野川や仙川等の親水空間の整備・清流復活等を図る必要がある。
- 省資源・省エネルギーへの対応、ごみの減量等、循環型のまちづくりの取組が引き続き必要である。
- 大気汚染を防止するため、円滑な自動車交通処理や公共交通機関の充実による交通手段の転換を引き続き推進する必要がある。
- ヒートアイランド現象に対応するため、公園・緑地の保全や生垣化等、みどりの創出を推進する必要がある。

■市民アンケート結果

【満足度】

- 「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」の合計で見ると、「隣接都市との連携により、国分寺崖線(はけ)のみどりが守られ、緑化が進んだ」が29.9%と最も高く、次いで「公園の維持管理などにおける市民協働の取組が進んだ」が24.5%となっている。
- 全項目において、「どちらともいえない」の割合が5割以上となっている。

【重要度】

- 「みどり・水環境、生態系に配慮した自然環境の保全と景観の形成」が54.8%で最も多く、次いで「大規模公園や国分寺崖線(はけ)など地域固有のみどりにつながるまちづくり」が36.1%、「環境負荷の少ないまちづくり」が30.0%となっている。
- 自由意見は、「自然のあるまちづくりが必要(みどり・地形の保全)」、「野川の保全、活用」、「ほどほどの賑わい(駅周辺)とみどりの調和が小金井市の魅力」の順に多かった。

【20年後の小金井市のまちづくり】

➤豊かな水や緑が保全され、安全で快適に利用できる自然豊かなまち

- 豊かな自然が小金井市の魅力(特徴)であるため
- 小金井らしい自然環境(国分寺崖線、野川、武蔵野公園等)の保全・維持が必要
- 自然を有効活用(防災・教育等)できると良い

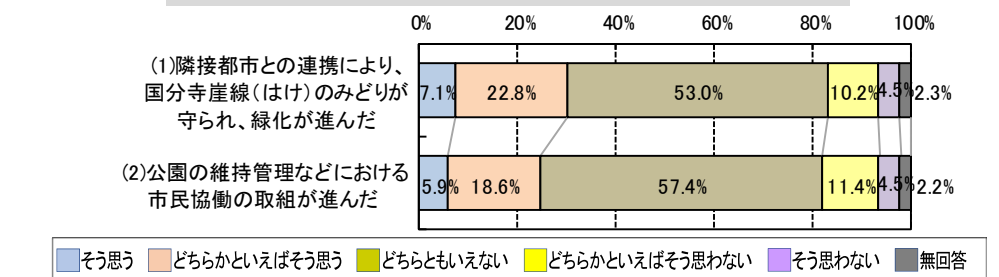
➤限りある資源を有効に活用し、ごみ減量、省エネルギーや再生エネルギー等が推進された環境にやさしいまち

- ごみ減量(ごみの分別徹底等)の推進が必要
- 地球温暖化抑制・自然環境の保全等、環境にやさしいまちづくりの推進が必要
- 省エネ・再生可能エネルギーの活用が必要

■次期都市計画マスタープランの方向性

- 小金井らしい美しさと風格を備えた風景の保全と形成のため、地域固有の資源である国分寺崖線(はけ)や玉川上水の名勝小金井(サクラ)並木、都市農地の保全及び都市緑地の保全や創造を図る。
- 市街地景観の質の向上のため、地区計画に基づく建築物等の形態規制や無電柱化を推進する。
- 都市内のみどりの減少を防ぐため、宅地内緑化の支援を行う。
- みどりを守り育てるため、より快適で維持管理が行いやすい公園の設置を推進する。
- 地下水の涵養や健全な水の循環の保全のため、透水性舗装や雨水浸透ます等の設置により雨水の透水性の向上を図る。
- 水とみどりのネットワークの確保に向けて、大規模公園、市内の公園・緑地、河川、道路等のネットワーク化を図る。
- 多様な動植物の生存環境の確保のため、国分寺崖線(はけ)のみどりを守るとともに、野川周辺の生態系の再生等を進める。
- 野川、仙川等の河川の親水性を高めるため、東京都への整備要望を推進し、親水空間の整備を図る。
- 環境負荷軽減のため、ごみ減量による循環型都市の形成を図る。
- 地球温暖化を抑制し、省エネルギーや水・大気循環に配慮するため、先進的な環境技術の導入による低炭素化・エネルギー利用の効率化を推進する。
- 大気汚染を防止するため、道路ネットワークの形成による自動車交通の円滑化や、自動車利用からの転換を進めるため、歩行者・自転車空間の整備やバス等の公共交通機関の充実を図る。
- ヒートアイランド現象に対応するため、公園・緑地の適正な管理や、生垣化の促進等を通じた都市内のみどりの創出を図る。

＜満足度(現行都市計画マスタープランの取組の評価)＞



＜重要度(まちづくりの重要項目)＞

選択肢	件数	割合
1. 駅前などまちの拠点や幹線道路沿道におけるみどりの形成	191	21.2%
2. 環境負荷の少ないまちづくり	271	30.0%
3. みどり、水環境、生態系に配慮した自然環境の保全と景観の形成	495	54.8%
4. 大規模公園や国分寺崖線(はけ)など地域固有のみどりにつながるまちづくり	326	36.1%
5. その他	22	2.4%
無回答	15	1.7%
計	1,320	

※集計母数は回答者903名

2-4. 安全・安心

■現行都市計画マスタープランの概要

- 延焼遮断帯、避難道路、防災拠点の整備や危険なブロック塀の生垣化等への誘導の支援、建築物の不燃化及び耐震化への誘導の支援、ライフライン施設の安全性の向上、市民と市の協力による防災訓練の実施等や情報ネットワークの構築、行き止まり道路の解消等により、災害に強いまちづくりを進める。
- 日常生活圏(コミュニティゾーン)内での福祉施設や各種生活関連施設の整備や、公園等の死角の排除や街路灯等の設置による安心して暮らせるまちづくりを進めるとともに、「バリアフリーのまちづくり構想」に基づくノーマライゼーションに配慮したまちづくりを推進する。
- 市街地内の自動車通過交通を抑制するため、バス優先走行車線の確保やバス運行ルートへの検証等による多くの市民に利用されるバスが活躍するまちづくりを進める。
- 交通手段の転換を推進するとともに、歩行者道・自転車走行空間の確保や自転車駐輪場の整備等を進める。
- 持続的な都市機能の維持のため、都市施設(公共施設)の長寿命化・保守管理の効率化を進める。

■主な成果

- 延焼遮断帯に位置付けられた都市計画道路の整備を推進した。また、避難所の案内版整備や備蓄倉庫の拡充等を実施するとともに、危険なブロック塀の除去(生け垣助成)及び防災機能を有する公園を整備した。
- 耐震改修促進計画に基づき、木造住宅耐震診断・耐震改修助成事業を実施するとともに、住宅の耐震化促進のため、平成30年10月にアクションプログラムを策定し、助成額の拡充や普及活動等を行った。
- 都市計画道路の整備時にライフラインの耐震化に伴う再整備を調整した。
- 災害時に迅速な復旧・復興活動が可能となる地籍調査事業を実施している。
- 情報伝達手段(消防団員等緊急連絡システム、防災無線のデジタル化等、衛星携帯電話)の整備等、防災に係る情報ネットワークを整備した。
- 開発に伴う公園・緑地の整備にあたっては、死角の排除や生垣の定期的な剪定等、開発事業者への指導等を実施した。
- 新小金井駅において、バリアフリー化を実施した。
- 既存バス路線の現状及び課題等を踏まえた CoCo バス再編事業に着手し、基本方針を策定の上、総合的な見直しを進めている。
- 自転車通行帯や自転車ナビマーク等を主要幹線道路において段階的に整備し、自転車駐車場の整備及び放置自転車対策を実施した。
- 地域のコミュニティ活動・交流できる場である集会施設の改修等を行った。

■主な課題

- 延焼遮断帯の形成、安全に避難できるための避難道路や防災拠点の整備及びインフラの再整備等による地域の強靱化に向けた取組が必要である。
- 土砂災害や浸水等、地域特性に応じた災害への対応が必要である。
- 誰もが安全で安心して暮らせるための、地域の防災・防犯体制の強化が必要である。
- 今後増加が見込まれる空き家・空き地への対応が必要である。

■市民アンケート結果

【満足度】

- 「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」の合計で見ると、「安定的なごみ処理体制の確立に向けて、日野市、国分寺市との共同での可燃ごみ処理体制が構築された」が55.8%と最も高くなっている。
- 「延焼拡大を防ぐ幹線道路の整備や、安全な場所へ避難する道路や場所の整備が進んだ」、「町会や自治会での自主的な防災訓練など地域防災活動が活発になった」、「駅周辺や公共施設において、歩道のバリアフリー化や点字ブロックの設置などが進んだ」は、「どちらともいえない」の割合が最も高くなっている。

【重要度】

- 「地震や大雨などの災害に強いまちづくり」が52.6%で最も多く、次いで「学校、道路、公園、上下水道などの公共施設やライフラインに対する計画的な維持管理」が46.5%、「まちの死角の除去や照明の確保など、安心して生活できるためのまちづくり」が35.8%となっている。
- 自由意見は、「子供が安全・安心に暮らせるまち」、「暗い道路の解消(住宅地、子供の帰り道等)」、「災害に強いインフラ整備(公園整備・無電柱化等)」の順で多かった。

【20年後の小金井市のまちづくり】

➢高齢者や障がいのある人をはじめとして、誰もが自立して健康に生活できる福祉が充実したまち

- 今後、高齢者が増加する(自分が高齢者になるため)
- 高齢者や障がいのある人にやさしく、暮らしやすいことが重要(=すべての人にとっても暮らしやすいため)

- 福祉(介護施設、医療機関等)の充実が必要

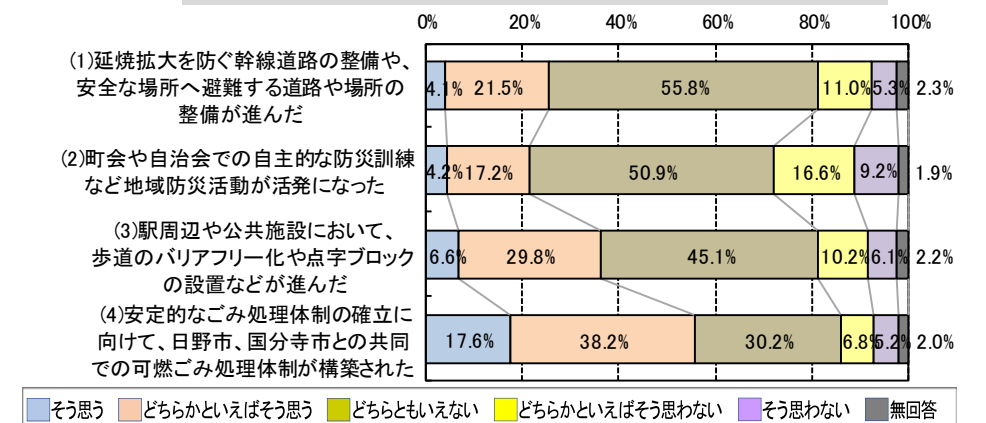
➢災害に強いインフラ整備を進める等、誰もが安全・安心に暮らせるまち

- 安全で安心できることが最も重要
- 災害への備え(災害時の備蓄、防災意識の啓発等)が重要
- 頻発する大規模自然災害や今後想定される首都直下地震等を懸念

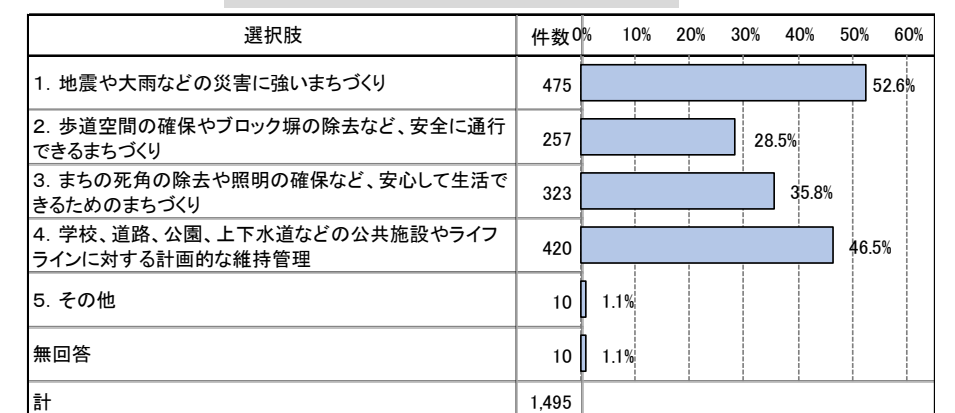
■次期都市計画マスタープランの方向性

- 地震に強く、燃え広がらないための延焼遮断帯の形成、安全に避難できるための避難道路・防災拠点の整備を推進する。
- 大規模な地震等の災害時にも、燃えない・燃え広がらない・壊れない建築物の不燃化・耐震化を促進する。
- 安全な交通ネットワーク及びライフライン等の確保のため、インフラの再整備や更新に伴うライフラインの強化・確保を図る。
- 災害時における安全性を確保するため、平時にも利用可能な身近な避難場所や避難道路の整備を推進する。
- 土砂災害や浸水等の被害を防ぎ安全な市街地を形成するため、地域特性に応じた災害への対応を図る。
- 高齢者や障害のある人が安心していきいき暮らせるための環境を形成するため、公共施設等のバリアフリー化を推進する。
- 犯罪を未然に防ぐため、公園・緑地等における死角の排除や、生垣、樹木の定期的な剪定と交通安全の確保及び防犯機能の向上を図る。
- 地域の安全性を向上させるため、自助・共助・公助の連携により、地域のリスクを把握し、その対策を検討・実施するとともに、誰もが安全・安心に暮らしていけるよう、地域特性に応じた取組を推進し、平時から持続可能なまちづくりを進める。
- 今後空き家や空き地の増加が見込まれることから、所有者へ適切な管理を促す。
- 公共施設等総合管理計画に基づき、都市機能の維持・向上を図り、持続的なまちづくりを推進する。

＜満足度(現行都市計画マスタープランの取組の評価)＞



＜重要度(まちづくりの重要項目)＞



※集計母数は回答者903名

2-5. 住環境

■現行都市計画マスタープランの概要

- 歩ける範囲の基礎的生活圏単位における相互生活援助システムづくりを支える都市基盤の形成や、市民の生活の多様化に対応した多様な住空間づくり、近隣の人々がふれあえる場所づくりを進める。
- にぎわいと個性のある拠点づくりとして、武蔵小金井駅・東小金井駅において、魅力的な景観やみどり豊かな空間整備や回遊性の高いまちづくりを進める。
- JR中央線沿線ゾーンや小金井街道において「軸」と「回遊」ゾーンでの連なりとみどりを意識した空間づくりを推進する。
- 市民や来街者ニーズの多様化に対応できるような質の高い魅力ある商店街づくり、コミュニティビジネスや先端産業、魅力的で創造的かつ環境にやさしい産業の誘致・育成や、「農」が今後果たす都市への多面的な役割を評価した「農を活かしたまちづくり」を進めるとともに、市内農産物を市内で消費するシステムづくりを推進する。
- さまざまな人々が相互にふれあい、多様な価値と個性が交流するまちづくりや、ネットワーク(市民活動、情報、道路など)を活かしたまちづくりを推進する。

■主な成果

- 武蔵小金井駅南口市街地再開発事業では、地区全体の回遊性やにぎわいの向上のための広場、通路の空間整備を行うとともに、国分寺崖線をイメージさせる建物の緑化を行った。
- 商店街活性化推進事業補助金事業により、商工会や商店街等が行う掲示板等の設置に対して支援を行った。
- 地域の中で日常生活を送ることができる都市基盤の形成や既存住宅ストックの活用を考慮した多様な住空間(バリアフリー住宅、都市型住宅等)づくりを進めるとともに、地域のコミュニティ活動・交流できる場所づくりを進めた。
- 東小金井事業創造センターを整備した。
- 農工大・多摩小金井ベンチャーポートの入居者支援を行い、ベンチャー企業育成に取り組んだ。
- JA・農家・教育委員会で意見交換の場を設け、学校給食の利用拡大を図った。
- 江戸東京野菜を用いたまちおこし事業(野菜生産者と市内飲食店の連携や料理教室、食事会等のPR活動)や、農業祭での市内農産物PR及び販売を実施した。
- 武蔵小金井駅南口市街地再開発事業にてコミュニティ広場を整備し、東小金井駅北口土地区画整理事業にて公園を整備予定である。

■主な課題

- 高齢化社会に対応し、地域の中で日常生活を送ることができる基盤整備が必要である。
- 市民の生活の多様化に対応した住環境等の整備が必要である。
- 地域住民が主体となったまちづくりの展開が必要である。

■市民アンケート結果

【満足度】

- 「そう思わない」、「どちらかといえばそう思わない」の合計で見ると、「省エネ・再エネ機器などの導入などにより、地球温暖化対策が進んだ」が28.1%と最も高く、次いで「屋上緑化、壁面緑化、雨水浸透ますなど、環境に配慮した建築物が普及した」が22.3%となっている。
- 全項目において、「どちらともいえない」の割合が5割以上となっている。

【重要度】

- 「店や病院などが身近にあり、歩いて日常生活を送ることができるまちづくり」が57.7%で最も多く、次いで「住み慣れた地域で、住み続けたいと思うことができるまちづくり」が40.9%、「快適でゆとりある良好な居住空間が形成されたまちづくり」が26.5%となっている。
- 自由意見は、「若い世代が住みやすい、子育てしやすいまちづくり」、「商店街の活性化」、「地域コミュニティの活性化(住民交流、多世代交流、イベント開催等)」の順に多かった。

【20年後の小金井市のまちづくり】

▶子育てしやすく、教育環境が充実したまち

- 子供・子育て世代がなにより重要
- 保育環境(待機児童の解消等)、教育環境(PC環境の強化等)の充実が必要
- 子供が遊べる、学べる環境づくりが必要

▶様々な企業が集まり、働く場所が多く、地域経済が活性化したまち

- 地域経済の活性化による財源(税金等)確保が必要
- 職住近接の働く場(子育て世代が働きやすい等)は必要
- 企業誘致の推進(新規事業者への支援制度充実、人が集まる場の創出等)が必要

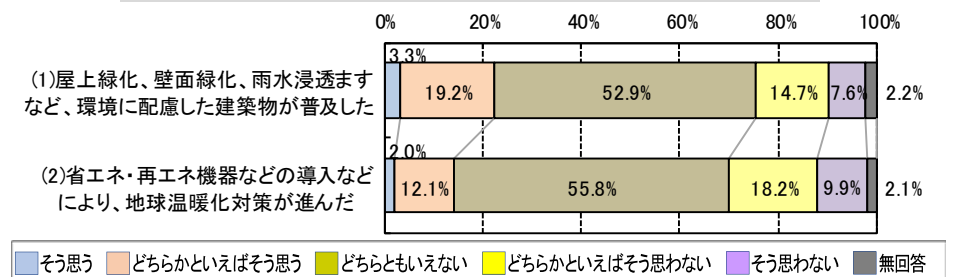
▶公園、レジャー施設、商業施設が充実したまち

- 商業施設・レジャー施設(映画館等)の充実による賑わいの創出(来訪者・移住者の増加等)が必要
- 公園の再整備・新規整備が必要
- JR駅周辺の活性化に期待

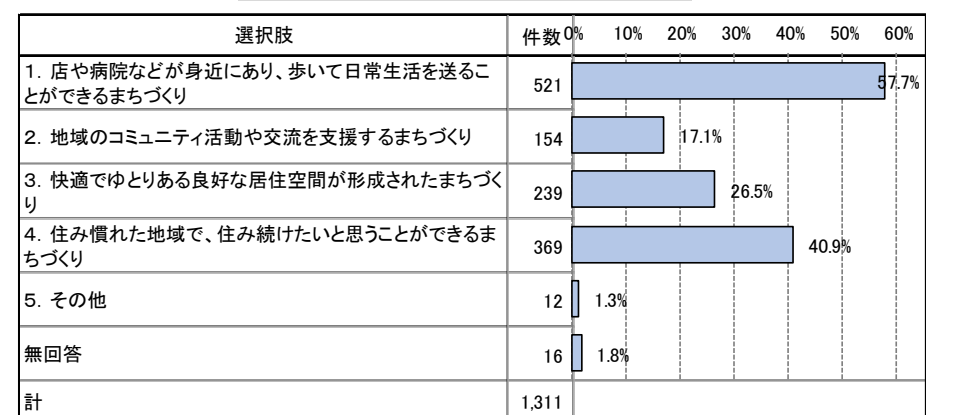
■次期都市計画マスタープランの方向性

- 高齢化社会に対応し、誰もが安心して生活し続けることができるようにするため、地域包括ケアシステムと連携が図れるよう、身近な地域中心拠点で、生活に必要なサービス(行政、福祉、商業等の生活関連サービス等)が整う、便利で暮らしやすいまちづくりを推進する。
- 市民の生活の多様化に対応し、様々な世代がいきいきと暮らしていける住環境の整備を図る。
- 商店会、事業者が自発的に取り組む活動への支援等により、にぎわいを創出する。
- 子育てしやすい環境の整備をさらに進め、特に若年層が居住し続けることができるまちづくりを推進する。
- 小金井らしい地域特性に配慮したきめ細かなまちづくりを進めるため、地区計画や建築協定等によるまちづくりを展開する。
- 将来の人口の年齢構成や生活状況に対応したバリアフリー化をはじめとした住環境の改善を推進する。
- 地域のコミュニティ活動や交流を支援するため、地域のニーズに応じた集会施設等の整備を推進する。
- 地域における良好な環境や地域の価値を維持・向上させるため、地域住民等が主体となったエリアマネジメント活動を推進する。
- 地域の歴史・文化を継承するため、これらを活かした都市景観や都市空間の保全・形成を図る。

<満足度(現行都市計画マスタープランの取組の評価)>



<重要度(まちづくりの重要項目)>



※集計母数は回答者903名

3. 小金井市都市計画マスタープラン見直しに向けた論点の整理

小金井市を取り巻く現況
・各種分析

今後の都市づくりに向けた視点
・長期総合計画における論点
・上位関連計画におけるキーワード

分野別の成果と次期都市計画マスタープランの方向性
・市民アンケート
・現行評価

見直しに向けた論点の整理

(1) 今後の人口動向に対応したまちづくりのあり方

- 高齢者の急激な増加等に対応した、子供から高齢者までの誰もが安全・安心して暮らせるまちづくりのあり方

(2) 小金井市らしいまちづくりのあり方

- 東京都心から概ね 25 km、鉄道交通の利便性が高い都市でありながら、美しく質の高いみどりと水に恵まれた住宅都市、文教都市のあり方
- 各拠点・軸等の方向性
 - ✓ 総合拠点(武蔵小金井駅周辺)、副次拠点(東小金井駅周辺)における、拠点性(にぎわい・交流、交通結節機能)の向上について
 - ✓ 新たなまちおこしの拠点(新庁舎建設予定地)に必要な役割について
 - ✓ 広域都市間・市内移動の円滑化・安全化等に向けた都市計画道路の整備について
 - ✓ 地域中心拠点における歩ける範囲での行政、福祉、商業、各種生活関連及び健康増進サービスが受けられる拠点のあり方について
 - ✓ JR中央線沿線や幹線道路沿道における都市機能の集積等の活力増強方策について
 - ✓ 五日市街道、東八道路や新小金井街道沿道における沿道立地型の商業・サービス施設を中心とした都市機能の導入と小金井らしい沿道景観の誘導について
 - ✓ 農を活かしたまちづくりのあり方について
 - ✓ 大規模な水とみどりの空間の保全と、市内の緑地資源を活用した水とみどりのネットワーク化について
 - ✓ 幹線道路沿道や JR 中央線沿線等におけるみどりの形成と市内の緑地資源との回遊性について
 - ✓ 低層住宅地内の生活利便施設の設置について

(3) 持続可能なまちづくりのあり方

- 自然が豊かなまち
- 多様な暮らし方を支えるまちづくり
- 安全・安心に暮らせる都市の更なる強靱化
- 誰もが移動しやすい公共交通機関の整備
- まちの活力や暮らしの質の向上、魅力の強化
- 省エネルギー、循環型まちづくり、低炭素まちづくり
- 公共サービスの提供と公共施設の適切な維持管理・更新

(4) 地域の資源を活かした暮らし続けたい・暮らしやすいまちづくりのあり方

- 商業、工業、都市農業及び教育・研究機関等の地域資源を守り育てるまちづくりのあり方

(5) 先端技術の進展を見据えたまちづくりのあり方

- スマートシティ、Society5.0、パーソナルモビリティ等の新たな移動手段の普及、自動運転、IoT による効率的な地域運営、AI 等の最新技術を活用した“MaaS”の実現化等

(6) まちづくりのマネジメントのあり方

- まちづくりを推進するための市民参加や公民連携のあり方、進捗管理・達成度の評価等

これからのまちづくりに求められるもの

(1) 土地利用

- 武蔵小金井駅及び東小金井駅周辺は、商業・業務等、幅広いサービスの充実により利便性が高く、更なるにぎわい・活力が生まれる拠点の形成
- 東小金井駅周辺は、都市基盤の整備と併せた土地の高度利用や都市機能の更新
- 行政サービスや福祉サービス等の生活に必要なサービスが身近で整う拠点の形成
- JR中央線沿線や幹線道路沿道は、新たなにぎわいを生み、多様な暮らし方・働き方を支える空間の創出
- 駅周辺を中心とした歩きたくなるまちなかの形成の推進
- 新庁舎建設予定地は、公共サービス、防災、環境等の市の総合サービスを提供する拠点の構築
- 幹線道路等の沿道における都市機能の集積・導入や小金井らしい沿道景観の誘導
- 国分寺崖線(はげ)の保全・野川周辺の生態系再生等を通じた多様な動植物の生存環境の確保
- 市街地にあるべきみどりとして農地を保全し、環境・防災機能等多面的な利用を推進
- 敷地規模が大きい土地に利用については、将来的に土地利用転換が行われる場合は、周辺の市街地と調和した適切な土地利用を誘導

(2) 道路・交通

- 誰もが安全に移動できるバス等の移動手段の確保と持続可能な公共交通の運行サービスの提供
- 広域幹線道路や幹線道路の計画的な整備推進による道路ネットワークの形成
- コミュニティ活動の軸となり、また災害時における身近な避難場所までの避難道路となる生活道路の整備・改善
- 交通施設のバリアフリー化を推進
- 安全でゆとりある、人にやさしい交通環境や歩きたくなるまちを形成するための歩行者空間の確保や自転車道・駅前自転車駐車場等の整備
- 地域の交通の要となる使いやすい駅前交通広場の整備
- 交通安全施設の適切な維持管理

(3) 水・みどり・環境共生

- 小金井らしい美しさと風格を備えた風景の保全と形成
- 地区計画に基づく建築物等の形態規制、無電柱化や道路整備に伴う街路樹の植樹の推進
- 宅地内緑化の支援や快適で維持管理が行いやすい公園の設置によるみどりの保全
- 地下水の涵養や健全な水循環の保全のため、透水性舗装や雨水浸透ます等の設置
- 大規模公園と市内の公園・緑地、玉川上水・野川等とのネットワーク化
- 国分寺崖線(はげ)の保全と野川周辺の生態系再生等
- 野川、仙川の親水空間の整備
- ごみの減量による循環型都市の形成
- 先進的な環境技術の導入による低炭素化・エネルギー利用効率化
- 自動車交通の円滑化や交通手段転換(歩行者・自転車空間の整備・公共交通機関の充実)による大気汚染の防止
- 公園・緑地の適正な管理、生垣化の促進等、都市内のみどりの創出によるヒートアイランド現象への対応

(4) 安全・安心

- 延焼遮断帯の形成、避難道路・防災拠点の整備
- 建築物の不燃化・耐震化の促進
- インフラの再整備や更新に伴うライフラインの強化・確保
- 平時にも利用可能な身近な避難場所・避難道路の整備
- 地域特性に応じた災害への対応
- 公共施設等のバリアフリー化を推進
- 公園・緑地等における死角の排除や、生垣、樹木の定期的な剪定と、交通安全の確保及び防犯機能の向上
- 地域の安全性を向上させるための自助・共助・公助の連携による継続的な検討体制等の構築と、地域特性に応じた取組の推進
- 空き家・空き地に対する所有者の適切な管理を促す
- 公共施設等総合管理計画に基づく持続可能なまちづくりを推進

(5) 住環境

- 地域包括ケアシステムと連携しながら、身近な地域中心拠点で、生活に必要なサービスが整う、便利で暮らしやすいまちづくりの推進
- 生活の多様化に対応した様々な世代がいきいきと暮らしていける住環境の整備
- 商店会、事業者が自発的に取り組む活動への支援等による、にぎわいの創出
- 子育てしやすい環境の整備の推進により、特に若年層が居住し続けることができるまちづくりの推進
- 地区計画や建築協定等によるまちづくり
- 年齢構成や生活状況に対応したバリアフリー化をはじめとした居住環境の改善を推進
- 地域のコミュニティ活動や交流を支援するため、地域のニーズに応じた集会施設等の整備の推進
- 地域住民等が主体となったエリアマネジメント活動の推進
- 地域の歴史・文化を継承するため、これらを活かした都市景観や都市空間の保全・形成

現行計画の施策の達成状況からみた方向性

基本目標 1 『環境共生のまちづくり』

方針 1-1 次世代にほこれる景観づくり

施策	達成状況	次期都市マスの方向性	(参考) 新たな視点
●小金井の風土に合った風景の保全と形成	・ 国分寺崖線の保全について民有地の公有化を図り、年間を通して適切な維持管理を実施した。	国分寺崖線（はげ）や都市農地の保全と、都市緑地の保全	【都】都市づくりのグランドデザイン：政策 24・取組 1 「貴重な緑を守り、活発な都市活動と豊かな生態系を両立する」
	・ ヤマザクラの補植整備・人道橋の架設を実施した。 ・ 小金井桜クリアファイル販売、整備事業の PR 冊子の配布を行った。	ヤマザクラの育成及び植樹や玉川上水沿道の整備、散策モデルルートの策定及び PR の推進	【都】都市づくりのグランドデザイン：政策 25・取組 3 「都市の魅力向上を促す農空間を生み出す」 【国】都市農業振興基本計画：「防災、良好な景観の形成並びに国土及び環境の保全等の機能の発揮」「的確な土地利用に関する計画の策定等」
	・ 市民農園を 4 園設置した。 ・ 都市農地保全支援プロジェクトを活用し、農地整備への支援や防災兼用農業用井戸を 5 箇所設置した。	市民農園等の整備	【市】第 5 次前期基本計画（素案）：政策 1 「みどりと水の環境整備」
●小金井にふさわしい市街地景観の質の向上	・ 地区計画に基づく建築物の形態又は色彩その他意匠について制限を実施した。	地区計画に基づく建築物等の形態又は色彩その他の意匠の制限による周辺環境と調和のとれた景観の形成	【都】都市づくりのグランドデザイン：政策 12・取組 1 「都内の主要な道路から電柱をなくす」
	・ 都市計画道路における電線共同溝の設計・整備を実施した。 ・ 市道における無電柱化推進計画を策定した。	無電柱化の推進による市街地景観の質の向上	【市】第 5 次前期基本計画（素案）：政策 4 「市街地の整備」
●都市の拠点や軸における小金井らしいみどりの創造	・ 武蔵小金井駅南口交通島にヤマザクラ（寄付）、コガネイウスベニザクラ（寄付）を植樹した。 ・ 武蔵小金井駅北口交通島にヤマザクラ（寄付）を植樹した。	都市計画道路の整備に伴う街路樹の植樹等、都市緑地の創造	—

方針 1-2 水とみどりと生き物の創造

施策	達成状況	次期都市マスの方向性	(参考) 新たな視点
●みどりの回復	・ 公園・緑地等の設置の指導について、宅地開発指導要綱に則り、開発区域面積に応じて事前協議を行い、完了検査時に協議内容通り施工されているか確認した。	宅地開発時の宅地内緑化や提供・自主管理公園や緑地の設置等の指導による緑の創造	—
●水の循環性の確保	・ 雨水タンクの取り付けや雨水浸透ます等の設置への助成・補助を実施したものの、実績額が少ない年度があった。	雨水の透水性・保水性の向上による水の循環性の確保	—
	・ 都市計画道路の拡幅整備にあたり、透水性ブロックの舗装及び雨水浸透ますを設置した。		
●水とみどりのネットワーク化	・ 都立公園や河川等の保全に関して東京都と連携し、継続的に緑地資源の整備について協議した。	市内の緑地資源を活用した水とみどりのネットワーク化	【都】都市づくりのグランドデザイン：政策 24・取組 2 「あらゆる場所に新たな緑を創出し、快適な都市空間を形成する」
●多様な生態系の確保	・ 各法制度に基づき、国分寺崖線上において民有地の公有化を図り、年間を通して適切な維持管理を実施した。	国分寺崖線（はげ）の保全や、野川周辺の生態系再生等を通じた多様な動植物の生存環境の確保の推進	【都】都市づくりのグランドデザイン：政策 24・取組 1 「貴重な緑を守り、活発な都市活動と豊かな生態系を両立する」
●親水空間の整備	・ 野川・仙川改修促進期成同盟において、野川、仙川の親水空間の整備に向けて、東京都に要望活動を実施した。 ・ 親水空間の整備を行っていないものの、砂川用水連絡協議会では砂川用水の今後の在り方を検討した。	野川や仙川の親水空間の整備推進	【都】都市づくりのグランドデザイン：政策 26・取組 3 「まちに潤いを与える水辺空間を形成する」

方針1-3 環境負荷の少ないまちづくり

施策	達成状況	次期都市マスの方向性	(参考) 新たな視点
●循環型都市の形成	<ul style="list-style-type: none"> 家庭系ごみの排出量減量に向けた様々な施策を展開した。 小金井市一般廃棄物処理基本計画を新たに策定した。 	「発生抑制を最優先とした3Rの推進」「安全・安心・安定的なごみ処理体制の確立」による循環型都市の形成	<p>【市】 小金井市一般廃棄物処理基本計画</p> <p>【市】 第5次前期基本計画(素案)：政策2「循環型社会の形成」</p>
●低炭素社会の構築	<ul style="list-style-type: none"> 住宅用新エネルギー機器等補助金の対象機器をニーズに合わせ更新してきたが、申請件数は減少傾向にある。 	先進的な環境技術の導入による低炭素化、エネルギー利用の効率化の推進	<p>【都】 都市づくりのグランドデザイン：政策15・取組1「開発の機会を捉えて、低炭素化、エネルギー利用の高効率化を進める」</p> <p>【市】 第5次前期基本計画(素案)：政策3「環境保全の推進」</p>
●大気汚染の防止	<ul style="list-style-type: none"> JR中央本線連続立体交差事業と併せた都市計画道路の整備を行っており、円滑な自動車交通処理を推進した。 東京都及び警視庁の取組により自転車専用道等について、特に広域幹線道路等で段階的に整備した。 既存バス路線の現状及び課題等を踏まえたCoCoバス再編事業に着手し、基本方針を策定の上、総合的な見直しを進めている。 CoCoバス車両をノンステップバスへ入替を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 道路ネットワーク形成による自動車交通の円滑化を通じた大気汚染の防止 交通手段転換の推進 	<p>【都】 都市づくりのグランドデザイン：政策5・取組1「道路ネットワークの形成により経路選択の自由度を高める」</p>
●輻射熱の抑制(ヒートアイランド現象への対応)	<ul style="list-style-type: none"> 年間を通じて公園・緑地の維持管理を実施した。 生垣造成への助成を実施した。(H24年～R1年までの実績：19件、169.5m) 	ヒートアイランド現象への対応のための公園・緑地の適正な管理、生垣化の促進等による都市内の緑の創出	<p>【市】 第5次前期基本計画(素案)：政策3「環境保全の推進」</p>
●環境にやさしい建築物の誘導	<ul style="list-style-type: none"> 住宅用新エネルギー機器等取り付けへ補助を実施したものの、実施額が少ない年がある。 	先進的な環境技術の導入による低炭素化、エネルギー利用の効率化の推進	<p>【都】 都市づくりのグランドデザイン：政策15・取組1「開発の機会を捉えて、低炭素化、エネルギー利用の高効率化を進める」</p>

「環境共生のまちづくり」を実現するための都市構造

施策	達成状況	次期都市マスの方向性	(参考) 新たな視点	
●みどりの拠点	<ul style="list-style-type: none"> 東京都と市内の都立公園の整備について協議を進め、緑の拠点の確保・保全に努めた。 	市内における都立公園等の緑の確保と保全	<p>【都】 都市づくりのグランドデザイン：政策24・取組1「貴重な緑を守り、活発な都市活動と豊かな生態系を両立する」</p> <p>【市】 第5次前期基本計画(素案)：政策1「みどりと水の環境整備」</p>	
●みどりの軸	南北軸	<ul style="list-style-type: none"> 小金井街道の整備を進める中で、無電柱化や街路樹の植栽整備を行う予定である。 	<p>緑の基本計画及び環境基本計画との整合を図り、みどりのネットワークとして緑の確保と保全</p>	<p>【都】 都市づくりのグランドデザイン：政策3・取組2「それぞれの拠点を結び付ける「地域軸」を形成する」</p>
	東西軸	<ul style="list-style-type: none"> JR中央本線まちづくり側道について、植樹ますのスペース確保のために歩道を拡幅した。 		<p>【都】 都市づくりのグランドデザイン：政策26・取組3「まちに潤いを与える水辺空間を形成する」</p>
●みどりの環	みどりの大きな環	<ul style="list-style-type: none"> 東大通りの整備を行っており、整備の進捗に伴い街路樹を整備した(街路樹は選定中)。 	<ul style="list-style-type: none"> 緑の基本計画及び環境基本計画との整合を図り、みどりの骨格及びみどりのネットワークとして緑の確保と保全 野川や仙川の親水空間の整備推進 	<p>【都】 都市づくりのグランドデザイン：政策3・取組2「それぞれの拠点を結び付ける「地域軸」を形成する」</p>
	みどりの小さな環	<ul style="list-style-type: none"> 野川・仙川改修促進期成同盟において、野川、仙川の親水空間の整備に向けて、東京都に要望活動を実施した。 親水空間の整備を行っていないものの、砂川用水連絡協議会では砂川用水の今後の在り方を検討した。 		<p>【都】 都市づくりのグランドデザイン：政策26・取組3「まちに潤いを与える水辺空間を形成する」</p>

基本目標2 『安全・安心なまちづくり』

方針2-1 災害に強いまちづくり

施策	達成状況	次期都市マスの方向性	(参考) 新たな視点
●安全に避難できるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 避難場所案内板の整備や備蓄倉庫の拡充等を実施した。 危険なブロック塀の改善（生垣造成）及び防災機能を有する公園の整備を実施した。 都市計画道路の整備を実施した（延焼遮断帯）。 	延焼遮断帯の形成、危険ブロック塀等の改善、避難道路・防災拠点の整備による安全に避難できるまちづくりの推進	<p>【都】多摩部19都市計画 整備、開発及び保全の方針：「都市防災に関する主要な都市計画の決定の方針」</p> <p>【市】地域防災計画（改定）：「地震に強い都市づくり」「安全な交通ネットワーク及びライフライン等の確保」</p> <p>【市】第5次前期基本計画（素案）：政策8「防災体制の整備」</p>
●燃えないまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 事業が完了した幹線道路沿いを準防火地域に指定し、建築物の不燃化を促進した。 耐震改修促進計画に基づき、木造住宅耐震診断・耐震改修助成事業を実施した。 住宅耐震化促進のため、平成30年10月にアクションプログラムを策定し、助成額の拡充や普及活動等を実施した。 	建築物の不燃化・耐震化の促進	<p>【市】地域防災計画（改定）：「地震に強い都市づくり」</p>
●ライフラインの強化と確保	<ul style="list-style-type: none"> 調査診断結果による耐震継手の設置及び管更生を実施・検討している。 都市計画道路における電線共同溝の整備について、設計・整備を実施した。 都市計画道路の整備時にライフラインの耐震化に伴う再整備を調整した。 災害時に迅速な復旧・復興活動が可能となる地籍調査事業を実施した。 	インフラの再整備・更新、無電柱化の推進に伴うライフラインの強化と確保	<p>【都】多摩部19都市計画 整備、開発及び保全の方針：「都市防災に関する主要な都市計画の決定の方針」</p> <p>【市】地域防災計画（改定）：「安全な交通ネットワーク及びライフライン等の確保」</p>
●情報ネットワークの整備	<ul style="list-style-type: none"> 情報伝達手段（消防団員等緊急連絡システム、防災無線のデジタル化等、衛星携帯電話）を整備した。 関係防災機関（関東地整、J-COM、ヤフー）との災害協定を締結した。 ホームページ等で防災情報を提供した。 	災害情報の正確な伝達や円滑な避難、救急救助、救護活動を実現するための情報ネットワークの構築	—
●安心して暮らせる生活環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> 危険なブロック塀の改善（生垣造成）及び防災機能を有する公園の整備を実施した。 生産緑地（208件、60.89ha）を指定した。 都市計画道路の拡幅整備及び側道の新設を実施した。 	災害時にも、平時にも利用可能とする、身近な避難場所や避難道路の整備の推進	<p>【都】都市づくりのグランドデザイン：政策13・取組1「復興の目標を明確にし、平時の都市づくりに生かす」</p> <p>【都】防災都市づくり推進計画：基本方針「農地を有し、防災性の維持・向上を図るべき地域」</p> <p>【市】地域防災計画（改定）：「地震に強い都市づくり」</p> <p>【市】第5次前期基本計画（素案）：政策8「防災体制の整備」</p>

方針2-2 安心して暮らせるまちづくり

施策	達成状況	次期都市マスの方向性	(参考) 新たな視点
●誰もが安心して過ごせるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 開発に伴う公園、緑地の設置にあたっては、死角の排除等、宅地開発指導要綱に基づき、開発事業者への指導を実施した。 街路灯の設置及びLED化を実施した。 公共施設等のバリアフリー化を推進した。 	<ul style="list-style-type: none"> 開発行為に伴う公園、緑地の設置における死角の排除（形状を原則正方形に）及び適切な公園施設の設置等の指導の実施 夜間における交通安全の確保及び防犯設備の適正な維持管理 福祉施設や各種生活関連施設の整備推進 	【都】都市づくりのグランドデザイン：政策18・取組2「高齢者や障害者が安心していきいき暮らせる環境をつくる」
●ノーマライゼーションに配慮したまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 新小金井駅に係るバリアフリー化を実施した。 	高齢者や障がいのある人が自由に行動し、社会参加がしやすいまちづくりの推進	—
●バスが活躍するまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 既存バス路線の現状及び課題等を踏まえたCoCoバス再編事業に着手し、基本方針を策定の上、総合的な見直しを進めている。 CoCoバス車両をノンステップバスへ入替を行った。 	将来を見据えた持続可能な運行サービスの提供	【都】都市づくりのグランドデザイン：政策8・取組3「多様な交通モードにより自由自在な移動を実現する」 【市】第5次前期基本計画（素案）：政策7「交通環境の整備」
●人と自転車にやさしいまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画道路の拡幅整備に併せて、自転車の走行空間におけるナビマーク、ナビレーンの設置については警視庁と協議を実施した。 自転車駐車場の整備及び放置自転車対策を実施した。 自転車撤去手数料改定を実施した。 	自転車の活用推進に向けた都市環境の形成及び放置自転車撤去の効率的な実施	【国】自転車活用推進計画：「自転車交通の役割拡大による良好な都市環境の形成」 【市】第5次前期基本計画（素案）：政策7「交通環境の整備」
●計画的な都市施設のマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設等総合管理計画を策定した。 	公共施設等総合管理計画に基づく、適正な公共施設マネジメントの推進	【市】公共施設等総合管理計画 【市】第5次前期基本計画（素案）：政策29「計画的な行財政運営」

方針2-3 ふれあいのあるまちづくり

施策	達成状況	次期都市マスの方向性	(参考) 新たな視点
●地域のなかで日常生活を済ませることができるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 東京都の補助事業を活用した商店会の事業（宅配事業）に対し、広報等の支援を実施した。 	身近な生活の中心地で必要なサービスが整う、便利で暮らしやすいまちづくり	【都】都市づくりのグランドデザイン：政策21・取組2「公共交通の結節の度合いに応じた拠点をつくる」 【市】第5次前期基本計画（素案）：政策10「産業・観光の振興」
●多様な住空間づくり	<ul style="list-style-type: none"> 武蔵小金井駅南口市街地再開発事業及び東小金井駅北口土地区画整理事業により、住空間整備を推進した。 	様々な世代がいきいきと暮らしていける住環境の整備	【都】都市づくりのグランドデザイン：政策21・取組3「住み続けられる住宅市街地をつくる」 【市】第5次前期基本計画（素案）：政策5「住環境の整備」
●地域のコミュニティ活動や交流を支援するまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 集会施設の改修工事（エレベーターのリニューアル、耐震補強工事等）を実施した。 	地域のニーズに応じた地域のコミュニティ活動や交流を支援する場所づくり	【都】都市づくりのグランドデザイン：政策23・取組1「空き家を活用して多くの人が交流する機会を生み出す」

「安全・安心なまちづくり」を実現するための都市構造

施策		達成状況	次期都市マスの方向性	(参考) 新たな視点	
●まさかの時の安全…災害時への対策	●避難場所、避難道路	<ul style="list-style-type: none"> 耐震改修促進計画に基づき、特定緊急輸送道路耐震化助成事業を実施した。 都市計画道路で電線共同溝の整備、設計を実施した。 側道を新設した。 	避難道路・防災拠点の整備による安全なネットワークの形成	<p>【都】多摩部19都市計画 整備、開発及び保全の方針：「都市防災に関する主要な都市計画の決定の方針」</p> <p>【市】地域防災計画（改定）：「地震に強い都市づくり」「安全な交通ネットワーク及びライフライン等の確保」</p>	
	●延焼遮断帯	<ul style="list-style-type: none"> 公園を延焼遮断帯としても活用できるように年間を通して適切な維持管理を実施し、公園内の緑を保全した。 延焼遮断帯の都市計画道路で拡幅整備及び植樹を実施した。 側道について、植樹ますのスペース確保のために歩道を拡幅した。 	延焼遮断帯の形成による安全に避難できるまちづくりの推進		
	●木造密集市街地の解消	<ul style="list-style-type: none"> 耐水性貯水槽を整備した。 公園整備により、延焼防火を図った。 都市計画道路の拡幅整備について、設計・整備を実施した。 	建物の耐震化や不燃化とともに道路、公園及び防火水槽等の基盤施設の計画的な整備を推進		
	●建築物の耐震・不燃化の促進	<ul style="list-style-type: none"> 武蔵小金井駅南口市街地再開発事業（R2年度事業完了予定）の実施に伴い、武蔵小金井駅周辺を準防火地域又は防火地域に指定した。 武蔵小金井駅南口市街地再開発事業（R2年度事業完了予定）の実施により、不燃共同化建築物を整備した。 	建築物の不燃化・耐震化の促進		【市】地域防災計画（改定）：「地震に強い都市づくり」
	●生活空間の整備	<ul style="list-style-type: none"> 生け垣の造成を推奨し、H24年～R1年までに282件、7,512.3mを保存生け垣として指定した。 都市計画道路の電線共同溝の整備について、設計、整備を実施した。 JR中央線連続立体交差事業に伴い、南北交差道路を整備した。 橋りょうについては、橋りょう長寿命化計画を策定し、計画的に整備を行った。 	身近な避難場所や避難道路の整備の推進		<p>【都】防災都市づくり推進計画：基本方針「農地を有し、防災性の維持・向上を図るべき地域」</p> <p>【市】地域防災計画（改定）「地震に強い都市づくり」</p>
●防災まちづくりの考え方…まさかのときの安全・安心の実現に向けて	●安全に避難できるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 避難案内板等を整備した。 生け垣の造成を推奨し、H24年～R1年までに新規に19件、169.5mの造成に対する費用を奨励金として交付した。 都市計画道路の整備を実施した。 	延焼遮断帯の形成、危険なブロック塀等の改善、避難道路・防災拠点の整備による安全に避難できるまちづくりの推進	【市】地域防災計画（改定）：「地震に強い都市づくり」「安全な交通ネットワーク及びライフライン等の確保」	
	●消防活動がしやすいまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 耐水性貯水槽について、23箇所を整備した。 緊急輸送道路の都市計画道路の拡幅整備について、設計・整備を実施した。 JR中央線連続立体交差事業に伴い、南北交差道路を整備した。 	円滑な消防活動実施のための整備強化	【市】地域防災計画（改定）：「地震に強い都市づくり」	
	●燃えないまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画道路沿道を準防火地域に指定し、建築物の不燃化を促進した。 まちづくり条例及び宅地開発等指導要綱に基づき、敷地面積の最低限度の指導を行った。 	建築物の不燃化・耐震化の促進	【市】地域防災計画（改定）：「地震に強い都市づくり」	
●日常生活の安心	1 日常生活圏（コミュニティゾーン）と主要生活道路（コミュニティ道路）	<ul style="list-style-type: none"> JR中央本線連続立体交差事業に伴い、南北交差道路を整備した。 市内市道の交差道路を整備した。 危険なブロック塀を改善した。（生垣造成） 延焼遮断帯等の防災機能を有する公園の整備を進めた。 市内の公園に防火水槽等を設置した。 	交通事故削減・防犯まちづくりの推進による安心して暮らせるまちづくり	【市】第5次前期基本計画（素案）：政策5「住環境の整備」	
	2 地域中心拠点	<ul style="list-style-type: none"> JR中央本線連続立体交差事業に伴い、都市計画道路を整備した。 	身近な生活の中心地で必要なサービスが整うまちづくり	<p>【都】都市づくりのグランドデザイン：政策21・取組2「公共交通の結節の度合いに応じた拠点をつくる」</p> <p>【市】第5次前期基本計画（素案）：政策7「交通環境の整備」</p>	
	3 ふれあい拠点	<ul style="list-style-type: none"> JR中央本線連続立体交差事業に伴い、都市計画道路を整備した。 	コミュニティの活性化に資する空間の創出の促進	<p>【都】都市づくりのグランドデザイン：政策23・取組2「都市のオープンスペースを使い交流を生み出す」</p> <p>【市】第5次前期基本計画（素案）：政策7「交通環境の整備」</p>	

基本目標3 『自立（律）と活力にみちたまちづくり』

方針3-1 小金井らしさを実感できるまちづくり

施策	達成状況	次期都市マスの方向性	(参考) 新たな視点
●にぎわいと個性のある拠点づくり	<ul style="list-style-type: none"> 商店街活性化推進事業補助金事業により、商工会や商店街等が行う掲示板等の設置に対して支援を行った。 武蔵小金井駅南口市街地再開発事業（R2年度事業完了予定）及び東小金井駅北口土地区画整理事業（R8年度事業完了予定）を推進した。 	商業・業務等の幅広いサービス及び良好な都市型住宅が充実し、地域の魅力を向上させる拠点の形成	<p>【都】都市づくりのグランドデザイン：政策3・取組1「個性」に着目した地域づくりを進める」、政策21・取組2「公共交通の結節の度合いに応じた拠点をつくる」</p> <p>【市】第5次前期基本計画（素案）：政策4「市街地の整備」及び施策10「産業・観光の振興」</p>
●「軸」と「回遊」ゾーンでの連なりとみどりを意識した空間づくり	<ul style="list-style-type: none"> 武蔵小金井駅南口市街地再開発事業（R2年度事業完了予定）及び東小金井駅北口土地区画整理事業（R8年度事業完了予定）を実施した。 小金井街道の拡幅整備と併せた街路樹、インターロッキングブロック舗装を整備、検討した。 	新たににぎわいを生み、多様な暮らし方・働き方を支える空間の創出	<p>【都】都市づくりのグランドデザイン：政策22・取組1「複合的な土地利用でにぎわいと交流を創出する」</p> <p>【市】第5次前期基本計画（素案）：政策4「市街地の整備」</p>

方針3-2 創造的・個性的な産業の育成

施策	達成状況	次期都市マスの方向性	(参考) 新たな視点
●魅力ある商店街づくり	<ul style="list-style-type: none"> 商店街活性化推進事業補助金事業により、商店街や商店会等に対して支援を行った。 	南北駅前地区周辺の回遊性を高め、中心商業地の活性化を推進	<p>【市】第5次前期基本計画（素案）：施策10「産業・観光の振興」</p>
●新しい産業の創出	<ul style="list-style-type: none"> 東小金井事業創造センターを整備した。 農工大・多摩小金井ベンチャーポートの入居者支援を行い、ベンチャー企業育成に取り組んだ。 	商店会や事業者が自発的に取り組む活動の支援及び賑わいの創出	<p>【市】小金井市産業振興プラン：「地域資源の活用」と「滞在（時間消費）型サービスの普及」による産業の高付加価値化</p> <p>【市】第5次前期基本計画（素案）：施策10「産業・観光の振興」</p>
●「農」を活かしたまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> JA、農家、教育委員会で意見交換の場を設け、学校給食の利用拡大を図った。 江戸東京野菜を用いたまちおこし事業（野菜生産者と市内飲食店の連携や料理教室、食事会等のPR活動）を実施した。 農業祭での市内農産物PR及び販売を実施した。 	市内農産物の学校給食への利用拡大を推進すると共に、農業体験や環境・防災機能等、多面的な利用が可能な空間として適切に保全	<p>【都】都市づくりのグランドデザイン：政策25・取組1「農地を保全し、次世代に引き継ぐ」、政策25・取組3「都市の魅力を向上する農空間を生み出す」</p> <p>【市】第5次前期基本計画（素案）：政策11「都市農業の振興」</p>

方針3-3 活力を生むコミュニケーションの場づくり

施策	達成状況	次期都市マスの方向性	(参考) 新たな視点
●交流人口の増加をめざしたまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> JR中央本線連続立体交差事業を実施し、高架下に駐車場や東小金井事業創造センターを設置した。 武蔵小金井駅南口市街地再開発事業（R2年度事業完了予定）及び東小金井駅北口土地区画整理事業（R8年度事業完了予定）を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 全ての利用者に優しく、分かりやすい駅及び周辺地域の質的向上 JR中央本線連続立体交差事業で生み出された高架下等の空間を活用し、子育て支援、にぎわい、産業振興、防災等、様々な機能の誘導 	<p>【都】都市づくりのグランドデザインにおける政策8・取組2「まちの中心となる誰もが使いやすい交通結節点をつくる」</p> <p>【市】第5次前期基本計画（素案）における政策4「市街地の整備」</p>
●ネットワーク（活動、情報、道路など）を活かしたまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> JR中央本線連続立体交差事業に伴い、南北交差道路及び側道を整備した。 	都市活動の利便性や安全性が向上するための情報都市空間の構築	<p>【都】都市づくりのグランドデザインにおける政策10・取組2「ICTを活用し交通誘導や災害対策、インフラ管理を行う」</p>

「自立（律）と活力にみちたまちづくり」を実現するための都市構造

施策		達成状況	次期都市マスの方向性	(参考) 新たな視点
●拠点地区の創出…都市活動の核として	●総合拠点	<ul style="list-style-type: none"> 武蔵小金井駅南口市街地再開発事業（R2 年度事業完了予定）に伴い、地区計画や高度利用地区でまちづくりを誘導するとともに、多世代に対応した都市型住宅の整備を図った。 	商業・業務等の幅広いサービス及び良好な都市型住宅が充実し、地域の魅力を向上させる拠点の形成	<p>【都】都市づくりのグランドデザイン：政策 3・取組 1「個性」に着目した地域づくりを進める」、政策 21・取組 2「公共交通の結節の度合いに応じた拠点をつくる」</p> <p>【市】第 5 次前期基本計画（素案）：政策 4「市街地の整備」</p>
	●副次拠点	<ul style="list-style-type: none"> 駅前交通広場へのバスシェルター設置や東小金井駅北口まちづくり協議会を設立し協議を進める等、東小金井駅北口土地区画整理事業（R8 年度事業完了予定）を推進した。 公共施設の整備改善による健全な市街地形成を推進した。 	総合拠点を補完・連携する拠点として、東小金井駅北口土地区画整理事業を推進	<p>【都】都市づくりのグランドデザイン：政策 3・取組 1「個性」に着目した地域づくりを進める」、政策 21・取組 2「公共交通の結節の度合いに応じた拠点をつくる」</p> <p>【市】第 5 次前期基本計画（素案）：政策 4「市街地の整備」</p>
	●新たなまちおこしの拠点	<ul style="list-style-type: none"> 新庁舎等建設に関する検討を行った。 新庁舎建設予定地の用途変更の検討しているものの、市の土地を自らの有効活用のための用途変更は市民の理解を得ることが難しい。 	公共サービスの提供、防災、環境等の新たな総合拠点	<p>【市】新庁舎建設基本計画及び（仮称）新福祉会館基本計画の基本理念</p> <p>【市】第 5 次前期基本計画（素案）：政策 29「計画的な行財政運営」</p>
●都市軸…都市機能の集積と連携による活力増強	●広域連携軸	<ul style="list-style-type: none"> 五日市街道の沿道の一部を第一種中高層住居専用地域に、東八道路の沿道を第一種住居地域に、新小金井街道の沿道を第一種住居地域、近隣商業地域に指定し、都市機能の誘導を図った。 	沿道立地型の商業施設やサービス施設を中心とした都市機能の誘導	—
	●都市活動軸	<ul style="list-style-type: none"> 小金井街道、北大通り、連雀通り、東大通りの沿道について、第二種中高層住居専用地域、第一種住居地域、近隣商業地域、商業地域に指定し、都市機能を誘導した。 小金井街道の拡幅整備と併せた街路樹、インターロッキングブロック舗装の整備を実施・検討した。 南北交差道路を整備したことで、混雑が緩和された。 	商業・業務、生活関連サービス施設及び都市型住宅施設を中心とした都市機能の誘導	—
	●にぎわいと交流を誘導するゾーン	<ul style="list-style-type: none"> 商店街活性化推進事業補助金事業により、商店街や商店会等に対して支援を行っているが、企業立地促進施策については現状実施していない。 武蔵小金井駅南口市街地再開発事業（R2 年度事業完了予定）及び東小金井駅北口土地区画整理事業（R8 年度事業完了予定）を実施した。 	交流人口の増加や都市型住宅の整備によるにぎわいと交流が盛んなまちづくりの推進	—

土地利用

土地利用の基本的な考え方

施策	達成状況	次期都市マスの方向性	(参考) 新たな視点
●土地の有効利用	<ul style="list-style-type: none"> 小金井街道、北大通り、連雀通りの沿道について、第一種・第二種中高層住居専用地域、第一種住居地域、近隣商業地域、商業地域に指定し、土地利用を誘導した。 武蔵小金井駅南口市街地再開発事業（R2年度事業完了予定）及び東小金井駅北口土地区画整理事業（R8年度事業完了予定）を推進した。 公共施設の整備改善による健全な市街地形成を推進した。 	駅周辺や沿道沿いにおいて、都市機能の更新と土地の高度利用等の有効利用を推進	【都】 都市づくりのグランドデザイン：政策 21「メリハリのある市街地を形成する」 【市】 第5次前期基本計画（素案）：政策 4「市街地の整備」
●みどりあふれる都市環境の形成	<ul style="list-style-type: none"> 東京都と連携し、都立公園や滄浪泉園、野川の維持管理に努めた。 	都立公園や国分寺崖線（はげ）の保全や、野川周辺の生態系再生等を通じた多様な動植物の生存環境の確保の推進	【都】 都市づくりのグランドデザイン：政策 24・取組 1「貴重な緑を守り、活発な都市活動と豊かな生態系を両立する」 【市】 第5次前期基本計画（素案）：政策 1「みどりと水の環境整備」
●農のあるまちづくり…農地の保全と活用	<ul style="list-style-type: none"> 都市農地保全支援プロジェクトを活用し、農地整備への支援や防災兼用農業用井戸を5箇所設置した。 学校農業体験収穫事業について、市内小学校を対象に収穫体験を実施した。 市民農園を4園設置した。市民農園については、農業振興計画に基づき計画的に増設を図っている。 市街化区域内農地の保全や生産緑地の指定面積の緩和等、あるべき緑として農地を保全した。 	農業体験や環境・防災機能等、多面的な利用が可能な空間として適切に保全	【都】 都市づくりのグランドデザイン：政策 25・取組 1「農地を保全し、次世代に引き継ぐ」、政策 25・取組 3「都市の魅力を向上する農空間を生み出す」 【市】 第5次前期基本計画（素案）：政策 11「都市農業の振興」

土地利用の誘導方針

施策	達成状況	次期都市マスの方向性	(参考) 新たな視点	
●住宅系	●低密度住宅地	低密度住宅地について、第一種低層住居専用地域を指定し、戸建て住宅地を誘導した。	宅地内の緑化を推進し、ゆとりと潤いのある居住空間をめざした戸建て住宅地の誘導	—
	●中密度住宅地	<ul style="list-style-type: none"> 中密度住宅地について、第一種中高層住居専用地域、第一種住居地域に指定するとともに、第一種高度利用地区を指定し、中高層建築物を誘導した。 一部都市計画道路沿道については、土地利用を誘導できていない。 	建築物の高さや配置等の規制誘導により、戸建て住宅とマンション等の都市型住宅が調和した住宅地の誘導	—
	●大規模団地	<ul style="list-style-type: none"> 建て替え時期に来ている本町住宅において地区計画策定の手続きを進めた。 	建て替えに際して、地区計画により宅地内の緑化推進を図り、地域の特性を活かした魅力ある新たな団地へと誘導	【都】 都市づくりのグランドデザイン：政策 19・取組 1「長期間使用できる住宅ストックを形成する」
●商業系	●商業・業務地	<ul style="list-style-type: none"> 武蔵小金井駅南口市街地再開発事業（R2年度事業完了予定）を実施した。 東小金井駅北口土地区画整理事業（R8年度事業完了予定）に伴う地区計画により、まちづくりを誘導した。 	商業・業務等の幅広いサービス及び良好な都市型住宅が充実し、地域の魅力を向上させる拠点の形成	【都】 都市づくりのグランドデザイン：政策 3・取組 1「個性」に着目した地域づくりを進める」、政策 21・取組 2「公共交通の結節の度合いに応じた拠点をつくる」 【市】 第5次前期基本計画（素案）：政策 4「市街地の整備」
	●地域中心拠点	<ul style="list-style-type: none"> 新小金井駅において、バリアフリー化を実施した。 予算の範囲内で市道のバリアフリー化を実施した。 	身近な生活の中心地で必要なサービスが整う拠点の形成	【都】 都市づくりのグランドデザイン：政策 3・取組 1「個性」に着目した地域づくりを進める」、政策 21・取組 2「公共交通の結節の度合いに応じた拠点をつくる」 【市】 第5次前期基本計画（素案）：政策 4「市街地の整備」
●複合系	●住商複合地	<ul style="list-style-type: none"> 住商複合地について、第一種中高層住居専用地域、第一種住居地域を指定し、日常的な商業、業務、サービス施設と都市型住宅が調和する市街地を誘導している。 一部都市計画道路沿道については、土地利用を誘導できていない。 	商業・業務、生活関連サービス施設及び都市型住宅施設を中心とした都市機能の誘導	—
	●沿道利用地	<ul style="list-style-type: none"> 沿道利用地については、第一種中高層住居専用地域、第一種住居地域を指定し、自動車利用の利便性を生かした広域的な商業、業務サービス施設を中心とした土地利用を誘導している。 	沿道立地型の商業施設やサービス施設を中心とした都市機能の誘導	—

交通と道路整備

都市交通体系の基本的な考え方

施策	達成状況	次期都市マスの方向性	(参考) 新たな視点
●総合交通体系の構築	<ul style="list-style-type: none"> 既存路線の現状及び課題等を踏まえた CoCo バス再編事業に着手し、基本方針を策定の上、総合的な見直しを進めている。 	将来を見据えた持続可能な運行サービスの提供	【市】第5次前期基本計画（素案）：政策7「交通環境の整備」
●都市構造を支える幹線道路の整備	<ul style="list-style-type: none"> 広域幹線道路の整備推進を要望した。 幹線道路の整備を実施した。 	都市計画道路の整備推進	【都】都市づくりのグランドデザイン：政策5・取組1「道路ネットワークの形成により経路選択の自由度を高める」 【都】多摩部19都市計画 整備、開発及び保全の方針：「都市施設の整備に関する主要な都市計画の決定の方針」 【市】第5次前期基本計画（素案）：政策6「都市インフラの整備」
●安全で快適な人にやさしい交通環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> 南北交差道路を整備した。 CoCo バス車両をノンステップバスへ入替を行った。 既存バス路線の現状及び課題等を踏まえた CoCo バス再編事業に着手し、基本方針を策定の上、総合的な見直しを進めている。 自転車走行空間の整備手法について検証・整備した。 自転車走行空間については、警視庁とナビマーク、ナビレーンを協議した。 自転車駐車場整備及び放置自転車対策を実施した。 自転車撤去手数料改定を行った。 店舗開発時において自転車駐車場の設置を指導した。 	安全でゆとりのある人にやさしい交通環境の整備	【都】都市づくりのグランドデザイン：に政策2・取組2「区内道路をゆとりやにぎわいの場として活用する」 【市】第5次前期基本計画（素案）：政策6「都市インフラの整備」、政策7「交通環境の整備」
●生活に身近な公共交通機関の利用促進	<ul style="list-style-type: none"> 駅前交通広場の整備を実施した。（武蔵小金井駅北口と東小金井駅南口は未整備） 東小金井駅北口土地区画整理事業（R8年度事業完了予定）により、交通広場や都市計画道路等の公共施設を整備した。 交通結節点である駅周辺について自転車駐車場を整備した。 CoCo バス全路線共通回数券を導入した。 CoCo バス間の乗継ぎを考慮したダイヤ改正を行った。 CoCo バス・ミニの朝のバス便数を増便した。 	地域の交通の要となる使いやすい駅前空間の確保と、駅周辺の空間に地域に必要な都市機能を導入	【都】都市づくりのグランドデザイン：政策8・取組2「まちの中心となる誰もが使いやすい交通結節点をつくる」 【市】第5次前期基本計画（素案）：政策7「交通環境の整備」

道路の段階構成と整備方針

施策	達成状況	次期都市マスの方向性	(参考) 新たな視点
●広域幹線道路の整備方針	<ul style="list-style-type: none"> 東京都に広域幹線道路の整備推進を要望した。 	東京都に整備推進を要望	—
●幹線道路の整備方針	●整備に当たって	東京都と連携して、道路整備を計画的に推進	—
	●国分寺崖線（はげ）の保全	東京都と連携して、道路整備を計画的に推進	—
	●連雀通りの現道を幹線道路として活用	当面連雀通りの現道を活用	—
	●新たな都市計画道路の延伸整備	—	—
●主要生活道路の整備方針	<ul style="list-style-type: none"> 南北交差道路を整備した。 	生活道路の整備・改善を推進	【市】第5次前期基本計画（素案）：政策7「交通環境の整備」
●歩行者・自転車空間の整備方針	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画道路の拡幅整備及び街路樹の植樹をした。 JR中央本線まちづくり側道について、植樹ますのスペースを確保した。 都市計画道路の拡幅整備に併せて自転車走行空間を検討した。 	都市計画道路等の整備に併せた歩行者・自転車空間の整備の推進	【市】第5次前期基本計画（素案）：政策6「都市インフラの整備」

主な施策の展開

施策	達成状況	次期都市マスの方向性	(参考) 新たな視点
隣接都市との連携による国分寺崖線（はげ）の保全と都市緑地化	<ul style="list-style-type: none"> 野川流域環境保全協議会へ参加し、自然林や国分寺崖線（はげ）を保全と緑地保全地域の公共緑地の維持・保全に努めた。 	隣接都市との連携による国分寺崖線（はげ）及び都市緑地の保全	【都】都市づくりのグランドデザイン：政策 24・取組 1「貴重な緑を守り、活発な都市活動と豊かな生態系を両立する」
安定的なごみ処理体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> 平成 27 年度に 3 市（日野市、国分寺市、小金井市）で浅川清流環境組合を設立し、令和 2 年度から新可燃ごみ処理施設が本格稼働した。 不燃・粗大ごみ及び資源物の処理施設等について清掃関連施設整備基本計画を策定し、平成 30 年度から清掃関連施設整備事業に着手した。 	中間処理場に、缶、ペットボトル、びん、プラスチックごみの資源物処理施設の整備	【市】清掃関連施設整備基本計画に基づく、保管施設や中間処理場の建設 【市】第 5 次前期基本計画（素案）：政策 2「循環型社会の形成」
建築物の屋上緑化、壁面緑化及び雨水浸透ますなど環境共生建築物の普及	<ul style="list-style-type: none"> 雨水タンクの取り付けや雨水浸透ます等の設置への助成・補助を実施したものの、実績額が少ない年度があった。 	雨水浸透ますの設置等、環境共生建築物普及の促進	—
クリーンエネルギーやコ・ジェネレーションシステムの導入などによる地球温暖化対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> 住宅用新エネルギー機器等補助金の対象機器をニーズに合わせ更新してきたが、申請件数は減少傾向にある。 	地球温暖化対策のための設備設置の推進	【市】第 5 次前期基本計画（素案）：政策 3「環境保全の推進」
J R 中央本線関連側道及び南北交差道路の整備	<ul style="list-style-type: none"> J R 中央線連続立体交差事業に伴い、側道の新設及び南北交差道路の整備を実施した。 	南北交差道路整備の推進	【市】第 5 次前期基本計画（素案）：政策 6「都市インフラの整備」
日常生活圏単位での自主防災組織の育成	<ul style="list-style-type: none"> 自主防災組織の結成促進及び補助金の交付、資器材の貸与を実施した。 	自主防災組織の強化	【市】地域防災計画（改定）「地域防災力の強化」 【市】第 5 次前期基本計画（素案）：政策 8「防災体制の整備」
延焼遮断帯としての都市計画道路の整備や、避難道路、避難場所及び耐震性貯水槽の整備	<ul style="list-style-type: none"> 帰宅困難者向け一時滞在施設 3 箇所、福祉避難所を 14 箇所指定した。 耐震性貯水槽について、23 箇所の水利指定を行った。 	延焼遮断帯としての都市計画道路の整備平時にも利用可能とする、身近な避難場所や避難道路の整備の推進	【都】防災都市づくり推進計画：基本方針「農地を有し、防災性の維持・向上を図るべき地域」 【都】多摩部 19 都市計画 整備、開発及び保全の方針：都市防災に関する主要な都市計画の決定の方針 【市】地域防災計画（改定）「地震に強い都市づくり」「安全な交通ネットワーク及びライフライン等の確保」
中心市街地や公共公益施設におけるバリアフリーの促進	<ul style="list-style-type: none"> バリアフリーのまちづくり基本構想の進捗状況の管理を行ったが、一部事業者からの協力が得られていない。 都市計画道路の拡幅整備に併せてバリアフリー化（歩道の段差解消等）を実施した。 予算の範囲内で市道のバリアフリー化を実施した。 	公共施設等や都市計画道路の拡幅整備に併せたバリアフリー化の推進	【都】都市づくりのグランドデザイン：政策 18・取組 2「高齢者や障害者が安心していきいき暮らせる環境をつくる」

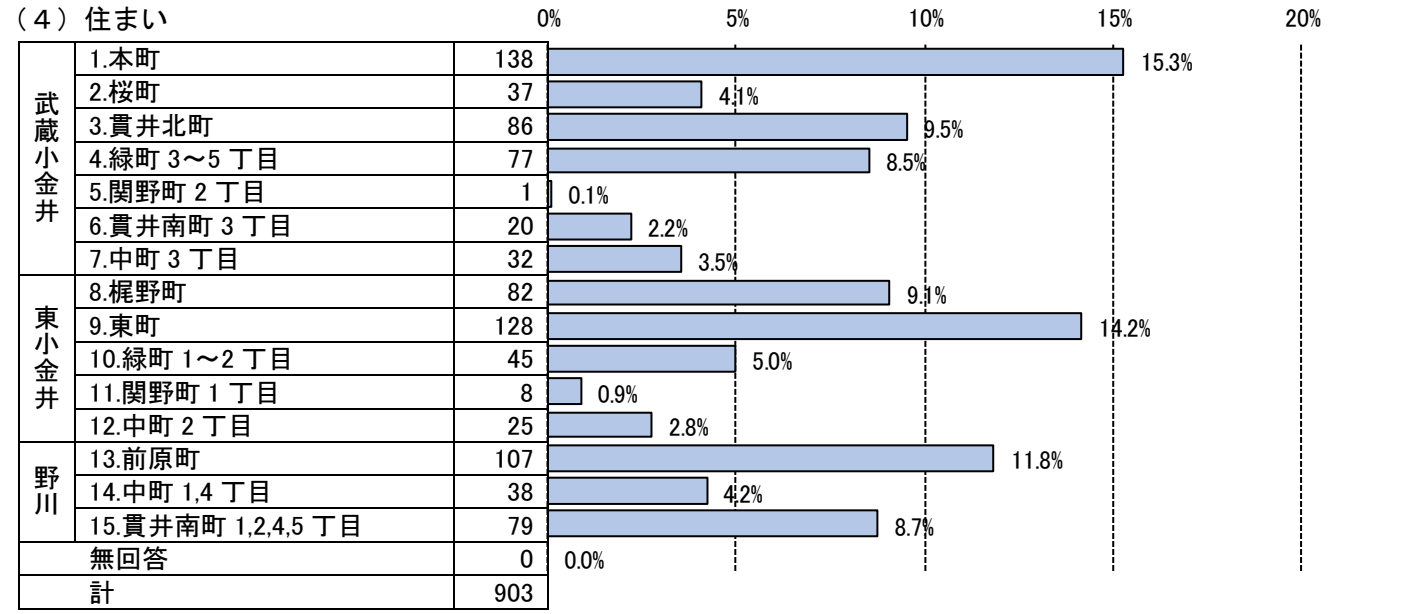
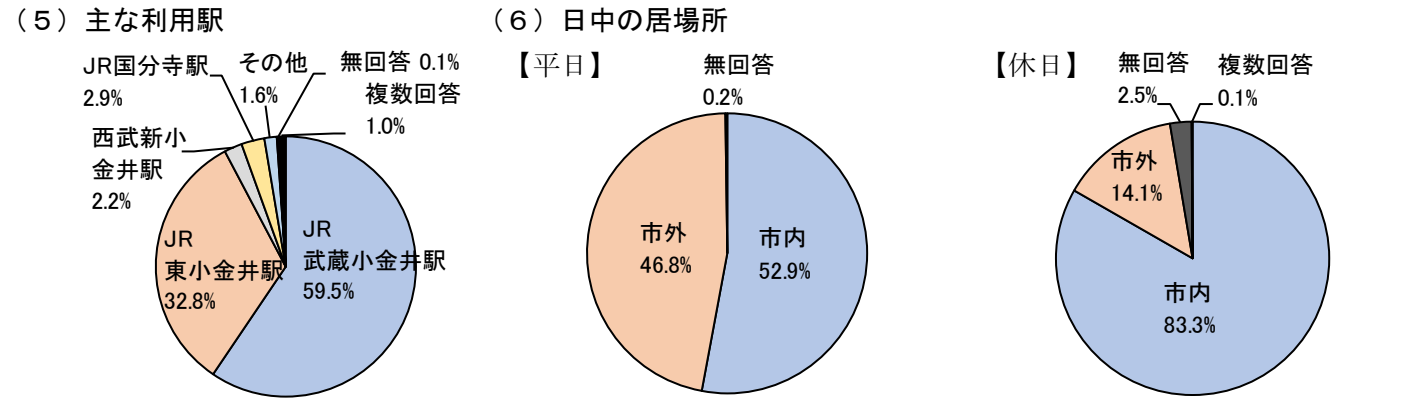
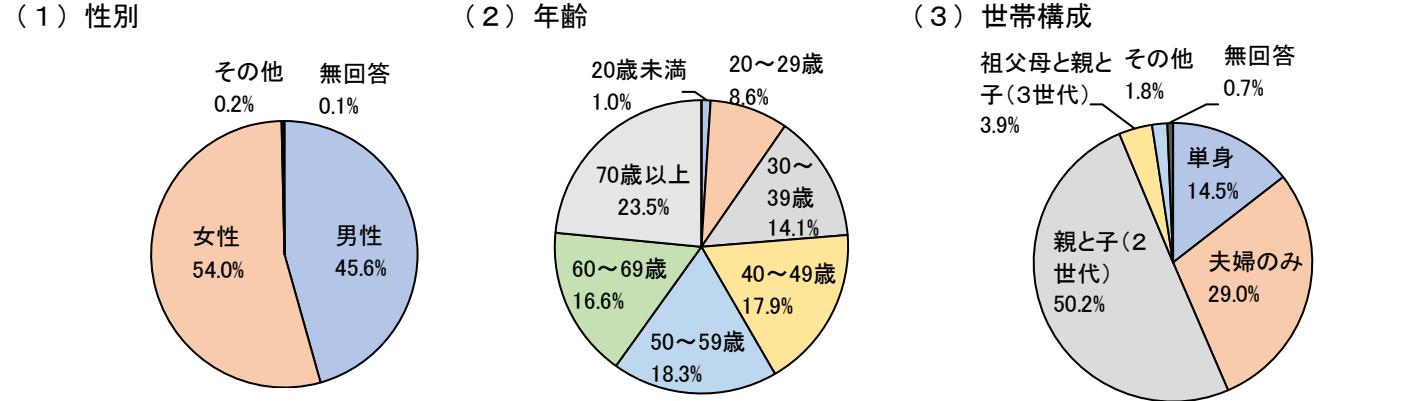
施策	達成状況	次期都市マスの方向性	(参考) 新たな視点
J R 中央本線高架下利用による駐輪場、レンタサイクル、SOHO、(仮称) 市政センターの整備	<ul style="list-style-type: none"> 福祉会館の閉鎖に伴う福祉共同作業所の仮移転先として(仮称) 東小金井市政センター建設予定地を活用した。 東小金井事業創造センターを開設した。 JR 中央本線高架下に自転車駐車を整備した。 民間事業者の運営によるレンタサイクルが運用開始された。 	<ul style="list-style-type: none"> (仮称) 東小金井市政センター建設予定地の活用に向けた検討 自転車駐車の整備等、高架下空間の有効活用 	—
幹線道路の歩行者道・自転車走行空間の整備	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画道路の拡幅整備及び街路樹の植樹をした。 東京都と警視庁により、自転車ナビマーク、ナビライン、自転車専用通行帯等を整備した。 市独自での自転車専用通行帯等は、今後検討していく予定である。 	安全でゆとりのある自転車走行空間の検討・整備	【市】 第5次前期基本計画(素案)：政策7「交通環境の整備」
市民のふれあいの場などコミュニティ拠点の整備	<ul style="list-style-type: none"> 武蔵小金井駅南口市街地再開発地区におけるコミュニティ広場を整備した。 	地域のニーズに応じた地域のコミュニティ活動、交流を支援するコミュニティ拠点の整備	【市】 第5次前期基本計画(素案)：政策4「市街地の整備」
環境美化サポーター制度など市民協働の取組	<ul style="list-style-type: none"> 環境美化活動に必要な活動及び用具類の支給等によるサポーターへの支援を実施した。 	市民協働によるまちづくりの推進	—
SOHO・ベンチャー事務所の整備等、NPOなど活動拠点の整備及び大学や研究機関の立地を活かした産学連携の支援	<ul style="list-style-type: none"> 東小金井事業創造センターを整備した。 農工大・多摩小金井ベンチャーポートの入居者支援を実施した。 	東小金井事業創造センターの産学連携やベンチャー拠点、新たな働き方の場としての活用推進	【都】 都市づくりのグランドデザイン：政策22・取組1「複合的な土地利用でにぎわいと交流を創出する」
商店街活性化イベントや空き店舗の管理・活用等のための産業振興用ポータルサイトの立ち上げ	<ul style="list-style-type: none"> 観光まちおこし協会へ補助金交付等の支援を実施しているが、空き店舗活用を目的としたサイトの立上げは行っていない。 	—	—
駅前拠点地区でのにぎわい、交流のための広場整備	<ul style="list-style-type: none"> 武蔵小金井駅南口市街地再開発事業(R2年度事業完了予定)を実施し、交通広場とコミュニティ広場を整備した。 	商業・業務等の幅広いサービス及び良好な都市型住宅が充実し、地域の魅力を向上させる拠点の形成	【都】 都市づくりのグランドデザイン：政策21・取組2「公共交通の結節の度合いに応じた拠点をつくる」 【市】 第5次前期基本計画(素案)：政策4「市街地の整備」
駅前拠点地区の機能更新を図るための、計画的なまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> 武蔵小金井駅南口では、市街地再開発事業に伴い、地区計画や高度利用地区によるまちづくりを誘導した。 東小金井駅北口では、土地区画整理事業にともない、地区計画によるまちづくりを誘導した。 	東小金井駅北口土地区画整理事業による都市機能更新	【都】 都市づくりのグランドデザイン：政策21・取組2「公共交通の結節の度合いに応じた拠点をつくる」 【市】 第5次前期基本計画(素案)：政策4「市街地の整備」

「小金井市都市計画マスタープラン」見直しのためのアンケート 調査結果

1. アンケート調査概要

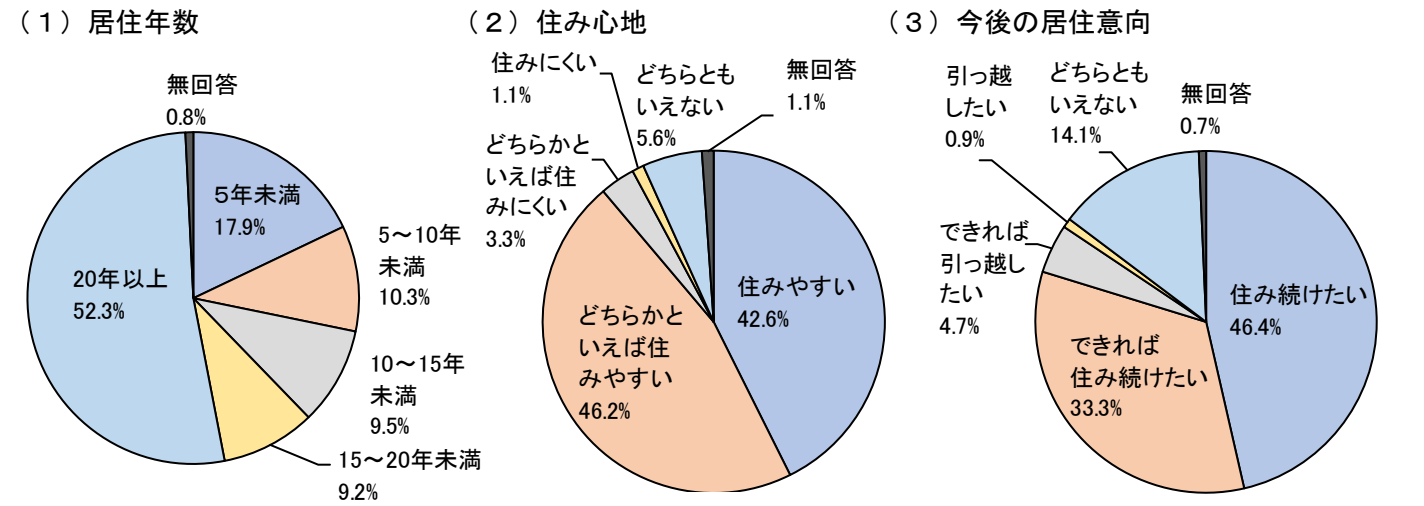
○調査対象：令和2年2月1日現在、満18歳以上の小金井市民から無作為に抽出した3,000人（外国人含む）
 ○調査方法：郵送配布・郵送回収方式
 ○調査期間：令和2年2月26日～令和2年3月19日
 ○調査状況：有効回収数903件（回収率30.1%）
 注）小数点以下第2位を四捨五入しているため、グラフの合計値が100%にならないことがある。

2. 回答者属性（問1）



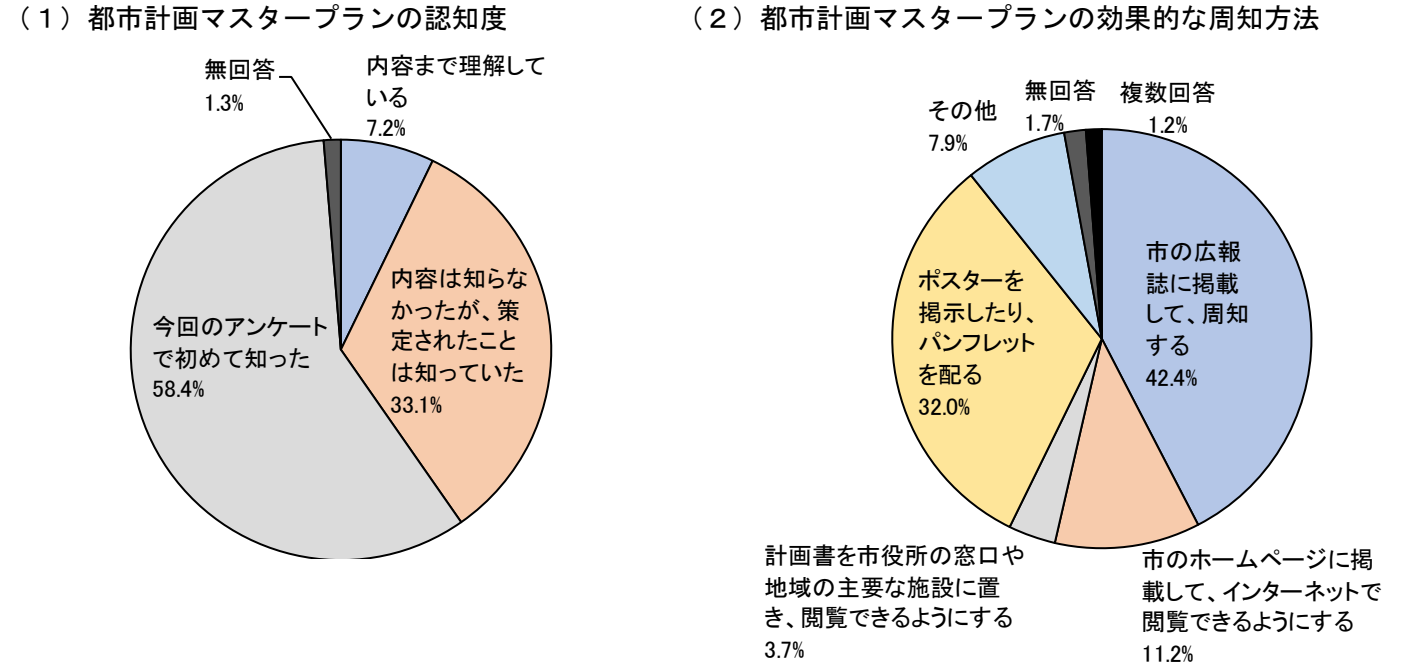
3. 小金井市での暮らし（問2）

・居住年数は、「20年以上」が52.3%と最も高い。
 ・「住みやすい」、「どちらかといえば住みやすい」の合計は88.8%で、「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」の合計は4.4%である。
 ・「住み続けたい」、「できれば住み続けたい」の合計は79.7%で、「引っ越したい」、「できれば引っ越したい」の合計は5.6%である。



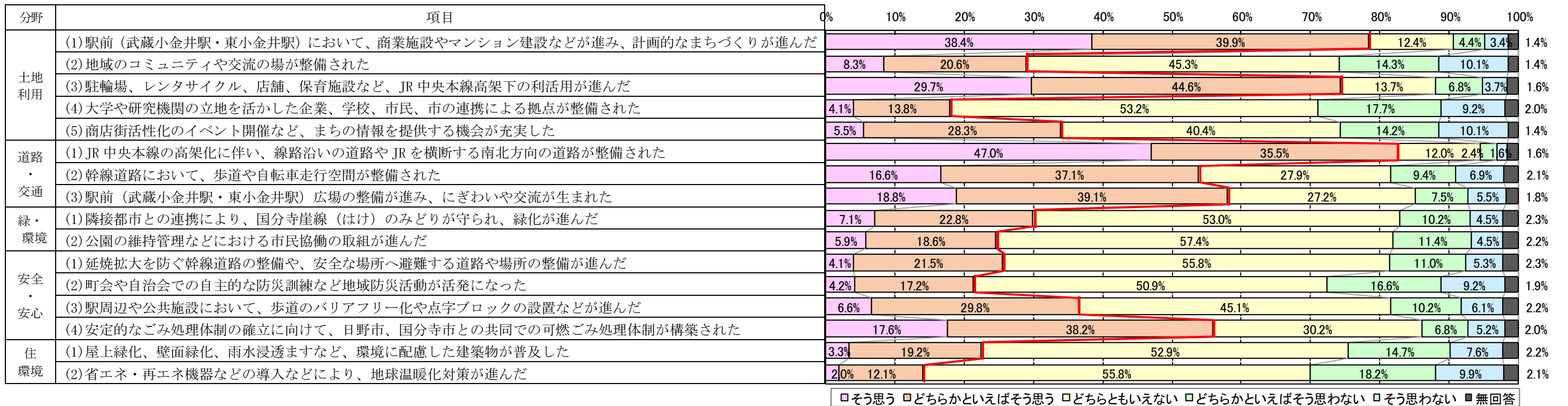
4. 都市計画マスタープランの認知度（問3）

・都市計画マスタープランの認知度については、「今回のアンケートで初めて知った」が58.4%と最も多く、次いで「内容は知らなかったが、策定されたことは知っていた」となっている。
 ・都市計画マスタープランの効果的な周知方法については、「市の広報誌に掲載して、周知する」が42.4%と最も多く、次いで「ポスターを掲示したり、パンフレットを配る」が32.0%となっている。
 ・都市計画マスタープランの効果的な周知方法の「その他」については、「SNS (Facebook、Twitter等) の活用」や「選択肢を複合的に（全部）実行するとよい」等が多く挙げられた。



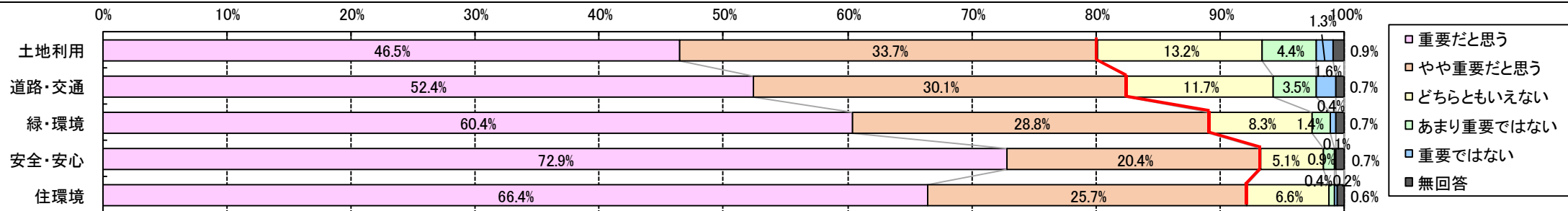
5. 平成22年（10年前）と現在の比較（問4）

- ・「土地利用」では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計でみると、「(1) 駅前（武蔵小金井駅・東小金井駅）において、商業施設やマンション建設などが進み、計画的なまちづくりが進んだ」「(3) 駐輪場、レンタサイクル、店舗、保育施設など、JR中央本線高架下の利活用が進んだ」が7割以上となっている。
- ・「道路・交通」では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計でみると、「(1) JR中央本線の高架化に伴い、線路沿いの道路やJRを横断する南北方向の道路が整備された」は8割以上となっている。
- ・「緑・環境」では、「(1) 隣接都市との連携により、国分寺崖線（はげ）のみどりが守られ、緑化が進んだ」「(2) 公園の維持管理などにおける市民協働の取組が進んだ」のいずれも、「どちらともいえない」が5割以上となっている。
- ・「安全・安心」では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計でみると、「(4) 安定的なごみ処理体制の確立に向けて、日野市、国分寺市との共同での可燃ごみ処理体制が構築された」が5割以上となっているが、他の項目は、いずれも「どちらともいえない」が約5割となっている。
- ・「住環境」では、「(1) 屋上緑化、壁面緑化、雨水浸透ますなど、環境に配慮した建築物が普及した」「(2) 省エネ・再エネ機器などの導入などにより、地球温暖化対策が進んだ」のいずれも、「どちらともいえない」が5割以上となっている。



6. 分野ごとの重要度（問5）

- ・「重要だと思う」、「やや重要だと思う」の合計でみると、「安全・安心」が93.3%と最も高く、次いで「住環境」が92.1%、「緑・環境」が89.2%となっている。
- ・「道路・交通」、「土地利用」も、「重要だと思う」、「やや重要だと思う」の合計が8割以上となっている。

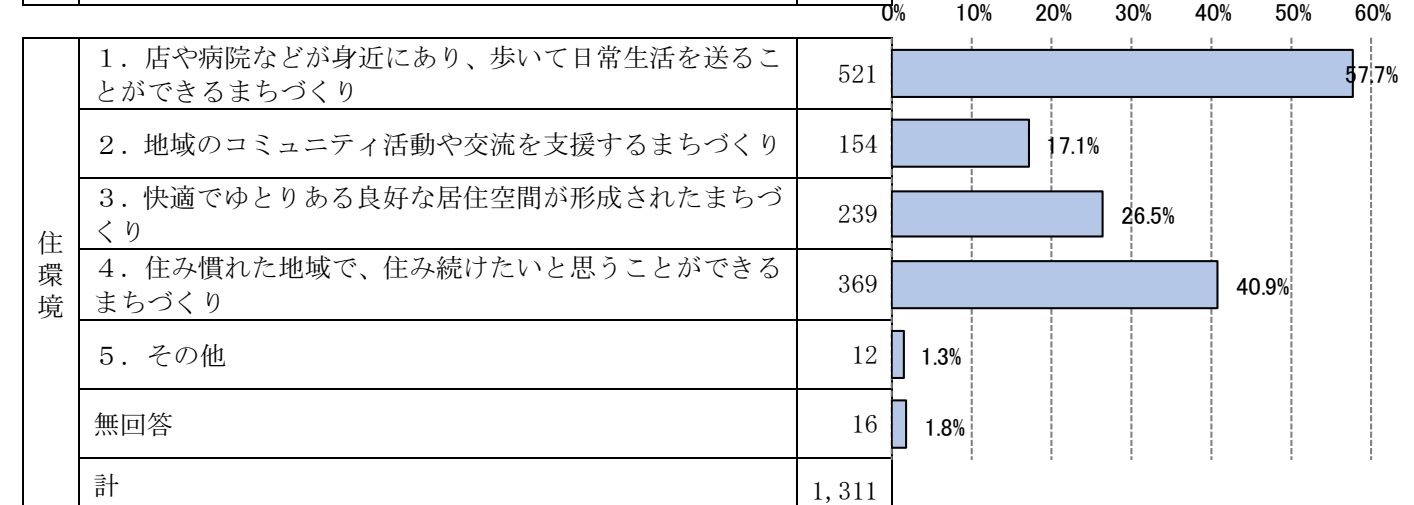
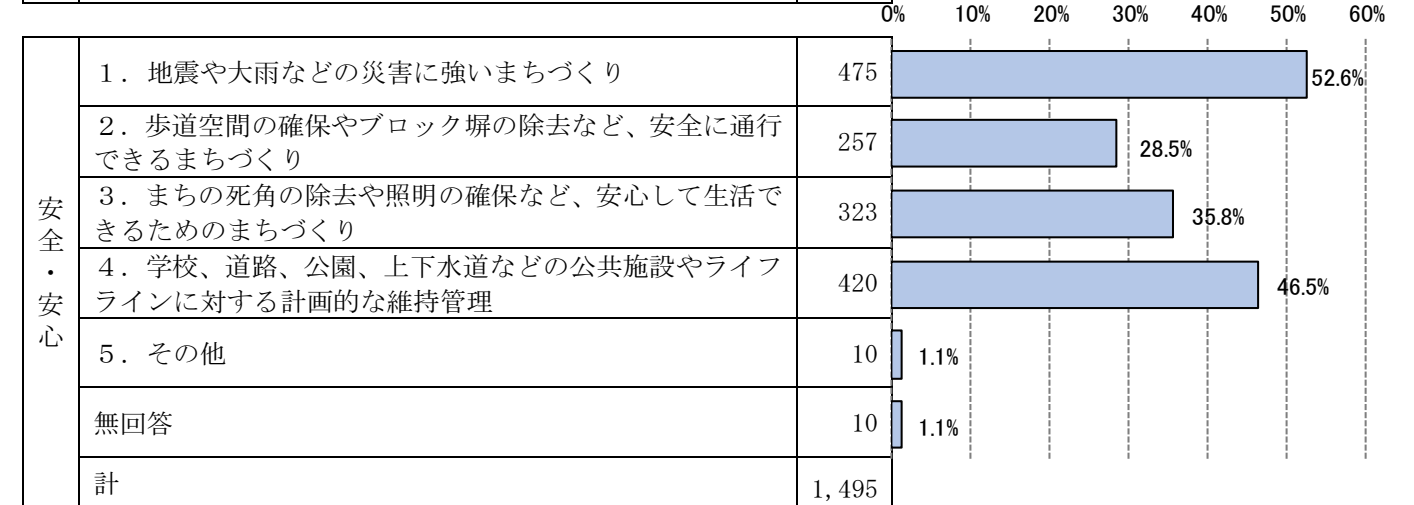
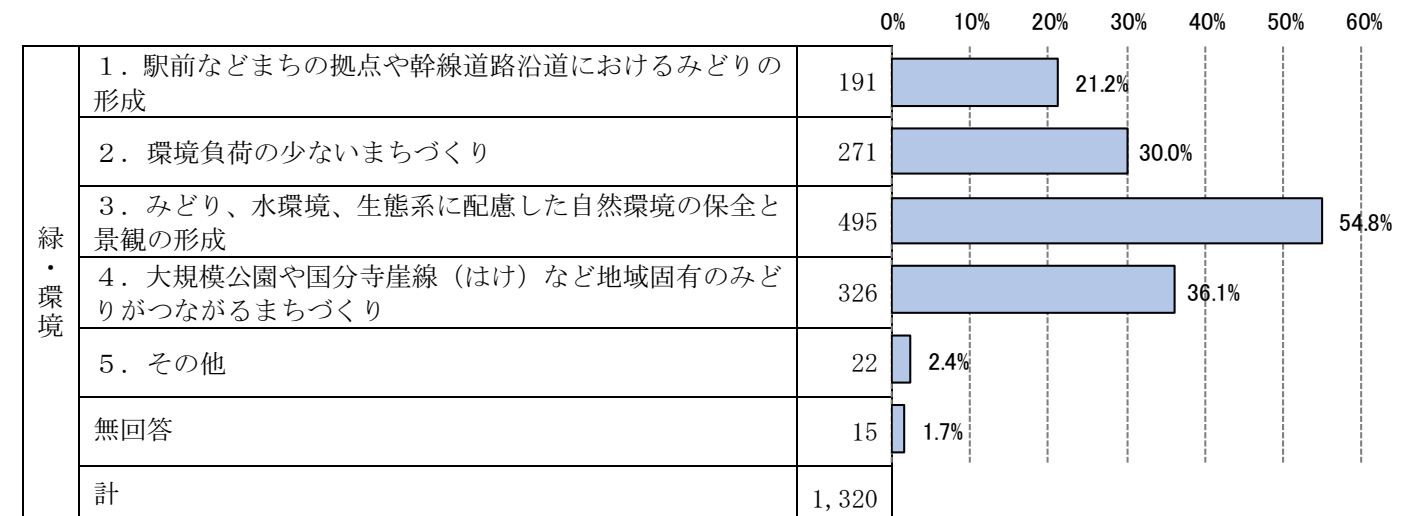
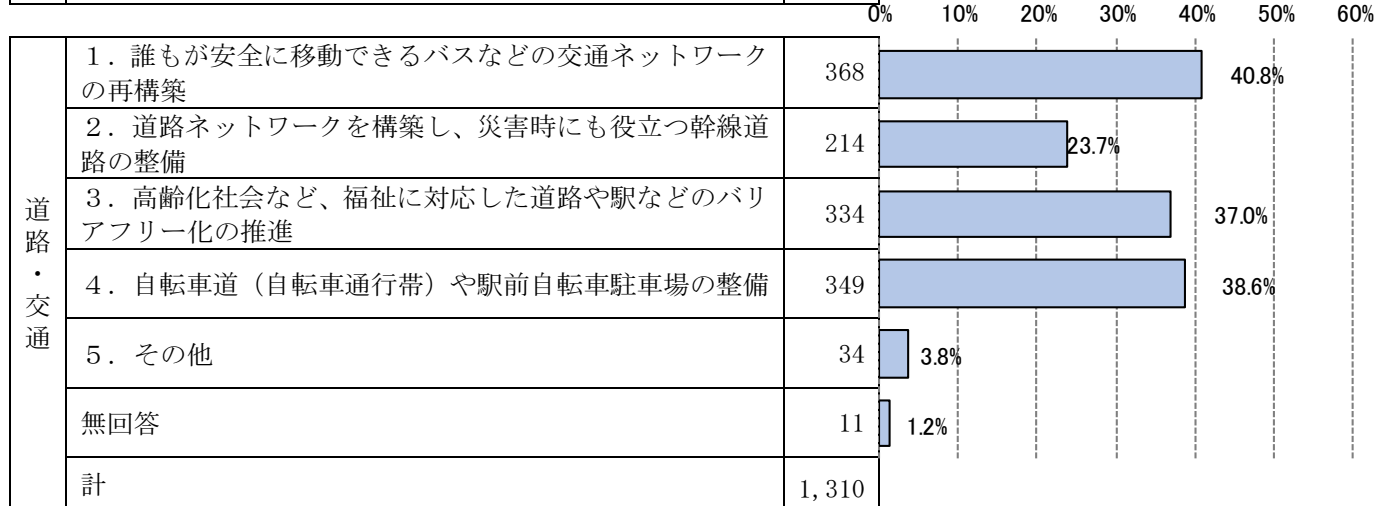
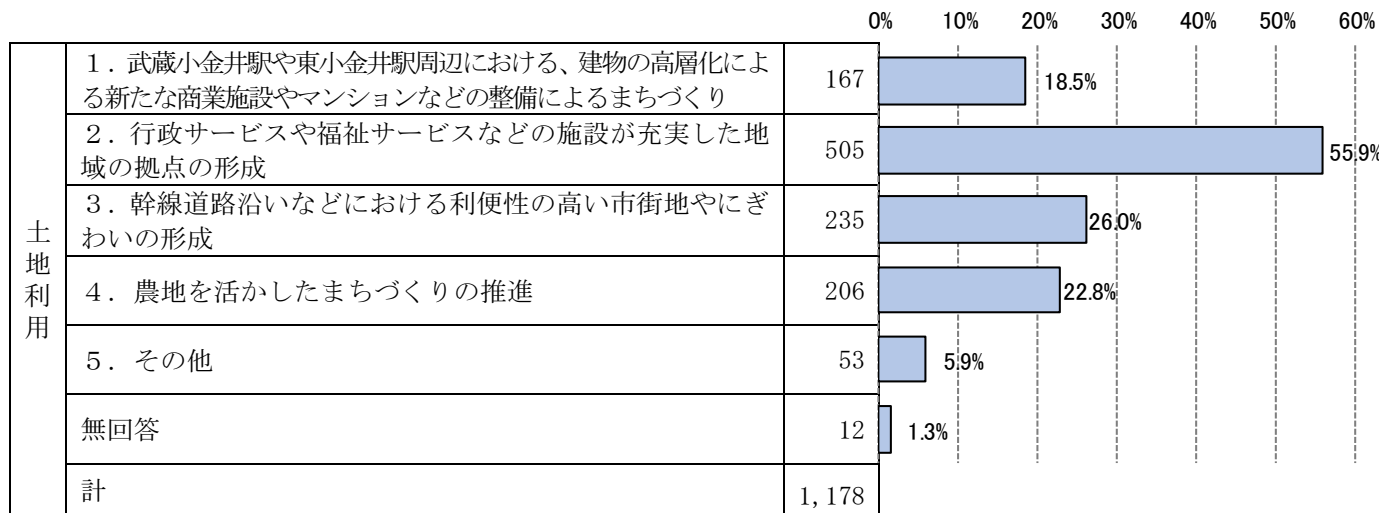


【自由記述】

5分野以外に「今後のまちづくりにおいて重要と思う分野」	意見
「土地利用」に関する意見	・ごみ関連施策 ・武蔵小金井駅北口の再開発 ・公共施設の充実、有効活用 ・小金井市らしいまちづくり、開発を希望 ・教育の観点 ・高層マンション・商業施設の抑制
「道路・交通」に関する意見	・自転車関連施策 ・公共交通の充実 ・道路の整備・拡幅
「緑・環境」に関する意見	・みどり、自然の保全・活用 ・農地（生産緑地等）の保全 ・公園の整備
「安全・安心」に関する意見	・防災体制の強化 ・防犯性の高いまちづくり ・安全・安心に暮らせるまち（特に子供・高齢者）
「住環境」に関する意見	・子育て世代への対応 ・子供が遊べる・暮らしやすいまち ・高齢者が住みやすい環境・サービス

7. 分野ごとに望むこと（問6）

- ・「土地利用」では、「2. 行政サービスや福祉サービスなどの施設が充実した地域の拠点の形成」が55.9%で最も多く、次いで「3. 幹線道路沿いなどにおける利便性の高い市街地やにぎわいの形成」が26.0%、「4. 農地を活かしたまちづくりの推進」が22.8%となっている。
- ・「道路・交通」では、「1. 誰もが安全に移動できるバスなどの交通ネットワークの再構築」が40.8%で最も多く、次いで「4. 自転車道（自転車通行帯）や駅前自転車駐車場の整備」が38.6%、「3. 高齢化社会など、福祉に対応した道路や駅などのバリアフリー化の推進」が37.0%となっている。
- ・「緑・環境」では、「3. みどり、水環境、生態系に配慮した自然環境の保全と景観の形成」が54.8%で最も多く、次いで「4. 大規模公園や国分寺崖線（はけ）など地域固有のみどりにつながるまちづくり」が36.1%、「2. 環境負荷の少ないまちづくり」が30.0%となっている。
- ・「安全・安心」では、「1. 地震や大雨などの災害に強いまちづくり」が52.6%で最も多く、次いで「4. 学校、道路、公園、上下水道などの公共施設やライフラインに対する計画的な維持管理」が46.5%、「3. まちの死角の除去や照明の確保など、安心して生活できるためのまちづくり」が35.8%となっている。
- ・「住環境」では、「1. 店や病院などが身近にあり、歩いて日常生活を送ることができるまちづくり」が57.7%で最も多く、次いで「4. 住み慣れた地域で、住み続けたいと思うことができるまちづくり」が40.9%、「3. 快適でゆとりある良好な居住空間が形成されたまちづくり」が26.5%となっている。

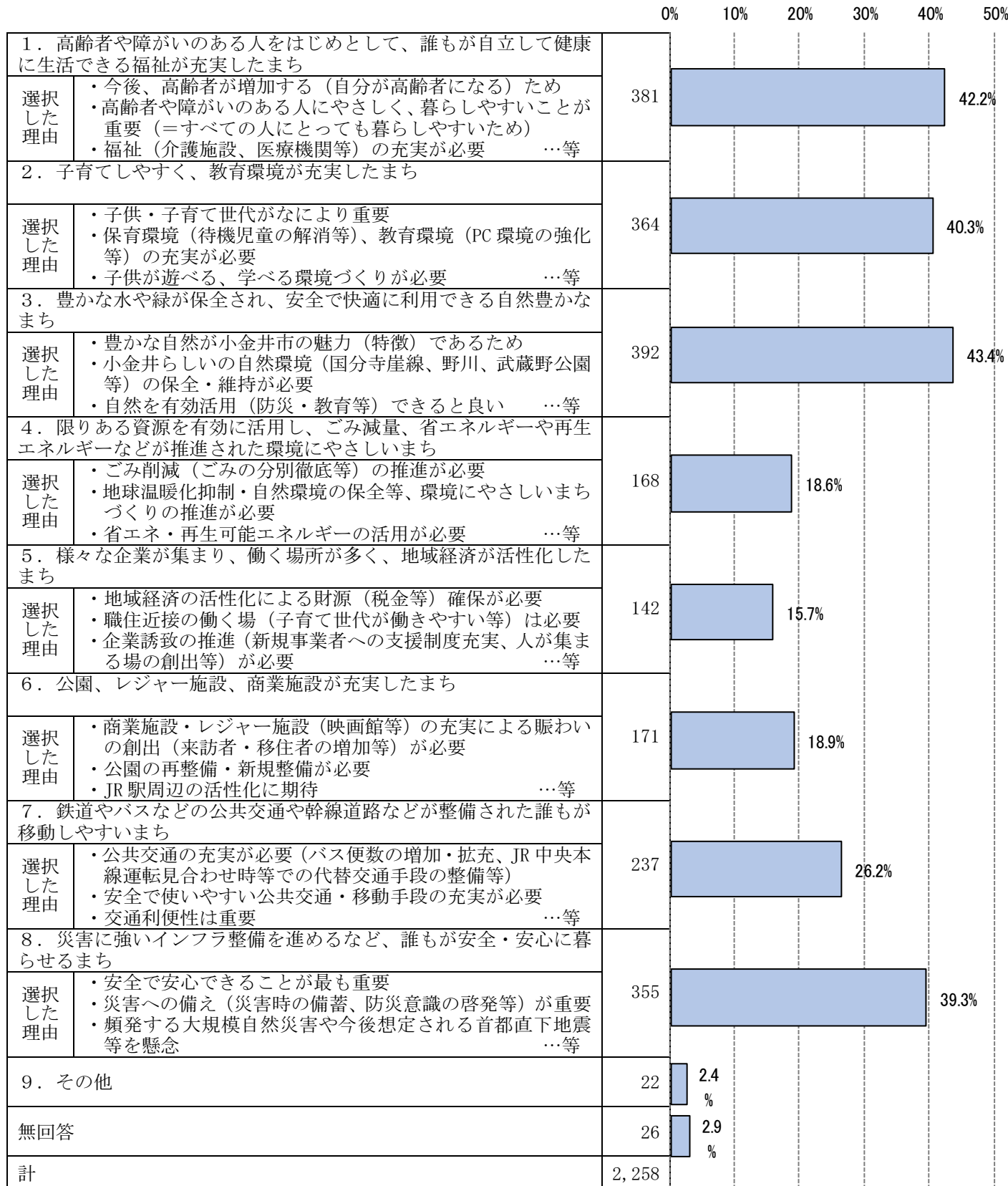


【自由記述】

「土地利用」に関する意見	・高層マンション・商業施設の抑制 ・東小金井駅の土地活用を武蔵小金井駅と同程度に ・武蔵小金井駅北口の再開発 …等
「道路・交通」に関する意見	・狭い、荒れた生活道路の整備・改善 ・公共交通の充実（バス路線の拡充・増便） ・自転車関連施策（自転車ネットワークの整備、自転車利用マナーの徹底） …等
「緑・環境」に関する意見	・自然のあるまちづくりが必要（みどり・地形の保全） ・野川の保全、活用 ・ほどほどの賑わい（駅周辺）とみどりの調和が小金井市の魅力 …等
「安全・安心」に関する意見	・子供が安全・安心に暮らせるまち ・暗い道路の解消（住宅地、子供の帰り道等） ・災害に強いインフラ整備（公園整備・無電柱化等） …等
「住環境」に関する意見	・若い世代が住みやすい、子育てしやすいまちづくり ・商店街の活性化 ・地域コミュニティの活性化（住民交流、多世代交流、イベント開催等） …等

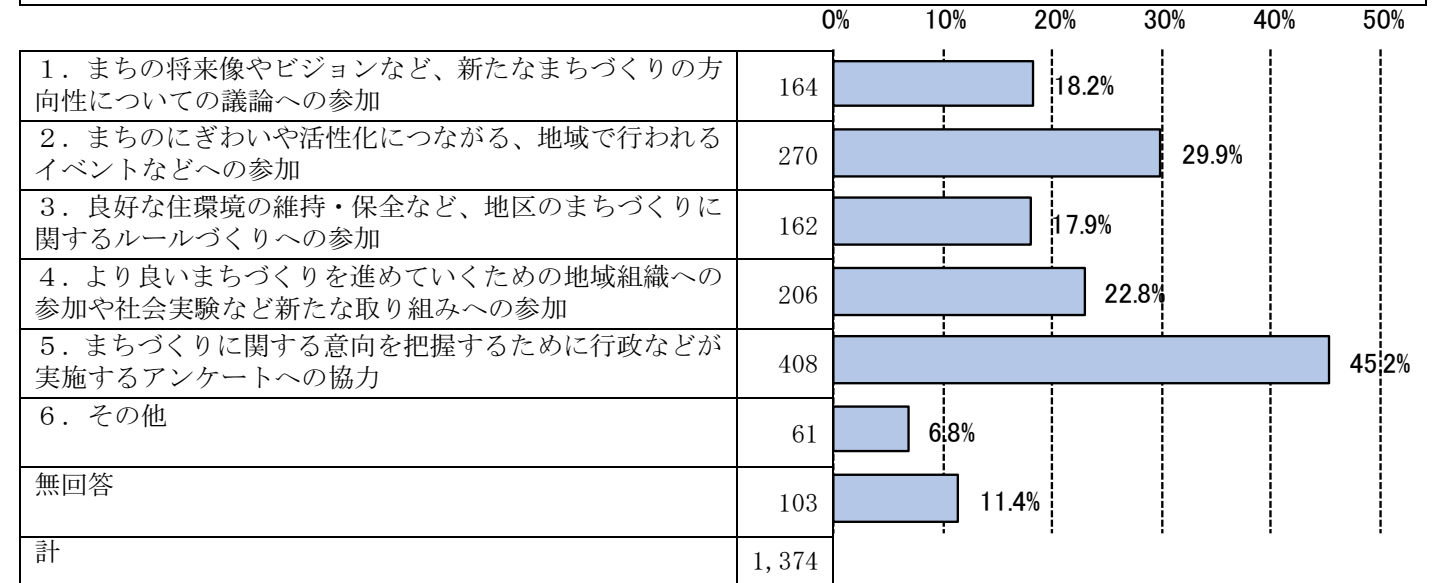
8. 20年後の小金井市の姿（問7）

- ・「3. 豊かな水や緑が保全され、安全で快適に利用できる自然豊かなまち」が43.4%と最も多く、次いで「1. 高齢者や障がいのある人をはじめとして、誰もが自立して健康に生活できる福祉が充実したまち」が42.2%、「2. 子育てしやすく、教育環境が充実したまち」が40.3%となっている。
- ・また、「8. 災害に強いインフラ整備を進めるなど、誰もが安全・安心に暮らせるまち」は39.3%、「7. 鉄道やバスなどの公共交通や幹線道路などが整備された誰もが移動しやすいまち」は26.2%と比較的多くになっている。



9. まちづくりへのかかわり（問8）

- ・「5. まちづくりに関する意向を把握するために行政などが実施するアンケートへの協力」が45.2%と最も多く、次いで「2. まちのにぎわいや活性化につながる、地域で行われるイベントなどへの参加」が29.9%、「4. より良いまちづくりを進めていくための地域組織への参加や社会実験など新たな取り組みへの参加」が22.8%となっている。
- ・「6. その他」については、「高齢になったから参加できない」、「忙しいから参加できない」等、参加できない理由を記載する回答が多くみられた。



10. 将来のまちのイメージ（問9）

・次ページ参照

11. 自由意見（問10）

「土地利用」に関する意見	・武蔵小金井駅北口の再開発 ・高層マンションや商業施設の抑制 ・小金井らしさを残してほしい（自然、農地、田舎らしさ等） …等
「道路・交通」に関する意見	・道路の整備、拡幅 ・公共交通の充実 ・自転車関連施策 …等
「緑・環境」に関する意見	・みどり・自然の保全 ・公園の整備・保全 ・自然と触れ合えるまち …等
「安全・安心」に関する意見	・安全・安心できるまち ・喫煙マナーの徹底 ・子供、高齢者にやさしいまちづくり …等
「住環境」に関する意見	・落ち着いた住める静かなまち ・空き家対策 ・学生・単身者が住みやすいまち …等
「教育・文化」に関する意見	・図書館の整備 ・子育てしやすいまちづくり ・大学との連携 …等
「産業」に関する意見	・商店街の保全・活性化 ・イベント開催 ・企業誘致 …等
「医療・福祉」に関する意見	・福祉施策の充実 ・保育園の整備 …等
「行政」に関する意見	・ごみ関連施策 ・行政の実行力の向上 ・財源（税金）の確保 …等
「住民参加」に関する意見	・住民意見の反映（アンケート、パブコメ） ・住民、地域同士の意見交換会 …等
「まちづくり」に関する意見	・住民が人を大切にするまちづくり ・小金井らしいまちづくりを（自然が多い、大学が多い） …等

10. 将来のまちのイメージ (問9)

【期待すること】

- ・道路ネットワークの充実 (渋滞緩和、事故防止策、街路樹、特に連雀通り)
- ・本町住宅の更新
- ・新庁舎を活かしたまちづくり

【期待すること】

- ・高架下の有効活用、活性化

【魅力ある街の姿】

- ・いつまでも変わらない風景 (景観の維持、人の手を加えない)
- ・子供が安全で安心して遊べる・学びの場

【期待すること】

- ・自然環境の保全
- ・桜並木の保全・整備 (土手・野川沿い、観光名所として)
- ・生物多様性の保全

【魅力ある街の姿】

- ・みどり豊かな町

【期待すること】

- ・はけ・坂道の整備・保全 (生態系、自然)
- ・野川の整備・保全 (清流復活、野川へのアクセス性向上)
- ・公共施設の整備 (図書館・体育館等、周辺市の施設利用の推進)

【魅力ある街の姿】

- ・自然と触れ合える場、自然のあふれる公園

【期待すること】

- ・自然の保全 (季節の草木、はけ)
- ・イベント開催 (フリーマーケット、健康イベント)

【魅力ある街の姿】

- ・にぎやかで活気のある駅前
- ・自然がある (感じられる) 駅前

【期待すること】

- ・北口の整備 (再開発) の推進
- ・商業・娯楽施設の充実 (商店街の活性化、大規模商業施設の充実、個人商店への支援等)

【魅力ある街の姿】

- ・自然が体感できる、自然豊かな場所
- ・子供が安全で安心して遊べる・学びの場

【期待すること】

- ・自然の維持・保全
- ・小金井公園の拡張・整備 (トイレ・ベンチの整備等)

【期待すること】

- ・道路ネットワークの充実 (遊歩道、他地域へのアクセス性の向上、南北道路の整備)
- ・自然・農地の保全 (ミニ開発の抑制)
- ・商業施設の充実

【期待すること】

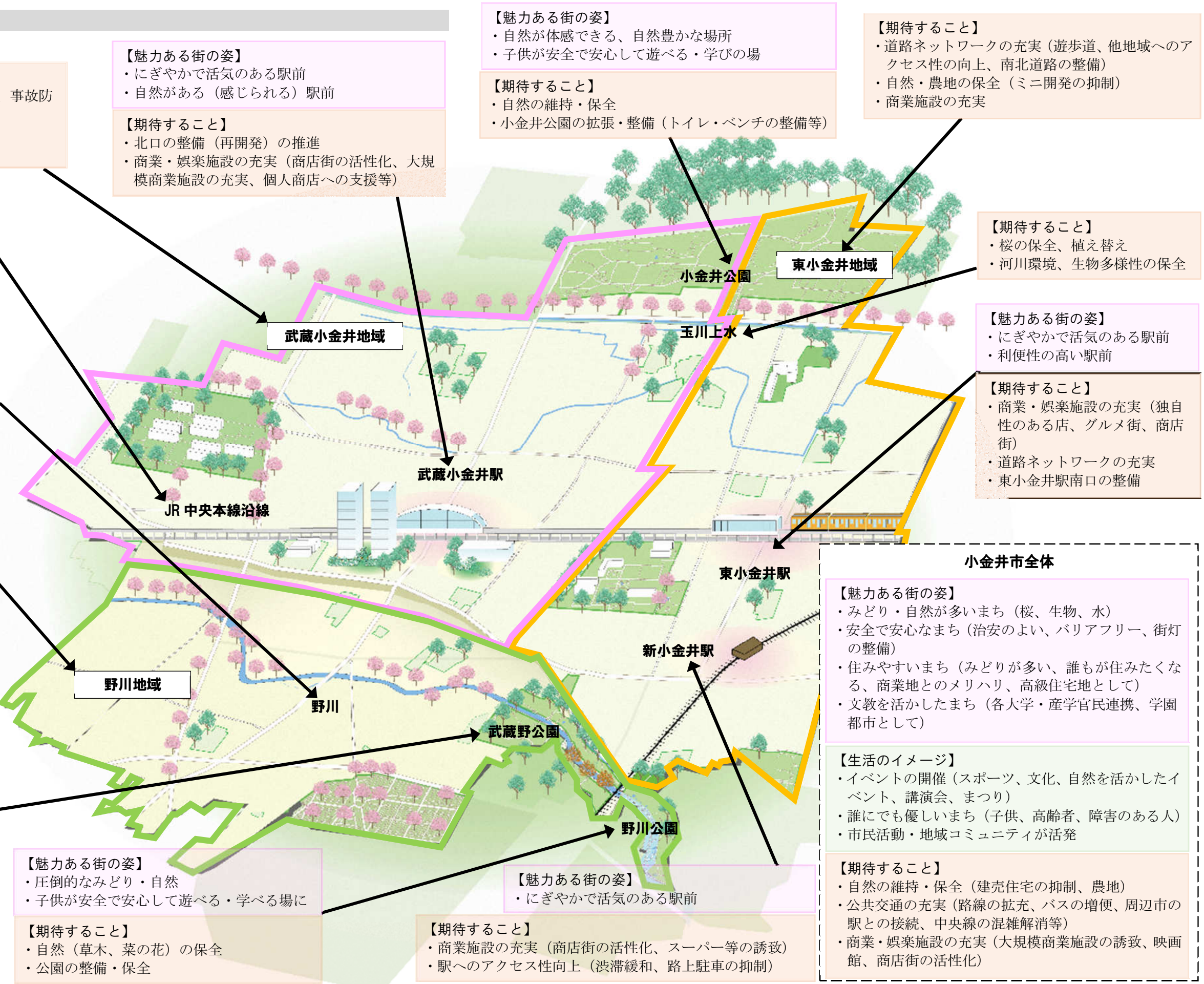
- ・桜の保全、植え替え
- ・河川環境、生物多様性の保全

【魅力ある街の姿】

- ・にぎやかで活気のある駅前
- ・利便性の高い駅前

【期待すること】

- ・商業・娯楽施設の充実 (独自性のある店、グルメ街、商店街)
- ・道路ネットワークの充実
- ・東小金井駅南口の整備



【魅力ある街の姿】

- ・圧倒的なみどり・自然
- ・子供が安全で安心して遊べる・学べる場に

【期待すること】

- ・自然 (草木、菜の花) の保全
- ・公園の整備・保全

【魅力ある街の姿】

- ・にぎやかで活気のある駅前

【期待すること】

- ・商業施設の充実 (商店街の活性化、スーパー等の誘致)
- ・駅へのアクセス性向上 (渋滞緩和、路上駐車抑制)

小金井市全体

【魅力ある街の姿】

- ・みどり・自然が多いまち (桜、生物、水)
- ・安全で安心なまち (治安のよい、バリアフリー、街灯の整備)
- ・住みやすいまち (みどりが多い、誰もが住みたくなる、商業地とのメリハリ、高級住宅地として)
- ・文教を活かしたまち (各大学・産学官民連携、学園都市として)

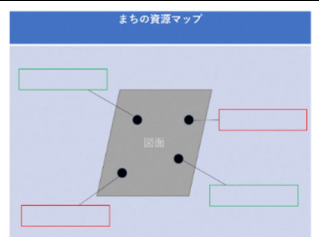
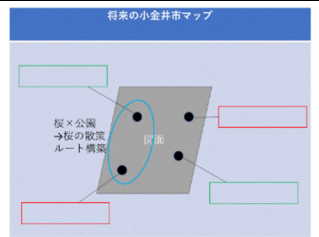
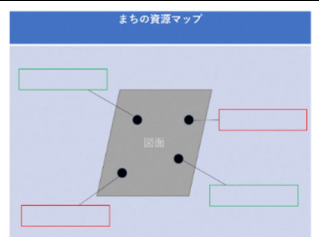
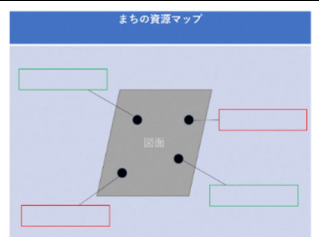
【生活のイメージ】

- ・イベントの開催 (スポーツ、文化、自然を活かしたイベント、講演会、まつり)
- ・誰にでも優しいまち (子供、高齢者、障害のある人)
- ・市民活動・地域コミュニティが活発

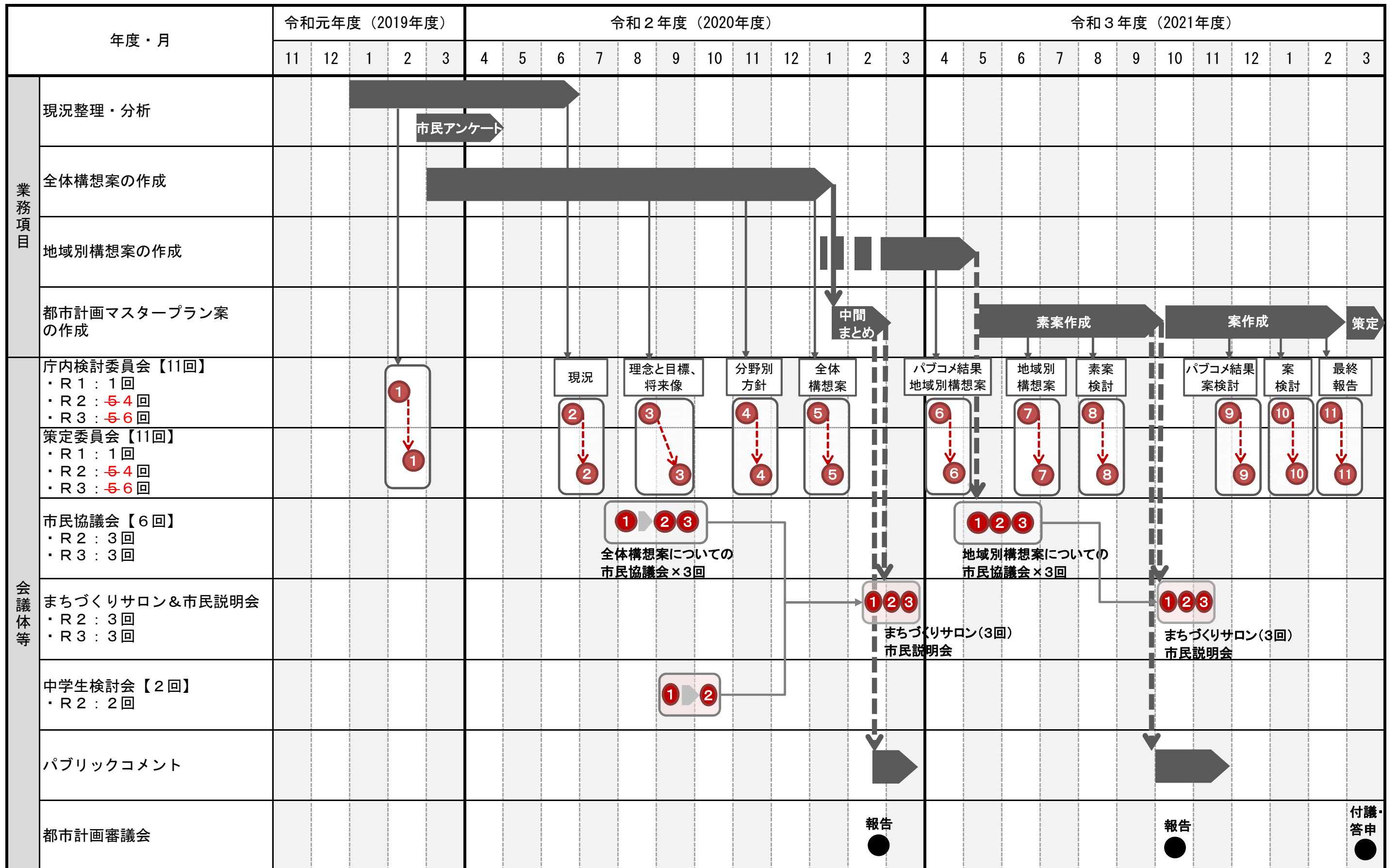
【期待すること】

- ・自然の維持・保全 (建売住宅の抑制、農地)
- ・公共交通の充実 (路線の拡充、バスの増便、周辺市の駅との接続、中央線の混雑解消等)
- ・商業・娯楽施設の充実 (大規模商業施設の誘致、映画館、商店街の活性化)

市民協議会 (R2) ・中学生検討会について

	市民協議会 (R2 のみ)	中学生検討会																																								
これまでの実施方針案	<ul style="list-style-type: none"> R2は3回実施 (①6月20日(土)、②8月22日(土)、③9月5日(土)) ①は小金井市の現状、課題についての共有、まちの将来像の検討⇒<u>現況課題、将来像に反映</u> ②、③は市の重要課題について検討(分野別) ⇒<u>分野別方針に反映</u> 	<ul style="list-style-type: none"> R2に2回実施 (①7月22日(水)、②8月19日(水)) ①は小金井市の良いところ、好きな場所を抽出し、小金井市の魅力の再確認 ⇒<u>まちの資源マップの作成</u> ②は将来、どのようなまちになってほしいか考察 ⇒<u>将来の小金井マップの作成(将来像に反映)</u> 																																								
今回の新型コロナを踏まえた変更案	<ul style="list-style-type: none"> 実施日程を変更する⇒①8月1日(土) 【会場:本庁舎3階 第一会議室・時間:午後2時から4時】 ②9月12日(土) 【会場:商工会館2階・時間:午後2時から4時】 ③9月26日(土) 【会場:商工会館3階 萌え木ホール・時間:午後2時から4時】 実施内容は変更しない 	<ul style="list-style-type: none"> 実施日程を変更する(R2夏休み⇒未定であるがR2秋以降又はR3) 実施内容は、新型コロナの状況や中学生の授業計画との関係により、再検討する必要がある。 																																								
進め方案	<p>(第1回)</p> <table border="1"> <tr> <td>情報提供</td> <td>小金井市の現況についての情報提供</td> </tr> <tr> <td>ワーク1</td> <td> <p>小金井市のまちの魅力は何か?(伸ばしたい地域の長所) 小金井市のまちの課題は何か?(解消したい地域の課題) ⇒分野別(土地利用、道路・交通、水・みどり・環境共生、安全・安心、住環境)に、意見を整理</p> <p>各参加者より、付箋紙に意見を書いてもらい取りまとめる</p> <p>意見が多い項目を把握する</p> <p>測地的な内容があれば、地図上に取ります</p> </td> </tr> <tr> <td>ワーク2</td> <td>20年後の小金井市はどのようなまちになって欲しいか? 例:~の課題が解決され〇〇のまちに、~の魅力がさらに増し多くの人が集まるまちに</td> </tr> <tr> <td>発表</td> <td>テーブル毎の結果発表</td> </tr> <tr> <td>ワーク3</td> <td>各分野で重要と思う課題・魅力にシールを貼る ⇒第2回以降に反映</td> </tr> </table> <p>(第2回・第3回)</p> <ul style="list-style-type: none"> 5分野(土地利用、道路・交通、水・みどり・環境共生、安全・安心、住環境)を、2つに分け、第2回と第3回で実施 参加者が一定の分野に偏らないように、ワールドカフェ方式により、参加者がテーブルを周りながら意見交換を行うことを想定 <table border="1"> <tr> <td>情報提供</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 第1回市民協議会の振り返り 第1回市民協議会+策定委員会の意見を踏まえ、議論する課題・魅力抽出し内容説明 </td> </tr> <tr> <td>ワーク1</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 各分野で設定された課題、若しくは魅力に対して、“どのようにしたら課題が改善するのか”、“どのようにしたら魅力がもっと伸びるか”等の、意見交換を実施する。 参加者は参加テーブルを変えて、複数の分野で意見する形式とする。 <p>各参加者より、付箋紙に意見を書いてもらい取りまとめる</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>課題</th> <th>改善方法</th> <th>実施者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【土地利用】</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>【道路・交通】</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>【緑・景観】</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> <tr> <td>発表</td> <td>・テーブル毎の結果発表</td> </tr> </table>	情報提供	小金井市の現況についての情報提供	ワーク1	<p>小金井市のまちの魅力は何か?(伸ばしたい地域の長所) 小金井市のまちの課題は何か?(解消したい地域の課題) ⇒分野別(土地利用、道路・交通、水・みどり・環境共生、安全・安心、住環境)に、意見を整理</p> <p>各参加者より、付箋紙に意見を書いてもらい取りまとめる</p> <p>意見が多い項目を把握する</p> <p>測地的な内容があれば、地図上に取ります</p>	ワーク2	20年後の小金井市はどのようなまちになって欲しいか? 例:~の課題が解決され〇〇のまちに、~の魅力がさらに増し多くの人が集まるまちに	発表	テーブル毎の結果発表	ワーク3	各分野で重要と思う課題・魅力にシールを貼る ⇒第2回以降に反映	情報提供	<ul style="list-style-type: none"> 第1回市民協議会の振り返り 第1回市民協議会+策定委員会の意見を踏まえ、議論する課題・魅力抽出し内容説明 	ワーク1	<ul style="list-style-type: none"> 各分野で設定された課題、若しくは魅力に対して、“どのようにしたら課題が改善するのか”、“どのようにしたら魅力がもっと伸びるか”等の、意見交換を実施する。 参加者は参加テーブルを変えて、複数の分野で意見する形式とする。 <p>各参加者より、付箋紙に意見を書いてもらい取りまとめる</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>課題</th> <th>改善方法</th> <th>実施者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【土地利用】</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>【道路・交通】</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>【緑・景観】</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	課題	改善方法	実施者	【土地利用】			【道路・交通】			【緑・景観】			発表	・テーブル毎の結果発表	<p>(第1回)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事前宿題(「まちの資源(よく行く場所、好きな場所)」の抽出)をもとに、まちの資源マップを作成 <table border="1"> <tr> <td>ワーク1</td> <td> <p>事前宿題(「まちの資源(よく行く場所、好きな場所)」の抽出)の発表 用意された図面上に、まちの資源を記入</p>  </td> </tr> <tr> <td>ワーク2</td> <td>他の参加者の意見を聞いた上で、ワーク1で出たまちの資源に追加して記載する事項を、図面に記入</td> </tr> <tr> <td>発表</td> <td>テーブル毎の結果発表</td> </tr> </table> <p>(第2回)</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1回で作成したまちの資源マップや、全体構想の議論内容を踏まえ、目標等のキーワードの抽出等を行う <table border="1"> <tr> <td>ワーク1</td> <td>策定委員会等で話し合われているまちの将来像等に関する情報提供</td> </tr> <tr> <td>ワーク2</td> <td>まちの資源を活用し、地域別の将来のまちの姿や目標等の設定に関するキーワードを議論</td> </tr> <tr> <td>発表</td> <td>テーブル毎の結果発表</td> </tr> </table> 	ワーク1	<p>事前宿題(「まちの資源(よく行く場所、好きな場所)」の抽出)の発表 用意された図面上に、まちの資源を記入</p> 	ワーク2	他の参加者の意見を聞いた上で、ワーク1で出たまちの資源に追加して記載する事項を、図面に記入	発表	テーブル毎の結果発表	ワーク1	策定委員会等で話し合われているまちの将来像等に関する情報提供	ワーク2	まちの資源を活用し、地域別の将来のまちの姿や目標等の設定に関するキーワードを議論	発表	テーブル毎の結果発表
情報提供	小金井市の現況についての情報提供																																									
ワーク1	<p>小金井市のまちの魅力は何か?(伸ばしたい地域の長所) 小金井市のまちの課題は何か?(解消したい地域の課題) ⇒分野別(土地利用、道路・交通、水・みどり・環境共生、安全・安心、住環境)に、意見を整理</p> <p>各参加者より、付箋紙に意見を書いてもらい取りまとめる</p> <p>意見が多い項目を把握する</p> <p>測地的な内容があれば、地図上に取ります</p>																																									
ワーク2	20年後の小金井市はどのようなまちになって欲しいか? 例:~の課題が解決され〇〇のまちに、~の魅力がさらに増し多くの人が集まるまちに																																									
発表	テーブル毎の結果発表																																									
ワーク3	各分野で重要と思う課題・魅力にシールを貼る ⇒第2回以降に反映																																									
情報提供	<ul style="list-style-type: none"> 第1回市民協議会の振り返り 第1回市民協議会+策定委員会の意見を踏まえ、議論する課題・魅力抽出し内容説明 																																									
ワーク1	<ul style="list-style-type: none"> 各分野で設定された課題、若しくは魅力に対して、“どのようにしたら課題が改善するのか”、“どのようにしたら魅力がもっと伸びるか”等の、意見交換を実施する。 参加者は参加テーブルを変えて、複数の分野で意見する形式とする。 <p>各参加者より、付箋紙に意見を書いてもらい取りまとめる</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>課題</th> <th>改善方法</th> <th>実施者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【土地利用】</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>【道路・交通】</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>【緑・景観】</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	課題	改善方法	実施者	【土地利用】			【道路・交通】			【緑・景観】																															
課題	改善方法	実施者																																								
【土地利用】																																										
【道路・交通】																																										
【緑・景観】																																										
発表	・テーブル毎の結果発表																																									
ワーク1	<p>事前宿題(「まちの資源(よく行く場所、好きな場所)」の抽出)の発表 用意された図面上に、まちの資源を記入</p> 																																									
ワーク2	他の参加者の意見を聞いた上で、ワーク1で出たまちの資源に追加して記載する事項を、図面に記入																																									
発表	テーブル毎の結果発表																																									
ワーク1	策定委員会等で話し合われているまちの将来像等に関する情報提供																																									
ワーク2	まちの資源を活用し、地域別の将来のまちの姿や目標等の設定に関するキーワードを議論																																									
発表	テーブル毎の結果発表																																									

工程表（案）



傍聴者意見用紙

- ◆小金井市都市計画マスタープラン策定委員会へのご意見がございましたら、以下にご記入の上、委員会終了後に、会場内の事務局職員までご提出ください。次回開催される策定委員会で資料として配布します。
- ◆なお、資料としての配布を希望されない方は、下のチェックボックスにチェック☑をお願いします。(資料の配布を希望しない)

0 P.15-16内9.

イラストでかき入れたイメージは良いと思いましたが

スポーツカーのイメージASにしたいのでお願いします。

0 アニート参考資料 P2の医療機関は770坪で落として
 2.5haの方が良いのでは
 (おまわり外を)
 (内の770坪は)

提出日 2020年 2月 14日 ※原文のまま配付しますので、氏名についても公開の対象となります。

氏名 諏訪 潤子

(事務局)

小金井市都市整備部都市計画課都市計画係
 〒184-8504 小金井市本町6-6-3 連絡先：042-387-9859
 FAX：042-386-2619 E-mail：s060101@koganei-shi.jp

傍聴者意見用紙

- ◆小金井市都市計画マスタープラン策定委員会へのご意見がございましたら、以下にご記入の上、委員会終了後に、会場内の事務局職員までご提出ください。次回開催される策定委員会で資料として配布します。
- ◆なお、資料としての配布を希望されない方は、下のチェックボックスにチェック☑をお願いします。(資料の配布を希望しない)

① 2路線選定理由 (アニートについて)

アニート経路に重大な影響を及ぼす

理由がわかりやすく、断定的と不確かな

理由が書かれている。

⇒ 経路の便の改善が心配

② 討論状況

活発で良かったと思ふ。

提出日 2020年 2月14日 ※原文のまま配付しますので、氏名についても公開の対象となります。

氏名 川橋長勝

(事務局)

小金井市都市整備部都市計画課都市計画係

〒184-8504 小金井市本町 6-6-3 連絡先：042-387-9859

FAX：042-386-2619 E-mail：s060101@koganei-shi.jp